

SHARP®

はじめに、巻末の「接続ガイド」で接続を行ってください。

取扱説明書

ブルーレイディスクレコーダー

形名

ビー ディー ティー

BD-T3800

BD-T2800

BD-T1800

ビー ディー ダブル

BD-W2800

BD-W1800/W1800W

BD-W580

ビー ディー エス

BD-S580

- ▶ 操作説明は、「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。取扱説明ガイドの使いかた ⇒ **60** ページ
- ▶ 取扱説明ガイドは、シャープサポートホームページからダウンロードしてパソコンや携帯端末等でも確認することができます。



HDMI®
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE



BONUS VIEW™



(BD-T3800/T2800/
T1800/W2800/
W1800/W1800W)



お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ・ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」(→ **4** ページ)を必ずお読みください。
- ・この取扱説明書および接続ガイドは、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。
- ・製造番号は、品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記入されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

もくじ

- ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」(→ 4 ページ) を必ずお読みください。
- 本書は接続や設定と基本的な操作について説明しています。操作について詳しくは「ホーム」メニューの「取扱説明」でご確認ください。

もくじ／ご注意

もくじ.....	2
安全にお使いいただくために お使いになる前に、必ずお読みください。	4
使用上のご注意.....	9

本機を使うための準備



ご自分で接続・設定を行う

アンテナ線の接続は、巻末の接続ガイドをご覧ください。
詳しくは「アンテナ線を接続する」(→ 16 ページ) をご覧ください。

アンテナ接続	本機を使うための準備.....	14
	付属品を確認する.....	14
	リモコンの準備 (電池を入れる).....	15
	アンテナ線を接続する.....	16
LAN接続	双方向通信／インターネット／ホームネットワークの接続をする.....	19
テレビと接続	テレビと接続する.....	21
その他機器接続	その他の機器を接続する.....	22
ファミリンク	ファミリンクを楽しむための接続.....	24
B-CASカード	B-CAS (ビーキャス) カードを挿入する.....	26
電源	電源プラグを差し込む.....	27
	初期設定する (らくらくセットアップ).....	28
	本機のリモコンでテレビを操作する.....	32
リモコン番号設定	リモコンで操作すると他の機器まで動作してしまうとき (リモコン番号変更).....	33
リモコンについて	各部のなまえとおもな機能.....	34
テレビで本機を楽しむには	テレビと本機の準備をする.....	42

ふだんの使いかた

電子番組表について	チャンネルを選ぶ.....	44
	デジタル放送を電子番組表 (Gガイド) で選ぶ.....	45



録画を行う



予約録画を行う

録画する	放送中の番組を録画する (らくらく一発録画).....	47
番組表で予約する	デジタル放送を電子番組表 (Gガイド) で予約する (らくらく予約).....	48



録画した番組などを再生する

HDD/BD/DVDを再生	ディスクの入れかた・出しかた.....	49
音楽CD、市販のBD/DVDを再生	HDD に録画した番組やダビングした BD・DVD を再生する.....	50
	音楽 CD や市販の BD / DVD ビデオを再生する.....	52
	再生をしながら使えるボタン (早送り／早戻し再生・頭出し・スロー再生など).....	54
タイトル・チャプター選択消去	タイトル (録画した番組) を消去する.....	56
ダビングする	タイトル (番組) のダビングをする.....	57



テレビ画面で操作を確認する

ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）の使いかた	58
取扱説明ガイドの使いかた	60
かんたんメニューの使いかた	62

故障かな？と思ったら

故障かな？	故障かな？と思ったら	64
画面のメッセージ	エラーメッセージ（例）	71

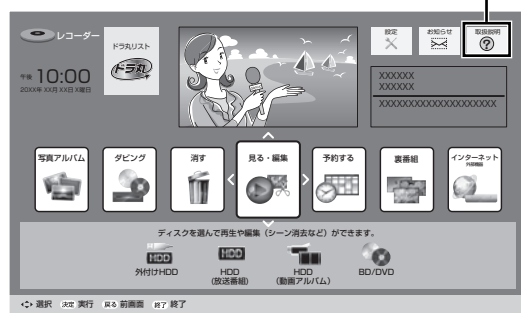
お役立ち情報（仕様など）

ご相談窓口	保証とアフターサービス	72
故障診断	お客様ご相談窓口のご案内	73
持込修理	修理をご依頼する前に（故障診断）	74
テレビへのアンテナ接続	修理をご依頼されるときは	75
	本機の取り外しとテレビへのアンテナ接続	77
	仕様	78
	登録商標	81

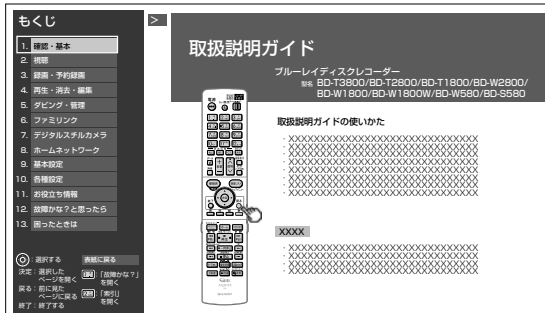
本機の詳しい接続説明や設定項目などは「取扱説明ガイド」で確認します。

- ・取扱説明ガイドとは、テレビ画面で操作説明を確認することができる取扱説明書のことです。
- ・「ホーム」メニューの「取扱説明」を選んで決定すると取扱説明ガイドが表示されます。

「ホーム」メニュー



取扱説明ガイド



- ・取扱説明ガイドの使いかたは→ **60** ページをご覧ください。

- ・取扱説明書では、「ブルーレイディスクレコーダー BD-T3800 / BD-T2800 / BD-T1800 / BD-W2800 / BD-W1800 / BD-W1800W / BD-W580 / BD-S580」を「本機」と表現しています。
- ・取扱説明書では、機種によって操作や説明が異なる記載を、機種マーク（**T3800**、**T2800**、**T1800**、**W2800**、**W1800**、**W580**、**S580**）を使って書き分けています。ご使用の機器の、機種マークの説明をお読みください。
- ・取扱説明書では、BD-W1800W を「W1800」または「**W1800**」で表しています。
- ・取扱説明書では、本機に内蔵のHDD（ハードディスク）を「内蔵HDD」と、スロットインハードディスクを「SHDD」と、外付けのHDD を「外付けHDD」と表現しています。SHDD と外付けHDD を両方を指す場合は「増設HDD」と表現しています。SHDD はBD-T3800 のみ対応しています。
- ・取扱説明書では、「ブルーレイディスク」を「BD」と表現しています。
- ・取扱説明書では、全機種共通の機能や操作を説明するときは、BD-T3800 のイラストを使用しています。
- ・取扱説明書に掲載しているイラストは、説明のため簡略化していますので、実際のものとは多少異なります。
- ・取扱説明書の操作説明は、おもにリモコンを使って説明しています。

安全にお使いいただくために

- 「安全にお使いいただくために」はお使いになる前に必ず読み、正しく安全にご使用ください。
- この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みに、記載事項をお守りください。

⚠ 警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠ 注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



気をつける必要があることを表しています。



してはいけないことを表しています。

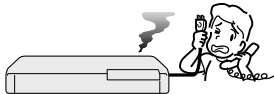


しなければならないことを表しています。

⚠ 警告

本機や SHDD※（スロットインハードディスク）から煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のときは電源プラグを抜く

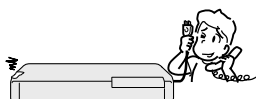
- ・異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- ・本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグを抜く



- ・SHDD※（スロットインハードディスク）を落としたり、振動や衝撃を与えないでください。データの消失や故障の原因となります。

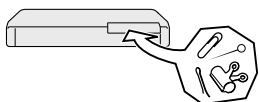


電源プラグを抜く



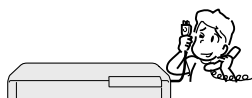
本機や SHDD※（スロットインハードディスク）の内部に物や水などを入れない

- ・本機の開口部（通風孔やディスクトレイ開閉口など）や SHDD※（スロットインハードディスク）の内部、コネクター部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止

- ・異物や水が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

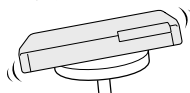


電源プラグを抜く



不安定な場所に置かない

- ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁止

本機や SHDD※（スロットインハードディスク）の上には花瓶、水などの入った容器を置かない

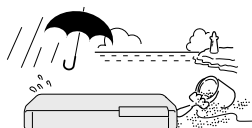
- ・水がこぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止



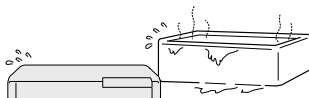
- ・水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



水ぬれ禁止



- ・風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



風呂、シャワー室での使用禁止



警告**表示された電源電圧で使用する**

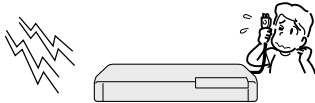
- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外で使用すると、火災・感電の原因となります。



100V 使用

雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れない

- 感電の原因となります。



接触禁止

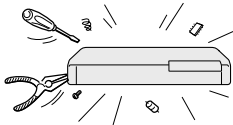
キャビネットは絶対に開けない

- 感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

- 本機や SHDD*（スロットインハードディスク）を分解したり改造したりしないでください。発熱・発火・感電・けがの原因となります。またレーザー光が目当たると視力障害を起こす原因となります。



分解禁止



禁止

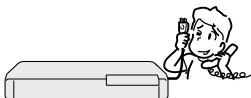
電源コードを破損するようなことはしない

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。電源コードが破損して火災・感電の原因となります。



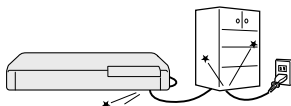
禁止

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



交換を依頼する

- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

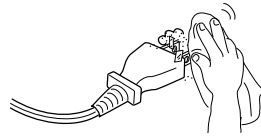


禁止

※対象機種：BD-T3800

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は乾いた布で取り除く

- そのままで使用すると火災・感電の原因となります。



ほこりを取る

湿気やほこりの多い場合、油煙や湯気が当たる場所、または調理器具や加湿器の近く、硫化ガス（H₂S、SO₂）が大気中含まれる温泉地などには設置しない

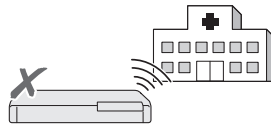
- 火災・感電の原因となることがあります。
- 大気中含まれる硫化ガス（H₂S、SO₂）に長期間さらされると、硫化により金属が腐食し、故障の原因となることがあります。



禁止

無線 LAN 機能は病院内で使用しない

- 医療機器の誤動作の原因となることがあります。



禁止

無線 LAN を使用するときは心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離して使用する

- 電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。

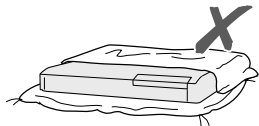


距離に注意する

⚠ 注意

本機の通風孔をふさがない

- 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。
- 本機を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置く。



禁止

- ・あお向けや横倒し、逆さまにする。(動作姿勢水平)

本機や SHDD[※] (スロットインハードディスク) の上に重いものを置かない

- 本機に乗らないでください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止

- ・上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



禁止

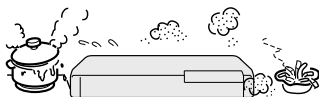
- ・ディスクトレイの上にものを置かないでください。



禁止

本機や SHDD[※] (スロットインハードディスク) を油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止

本機や SHDD[※] (スロットインハードディスク) を冷気が直接吹き付ける所や極端に寒い所には置かない

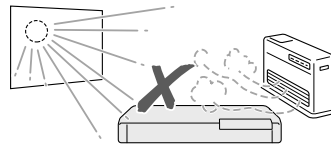
- つゆが付き、漏電、焼損、故障や事故の原因となることがあります。



注意

本機や SHDD[※] (スロットインハードディスク) を直射日光の当たる場所や温度の高い場所に置かない

- 内部の温度が上がり、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

電源コードを熱器具に近づけない

- コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

移動させるときは必ず接続コードを外す

- 移動させる場合は電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線や機器間の接続コードなど外部の接続コードを外したことを確認の上、行ってください。接続したまま持ち運ぶとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。またディスクは取り出しておいてください。



電源プラグを抜く

- 移動させるときは、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。けがや故障の原因となることがあります。



禁止

お手入れのときは電源プラグを抜く

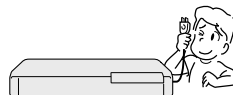
- 安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

テレビ、オーディオ機器などに接続するときは、本機の電源プラグをコンセントから抜く

- 電源を入れたまま接続すると、感電やけがの原因となることがあります。



電源プラグを抜く

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

- コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。



禁止

注意**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**

- 感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全なときは、発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。
- 金属の部分にふれると感電の原因となることがあります。



確実に差し込む

電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるときはコンセントに接続しない

- 発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



禁止

ディスクトレイ開閉口や SHDD * (スロットインハードディスク) 挿入口に手を入れない

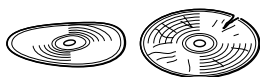
- 小さなお子さまがディスクトレイ開閉口や SHDD * (スロットインハードディスク) 挿入口に、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。



指のケガに注意

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

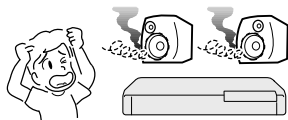
- 飛び散ってけがの原因となることがあります。



禁止

長時間、音が歪んだ状態で使わない

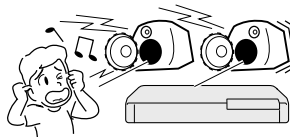
- スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

電源を入れる前にはテレビやアンプの音量を最小にする

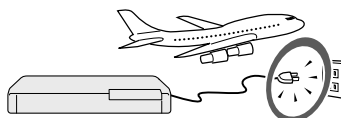
- 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



音量を小さく

旅行などで長時間で使用にならないときは電源プラグを抜く

- 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

3年に一度くらいは本機内部の清掃を販売店に依頼する

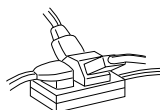
- 本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については、販売店などにご相談ください。



清掃を依頼する

タコ足配線をしない

- 感電・火災の原因となることがあります。



禁止

アンテナ工事には技術と経験が必要です。電気工事店などにご相談ください

- 送配電線から離れたところに設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

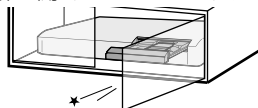


ご相談ください

アンテナは強風の影響を受けやすいので、堅固に取り付け設置してください。

本体の前に物を置かない

- ディスクトレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。
- ガラス扉付きのラックなどに入れてご使用の場合は、ディスクトレイが開いた際、扉が開くことがあります。



禁止



注意

⚠ 注意

電池についての安全上のご注意

液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

電池は幼児の手の届く所に置かない

- 電池は飲み込むと、窒息の原因や胃などに止まると大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。



禁止

電池の液が漏れたときは素手でさわらない

- 電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に障害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など障害の症状があるときは、医師に相談してください。



禁止

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない

- 電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。



禁止

電池の入ったリモコンや乾電池は、直射日光の強いところや炎天下の車内など高温の場所で使用、放置しない

- 電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。



禁止

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

- 間違えると電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。



表示どおりに入れる

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

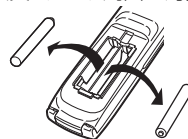
- 電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。



禁止

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

- 電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ故障、火災・けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。



電池を取り出す

3D 映像を視聴される場合のご注意

光過敏の既往症がある人、心臓に疾患がある人、および体調不良の人は視聴しない

- 病状が悪化する原因となる場合があります。



禁止

3D 映像の視聴年齢は、およそ 5 ～ 6 歳以上を目安にする

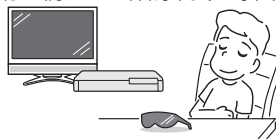
- お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、突然体調が悪くなる場合があります。お子様をご視聴になる際は、目の疲れがないかを保護者の方が、ご注意ください。



お子様の視聴に
注意する

視聴中に疲労感、および不快感など異常を感じた場合には、視聴を止め適度な休憩をとる

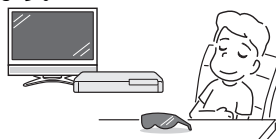
- 視聴を続けると体調不良の原因となる場合があります。



視聴を中止する

3D 映画などを視聴する場合は、1 時間程度を目安に適度な休憩をとる

- 長時間の視聴にともなう視聴疲労の原因になる場合があります。



休憩をとる

使用上のご注意

重要 必ずお読みください

- 大切な録画の場合は …………… 事前に試し録りをするなど、機器が正常に動くことを確認してから行ってください。大切な映像は BD (BD-RE/-R) や DVD (DVD-RW/-R) ディスクにダビング保存 (バックアップ) しておくことをおすすめします。
- 録画 (録音) 内容の …………… 万一何らかの原因で本機が故障し、データが消失した場合、または不具合により録画・補償はできません
- 著作権について …………… 本機で録画・録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。私的目的で録画したもので、著作権者等に無断で販売したり、インターネット上で公衆に送信したり、営利目的で放映すると著作権侵害となります。
- 録画防止機能について …………… 本機は、複製防止機能 (コピーガード) を搭載しており、著作権などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画・録音することができません。
- 保証について …………… 本機を分解しますと、保証が無効になります。
- 再生の制限について …………… 本機は、無許諾のディスク (海賊版など) の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。

免責事項

- ・お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

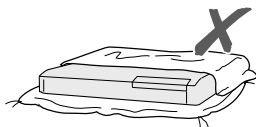
使用前に必ず接続・設定をしてください

- ・接続 (→ 16 ~ 25 ページ) と準備 (→ 26 ~ 27 ページ) が終わったら、必ず初期設定 (→ 28 ~ 31 ページ) を行ってください。設定を行わないと、本機の操作が行えません。

設置時のお願い

本体後面のファンや通風孔をふさがないでください

- ・本体を設置する際は、本体後面のファンや通風孔をふさがないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。特にテレビ台や AV ラック等に収納して設置するときはご注意ください。
- ・毛足の長い敷物やベッド、ソファの上などで使用したり本機を布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。



設置するときは水平に置いてください

- ・立てて置いたり、逆さまにする、不安定な場所や振動の多い場所などに設置したときは故障の原因となります。

本機の上には物を乗せないでください

- ・本機の上に十分なスペースがとれる場所に、設置してください。
- ・本機の上やディスクトレイの上に、物を置かないでください。画面にノイズが出たり、キャビネットに傷がつく、キャビネットが変形するなど故障の原因となります。

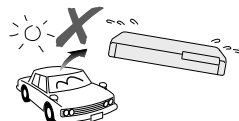
ほこりや煙を避けてください

- ・ほこり・タバコの煙の多い場所には置かないでください。故障や事故の原因になります。

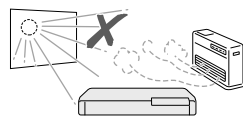
使用時のお願い

高温の場所で使用しないでください

- ・窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。本機およびディスクの周囲が高温状態にならないよう十分ご注意ください。



- ・発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- ・直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。



残像現象 (画像の焼きつき) のご注意

- ・静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象 (画像の焼きつき) を起こす場合があります。特にプロジェクションテレビでは残像現象 (画像の焼きつき) が起こりやすいのでご注意ください。

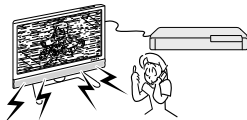
使用温度について

- ・室温が 5℃ ~ 35℃ の状態でご使用ください。室温の温度変化は、1 時間あたりの温度変化を 10℃ 以内に保つことをおすすめします。
- ・湿度の高いところでは使用しない
- ・温度差の激しいところでは使用しない

磁気や電磁波妨害について

- ・本機に磁石、電気時計、磁石を使用した機器やおもちゃなど磁気を持っているものを近づけないでください。
- ・本機の近くで、携帯電話などの電子機器を使わないでください。

磁気の影響を受けたり、電磁波妨害などにより、再生時や録画時に映像が乱れたり、雑音が発生することがあります。また、画面の色が乱れたり、ゆれたり、大切な記録が損なわれたりすることがあります。



国外では使用できません

- ・本機が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。



This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

長時間で使用にならないときは

節電について

- ・使い終わった後は電源を切り、節電に心掛けましょう。また旅行などで長期間で使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。



長期間で使用にならないとき

- ・長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

本機を廃棄・譲渡するときは

- ・個人情報を初期化してください。(→ 80 ページ)

つゆつき(結露)について

- ・以下のような温度差の激しいところに設置すると、本機内部やピックアップレンズやディスクに「つゆつき(結露)」が起こる場合があります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。

- ・暖房をつけた直後。
 - ・湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
 - ・冷えた場所(部屋)から急に暖かい部屋に移動したとき。
- 寒冷地区でのご使用の場合は、特に**つゆつき(結露)**にご注意ください。

つゆがつくと

信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

つゆをとるには

ディスクを取り出して、電源を切り、つゆがなくなるまで放置してください。そのままご使用になると、故障の原因になります。

キャビネットについて

- ・本機をご使用中、使用環境によっては本体(キャビネット)の温度が若干高くなりますが故障ではありません。安心してお使いください。
- ・「ホーム」－「設定」－「放送視聴設定」－「アンテナ設定」の「BS・CS デジタル」にある「アンテナ電源設定」を「オート」または「入」に設定している場合は、本機の電源を切っても本体やキャビネットが多少温くなります。

お手入れについて

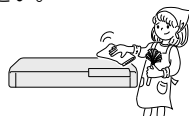
キャビネットのお手入れについて

- ・キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。



- ・殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品・合成皮革などを長時間接触させたままにしないでください。塗料がはげるなどの原因となります。
- ・ステッカーやテープなどを貼らないでください。キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。
- ・キャビネットや操作パネル部分の汚れは柔らかい布(綿、ネル等)で軽くふき取ってください。化学ぞうきん(シートタイプのウェット、ドライのものを含む)を使用されますと、本体キャビネットの成分が変質したり、ひび割れなどの原因となる場合があります。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

強力な洗剤を使用した場合、変色、変質、塗料がはげる場合があります。目立たない場所で試してから、お手入れすることをおすすめします。



アンテナについて

- ・妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- ・アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。
- ・BS・CS アンテナ用のケーブルは、必ず専用品を使用してください。
- ・アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされる場所では、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、電気工事店などにご相談ください。



本機の電源について

- 電源プラグをコンセントに差し込んだ直後や、停電からの復帰後は、電源を「入」にしても、システム調整のため数10秒～10分程度、動作しない場合があります。また、テレビ画面にディスク確認中を示す表示が出たときは、ディスクの状態の確認に10分以上かかる場合があります。
- 電源を入れると、冷却のため本体内部の冷却ファンが回転します。
- 電源を切っても次のような場合は内部の電源が入っているため、本体内部の冷却ファンが回転します。電源を切った後、数分間は本体の電源が入った状態となります。
 - 地上デジタル放送の「番組表取得設定」を「する」に設定したときは、電源「切」にしているも、番組表データが取得できていないときや番組表データ取得時刻になると、番組表データを取得するため約1時間本体内部の電源が入った状態となります。（受信できる放送局が多いほど、番組表データの取得に時間がかかります。）「番組表取得設定」については「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。
 - 番組表データ取得中やGガイドからの情報取得中は、本体表示部に「PGU 17E」と表示されます。初期設定で「時計表示設定」（→28ページ）を「する」に設定しているときは時計表示を約1分間表示したあと「PGU 17E」表示に切り換わります。
 - 初期設定で「クイック起動設定」（→28ページ）が「する（常時）」または「する（時間指定）」に設定されているときは、電源「切」の状態からすばやく起動できるようにするため、クイック起動待機状態となります。そのため、本体内部の冷却ファンが回転します。（「する（時間指定）」は指定した時間帯のみクイック起動状態になります。）
 - 本機がB-CASカードの内容を確認しているときは、本体内部の電源が入った状態となります。

T3800 T2800 T1800 W2800 W1800

無線 LAN 使用時のご注意

- 本機を無線で LAN に接続するには、本機の内蔵無線 LAN と無線 LAN 対応のブロードバンドルーター（市販品）とで通信を行います。

無線 LAN を使用する場合は、次の点にご注意ください

- 以下の機器、または無線局と同じ周波数帯を使用しますので、近くで使用しないでください。電波の干渉が発生する可能性があるため、通信ができなくなったり、通信速度が下がったりする場合があります。
 - ペースメーカー、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
 - 工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
 - 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- 携帯電話、PHS、ラジオの近くではできるだけ使用しないでください。携帯電話、PHS、ラジオなどは、無線 LAN とは異なる電波の周波数帯を使用していますので、これらの機器を近くで使用しても、無線 LAN の通信およびこれらの機器の通信には影響しません。ただし、これらの機器を無線 LAN 製品に近づけた場合は、無線 LAN 製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

- 間に鉄筋や金属、コンクリートがあると通信できません。本機で使用している電波は、一般の住宅で使用されている木材やガラスなどは通過しますが、鉄筋、金属、コンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。それらが部屋の壁やフロア間に使用されている場合は、通信ができません。
- 5GHz 帯（IEEE802.11a）の電波を使って、屋外で通信をしないでください。法令により、5GHz 無線機器を屋外で使用することは禁止されています。屋外で使用する場合は、5GHz 帯の電波を無効にしてください。

無線 LAN 対応ブロードバンドルーター・アクセスポイントについて

- 無線 LAN ルーター・アクセスポイントの電源を入れ直す場合は、電源を切った後、5秒以上待ってから電源を入れ直してください。詳しくは、お使いの製品の取扱説明書をご覧ください。
- 5.2/5.3GHz 帯無線 LAN の使用は、電波法により、屋内に限定されます。

2.4GHz 帯使用の無線機器について

- 本機の使用周波数帯では、ペースメーカー、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および、特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
 - ・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局や、特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
 - ・万一本機から移動体識別用の構内無線局に対する電波干渉が発生した場合は、すぐに使用している周波数帯を変更するか、電波の発信を停止して有線 LAN 接続をしてください。

2.4GHz 無線 LAN 表記の意味について

2.4DS/OF4	[2.4]	: 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
	[DS/OF]	: 変調方式 DS-SS 方式 / OFDM 方式を示す
	[4]	: 想定干渉距離が 40m 以下であること
	[—]	: 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

本機が対応する無線 LAN 規格について

- 本機は、下記の記号に記載された規格で採用された無線通信チャンネルに対応した製品であることを意味します。無線アクセスポイントについても、この記号がある製品でご使用いただくことをおすすめします。

IEEE802.11b/g/n	タイプ	チャンネル	周波数帯域
IEEE802.11a/n	W52	36,40,44,48ch	5.2GHz 帯 (5150-5250 MHz)
J52 W52 W53 W56	W53	52,56,60,64ch	5.3GHz 帯 (5250-5350 MHz)
	W56	100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch	5.6GHz 帯 (5470-5725 MHz)

無線 LAN の性能表示等の記載について

- 本機の通信速度（300/54/11Mbps）についての記載は、IEEE802.11 の無線 LAN 規格による理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）を示すものではありません。
- 実際のデータ転送速度は、周囲の環境条件（通信距離、障害物、電子レンジ等の電波環境要素、ネットワークの使用状況など）に影響します。
- [IEEE802.11n] 規格に準拠した製品のため、他社のド raft 準拠製品との通信を保証するものではありません。

HDD（ハードディスク）の取り扱いに関するご注意とお知らせ

取り扱い上のご注意

本機の設置場所や取り扱いに十分な配慮が不足しますと、次のような症状が発生します。

- ・HDD（ハードディスク）が故障する
- ・HDD（ハードディスク）に録画した内容が損なわれる
- ・動作が中断する
- ・ノイズが記録される

上記のようなことを避けるため、以下のことを守ってください。

次のような場所には置かないでください。

- ・本体後面の冷却用ファンや通風口をふさぐような狭いところ
- ・本体前面の扉が開けられないようなところ
- ・傾いたところ（水平に置いてください）
- ・振動の激しいところ（振動や衝撃は与えないでください）
- ・湿度の高いところ
- ・温度差の激しいところ

以下のような温度差の激しいところに設置すると、「つゆつき（結露）」が起こる場合があります。

- ・暖房をつけた直後。
- ・湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
- ・冷えた場所（部屋）から急に暖かい部屋に移動したとき。

本機の内部につゆつき（結露）が起こったままお使いになると、HDD（ハードディスク）に傷が付いて故障の原因になります。室内の温度変化は、毎時10℃以下に保つことをおすすめします。

つゆがつくと

信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

つゆをとるには

電源を切り、つゆがなくなるまで放置してください。そのままご使用になると、故障の原因になります。

電源が入っているときは次の点にご注意ください。

- ・電源プラグをコンセントから抜かない
- ・本機を設置してある場所のプレーカーを落とさない
- ・本機を移動させない

本機を移動させるときは次の点にご注意ください。故障の原因になります。

- ・BD（ブルーレイディスク）やDVDディスクを取り出してください。
- ・「クイック起動設定」と地上デジタル放送の「番組表取得設定」をそれぞれ「しない」に設定し、電源を切った状態で（**本体表示部、+HDDランプ、HDDランプ、BD/DVDランプが消灯後、約3分程度待ってから**）、接続や電源プラグを抜いてください。（BD-T3800/T2800/T1800をご使用の場合は、録画リストに「⇒ []」（録画画質変換タイトル）がないことを確認してください。）
- 「クイック起動設定」や「番組表取得設定」については、「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。
- ・振動や衝撃は与えないでください。

エラーメッセージが表示されたら

- ・「ハードディスクにエラーが発生しました。放送視聴のみ可能です。」などのエラーメッセージが表示されたときは、HDD（ハードディスク）が故障していることがあります。

HDD（ハードディスク）が故障した場合、ご自身でHDD（ハードディスク）を交換することはできません。

HDD（ハードディスク）が故障しても再生が可能であれば、録画内容をBD-RE/-RやDVD-RW/-Rディスクに保存してください。その上で、お買いあげの販売店、またはお客様相談窓口（→ 73 ページ）にご連絡ください。

※ 本機をご自身で分解すると、保証が無効になります。

※ 録画した内容の修復はできません。

- ・エラーメッセージが表示されたとき、症状によってはHDD（ハードディスク）を「初期化」することで改善されることがあります。初期化のしかたについては「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。

※ **初期化をすると、録画した内容は全て消去されます。大切な録画内容は、初期化をする前にBD-RE/-RやDVD-RW/-Rディスクに保存してから初期化をしてください。**

停電になったら

- ・録画中、または予約録画中に停電になると、録画中の内容が損なわれることがあります。
- ・再生中に停電になると、再生中の内容が損なわれることがあります。

アンテナ受信が弱いときは

- ・録画の際、アンテナが抜けたり、アンテナ受信が不良になった場合、録画を停止することがあります。その場合、録画リストには「アンテナ受信不良の可能性ががあります。」と表示されます。

大切な録画内容は

- ・パソコンと同様に、HDD（ハードディスク）は、壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。録画（録音）内容の長期的な保管場所ではありません。大切な番組、残しておきたい映像は、BD-RE/-RやDVD-RW/-Rディスクにダビングして保存（バックアップ）しておくことをおすすめします。

本機ではHDD(ハードディスク)の容量の一部を、システム管理領域として使用しています。

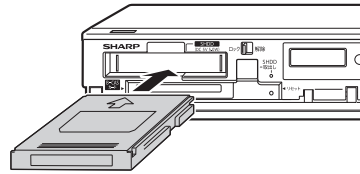
HDD（ハードディスク）の故障による録画・録音内容の損失など万一何らかの不具合により、録画・編集されなかった場合の内容の補償、録画・編集されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いません。あらかじめご了承ください。

T3800

SHDD (スロットインハードディスク) の取り扱いに関するご注意とお知らせ

取り扱い上のご注意

- SHDD (スロットインハードディスク) は非常に精密な機器です。万一不具合が発生した場合、SHDD (スロットインハードディスク) に記録されている内容が消失してしまうことがあります。別売りの SHDD (スロットインハードディスク) の取扱説明書に記載されている注意事項も必ずお守りください。
- コネクタ部に触れたり、異物を入れたりしないでください。
- 改造や分解などをしないでください。
- 側面や背面の通気口をふさがないでください。
- 振動や衝撃が起こらない場所に設置してください。
- ごみやほこりの少ない場所に設置してください。
- 結露 (つゆつき) が発生しにくい場所に設置してください。結露とは冷たいコップの表面に水滴が付いたりする現象です。急な温度変化が起きた場合や、寒いところから暖かい場所へ移動して設置する場合は結露が起こりやすくなります。そのような場合は室温に 2～3 時間なじませてから電源を入れてください。
- 安定した動作を維持するために、長時間使用されない場合でも一年に一回は通電していただくことをおすすめします。
- SHDD (スロットインハードディスク) の動作中に電源プラグを抜かないでください。
- 振動や衝撃を与えたり、本機を移動させたりしないでください。
- SHDD (スロットインハードディスク) を挿入してから使用するための準備が完了するまでは、録画や再生など SHDD (スロットインハードディスク) にアクセスする操作はできません。
- 記録中や再生中に停電等で電源が供給されなくなった場合、SHDD (スロットインハードディスク) の記録内容が損なわれることがあります。
- 録画中 (ムーブ中・ダビング中を含む) は振動や衝撃を与えないでください。録画が中断されたり、録画画像にノイズが記録される場合があります。
- SHDD (スロットインハードディスク) に録画予約したときに残量が不足した場合、録画が全くできなかったり途中で停止したりします。録画前に SHDD (スロットインハードディスク) の残量表示を確認してください。
- SHDD (スロットインハードディスク) の残量が少ないときは、あらかじめ不要な記録内容 (データ) を削除し、余裕のある状態にしてから録画してください。
- 録画中に SHDD (スロットインハードディスク) の残量がなくなった場合、録画は中断されます。
- SHDD (スロットインハードディスク) を交換修理する場合、記録内容を新しい SHDD (スロットインハードディスク) に移すことはできません。
- 万一何らかの不具合によって録画や編集ができなかった場合の補償、また、録画・編集されたデータの損失、並びにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- SHDD (スロットインハードディスク) を対応 BD レコーダーに挿入するときは、正しい向きに、奥までしっかり差し込んでください。誤った向きに差し込んだり、差し込みが不十分な場合、正常に動作しません。



- SHDD (スロットインハードディスク) 挿入口のドア内に指などを入れないでください。ドア内やガイド部等には突起があり、これらの突起に触れたりドアに指を挟んだりすると、けがの原因になることがあります。
- 以下の動作中に電源プラグを抜かないでください。記録内容が損なわれ、録画や再生ができなくなる可能性があります。
 - 録画、再生、編集、ダビング中
 - 配信中 (DLNA)
 - SHDD (スロットインハードディスク) 認識中
 - SHDD (スロットインハードディスク) 取出しランプ点滅中
- SHDD (スロットインハードディスク) が本機に挿入されているとき、SHDD (スロットインハードディスク) に触れないでください。また、無理に取り出さないでください。
- SHDD (スロットインハードディスク) 取出しボタンを押したときは、必ず SHDD (スロットインハードディスク) を抜き差ししてください。
- SHDD (スロットインハードディスク) 挿入口には SHDD (スロットインハードディスク) 以外のものを挿入しないでください。
- SHDD (スロットインハードディスク) の挿入前に、SHDD (スロットインハードディスク) コネクタ部に液体、ほこり等の異物が付いていないことを確認してください。
- 頻繁に SHDD (スロットインハードディスク) を抜き差ししないでください。コネクタ接続部が磨耗し、接触不良などの故障の原因になります。
- パソコンで SHDD (スロットインハードディスク) のフォーマットやファイル操作を行わないでください。正常な使用ができなくなります。
- 本機では電源がスタンバイ状態のとき、「カチッ」というスイッチ音がしたり、「ヒューン」という SHDD (スロットインハードディスク) の起動する音が聞こえたりする場合がありますが、これらは故障によるものではありません。
- テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。それらの映像は、個人で楽しむ以外の目的では利用しないでください。
- 大切な映像を録画・保管する際は、BD (ブルーレイディスク) などを併用することをおすすめします。
- SHDD (スロットインハードディスク) は、ご使用の前に本機に登録する必要があります。本機で登録された SHDD (スロットインハードディスク) は、他の機器では使用できません。他の機器で使用する場合は登録解除を行う必要があり、登録解除を行うと SHDD (スロットインハードディスク) 内のデータは消去されます。
- SHDD (スロットインハードディスク) を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- SHDD (スロットインハードディスク) の上に重いものなどを置かないでください。
- SHDD (スロットインハードディスク) を使用しない場合は、保管用ケースに入れて保管してください。

付属品を確認する

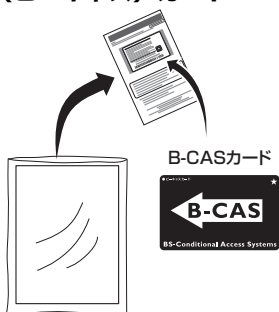
- ・ 箱を開けて、本機とつぎの付属品がそろっているか確認してください。
- ・ B-CAS カードは開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

リモコン× 1 個、 単 3 形乾電池× 2 個

- ・ 電池を交換する際は、アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。



B-CAS (ビーキャス) カード× 1 枚



(B-CAS カード使用許諾契約約款付き)

地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタルの各放送を見るには、B-CAS カードを本機に挿入してください。

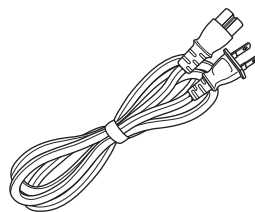
→ 26 ページ

アンテナケーブル× 1 本 (両側 F 接栓ケーブル)



電源コード

注意：付属の電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。



保証書

本機の保証書は、本機の梱包箱に貼り付けています。

・取扱説明書（本書）※

※ 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。

This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

- ・ アンテナの種類や接続する機器により、市販品が必要になる場合があります。アンテナの種類や接続する機器の端子を確認し、接続をする前に必要なケーブルを準備してください。
- ・ テレビと接続する HDMI ケーブルは市販品を準備してください。

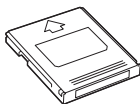
別売品

T3800

■ AQUOS ブルーレイ専用 SHDD(スロットインハードディスク)

- ・ 別売の SHDD (スロットインハードディスク)「VR-SHD50」,「VR-SHD100」を本機に挿入し、番組を録画することができます。

→使いかたは「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。



■ネットワークアダプター

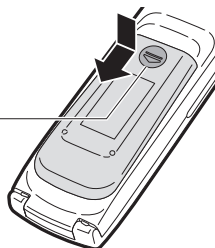
- ・ 別売のネットワークアダプター「VR-NP1」をご使用になりますと、DLNA (ホームネットワーク) に対応していない HDMI 端子付きテレビでもホームネットワーク機能が楽しめます。

リモコンの準備（電池を入れる）

電池の入れかたと操作範囲

①裏ぶたを開ける

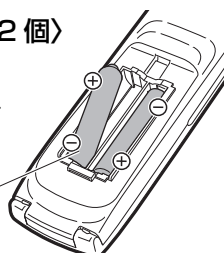
この部分を軽く押しながら、矢印の方向にスライドします。



②付属の乾電池〈単3形×2個〉を入れる

- ・収納部の⊕の向きに注意し、表示どおりに正しく入れてください。

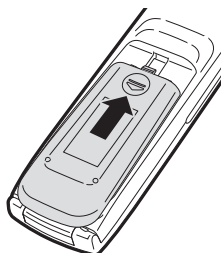
マイナス⊖側から入れてください。



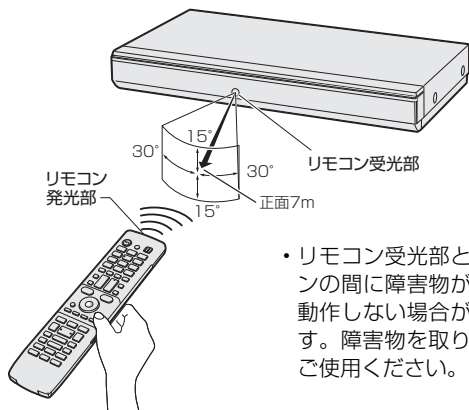
- ・新しい乾電池に交換する際は、アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

③裏ぶたを閉める

- ・カチッと音がするまで確実に閉めてください。



リモコンの操作範囲



- ・リモコン受光部とリモコンの間に障害物があると動作しない場合があります。障害物を取り除いてご使用ください。

⚠注意 乾電池使用上のご注意

乾電池は誤った使いかたをすると、液もれや破れつを起こすことがありますので、次の点について特にご注意ください。

- ・乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。
- ・乾電池はショートさせたり、充電したり、分解したりしないでください。
- ・乾電池は種類によって特性が異なります。種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- ・新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。新しい乾電池の寿命を短くしたり、古い乾電池から液がもれるおそれがあります。
- ・乾電池が使えなくなったら…液がもれて故障の原因となるおそれもありますのですぐ取り出してください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。
- ・不要となった乾電池を廃棄する場合は、各自治体の指示（条例）に従って処理してください。

重要

- ・リモコンには衝撃を与えないでください。
- ・リモコンのふたに強い力を加えないでください。故障の原因となる恐れがあります。
- ・リモコンを、水に濡らしたり湿度の高いところに置いたりしないでください。
- ・乾電池を入れ換えたとき、リモコンが正しく動作しないことがあります。このようなときは、乾電池をいったんリモコンから取り外し、5分以上たってから入れ直してください。
- ・本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっていると、リモコンが正しく動作しないことがあります。照明または本体の向きにご注意ください。
- ・付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがあります。早めに新しい乾電池と交換してください。（寿命は通常6ヵ月～1年が目安です。）
- ・長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出してください。
- ・電池のない状態が続いたとき、電池を交換したときなど、「リモコン番号」（→33ページ）や「テレビメーカー指定」（→32ページ）、「テレビ自動入力切替」がリセットされますので、設定し直してください。「テレビ自動入力切替」については「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。

アンテナ線を接続する

アンテナの種類と接続のしかた

ご自宅のアンテナに応じて、アンテナ線を接続してください。

BS・110度CS デジタル放送用アンテナを
設置していない場合



接続
A

▶ 下記

個別に UHF と BS アンテナを設置している場合

- 地上デジタル放送の受信に必要な UHF アンテナ、BS・110度CS デジタル放送の受信に必要な衛星アンテナの設置をお確かめください。

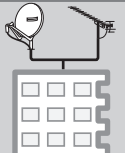


接続
B

▶ 17 ページ

マンションなどの共聴システムで受信している場合

- 地上デジタル放送や BS・110度CS デジタル放送の信号が配信されているかどうかは、マンション管理者にお問い合わせください。



接続
C

▶ 17 ページ

ケーブルテレビ (CATV) ボックスをご使用の場合

- 本機で地上デジタル放送が受信できるのは、「CATV パススルー方式※」です。「トランスモジュレーション方式」に対応していません。



接続
D

▶ 18 ページ

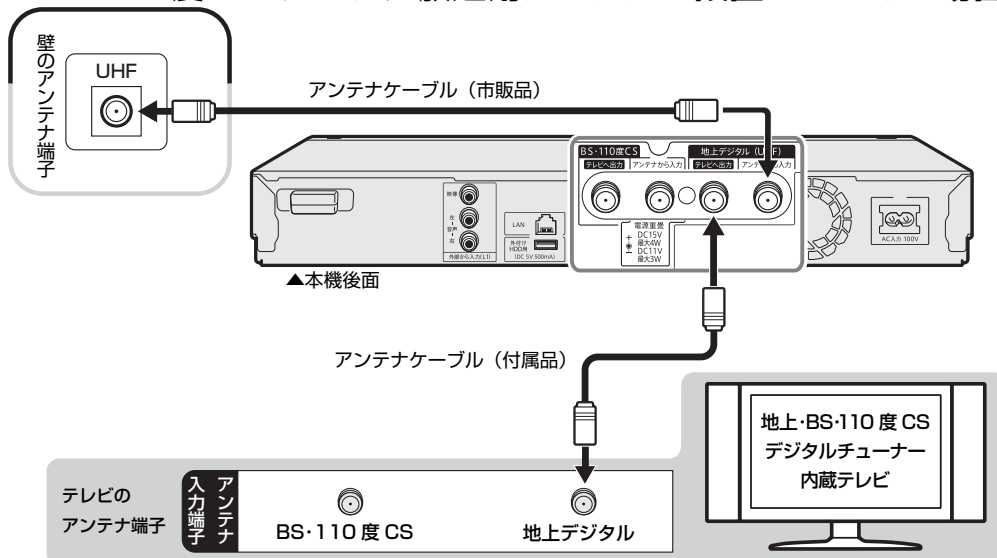
※CATV パススルー方式とは…

CATV 配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままCATV 網に渡す放送方式です。

この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF 帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。

本機で受信できるのは、「UHF 帯」、「VHF 帯」、「ミッドバンド (MID:C13～C22) 帯」、「スーパーハイバンド (SHB:C23～C63) 帯」です。

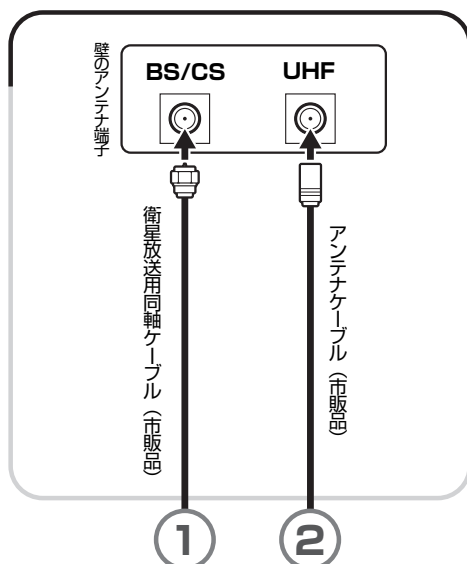
A BS・110度CS デジタル放送用アンテナを設置していない場合



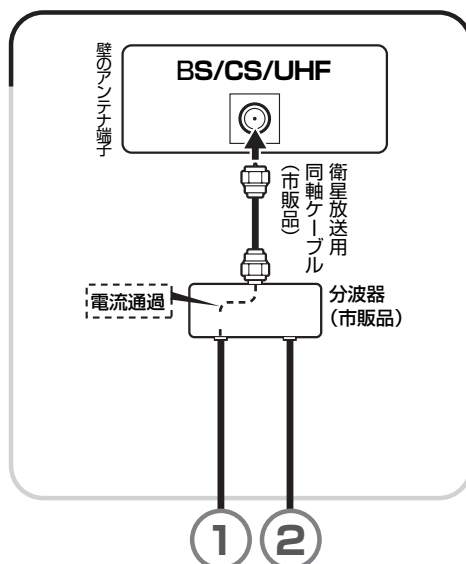
接続が済んだら、「テレビと接続する」に進みます。

→ 21 ページ

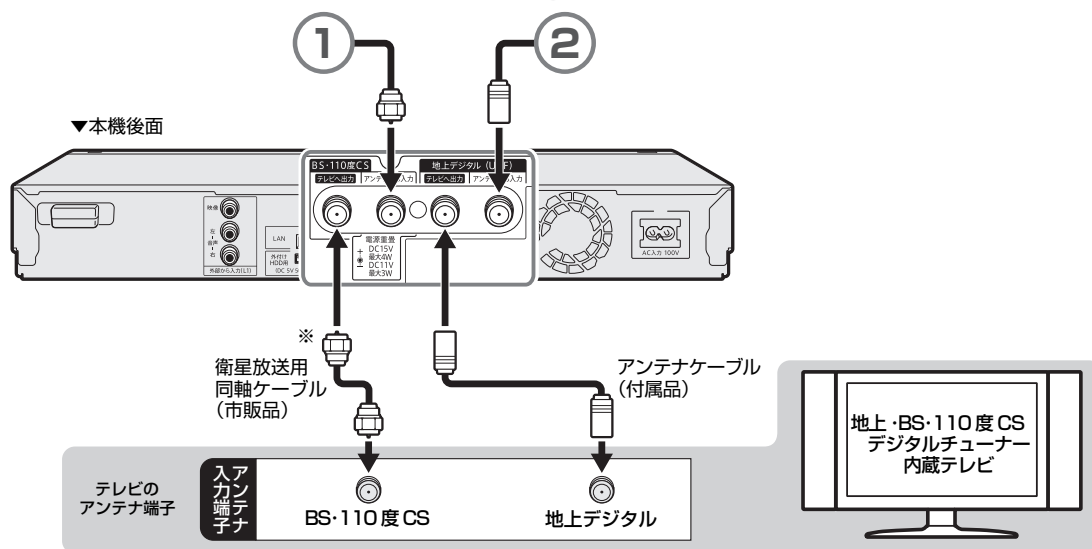
B 個別に UHF と BS アンテナを 設置している場合



C マンションなどの共聴システム で受信している場合



アンテナケーブルを同じ番号につないでください。



※本機の「BS・110度CS」の「テレビへ出力」端子とテレビのBS・110度CSデジタルアンテナ端子を接続したときは、「ホーム」－「設定」－「放送視聴設定」－「アンテナ設定」－「BS・CSデジタル」の「信号出力設定」を「する」に設定してください。「しない」に設定したときは、テレビへのアンテナ信号が出力されません。「アンテナ設定」については「ホーム」メニューの「取扱説明」でご確認ください。

接続が済んだら、「テレビと接続する」に進みます。

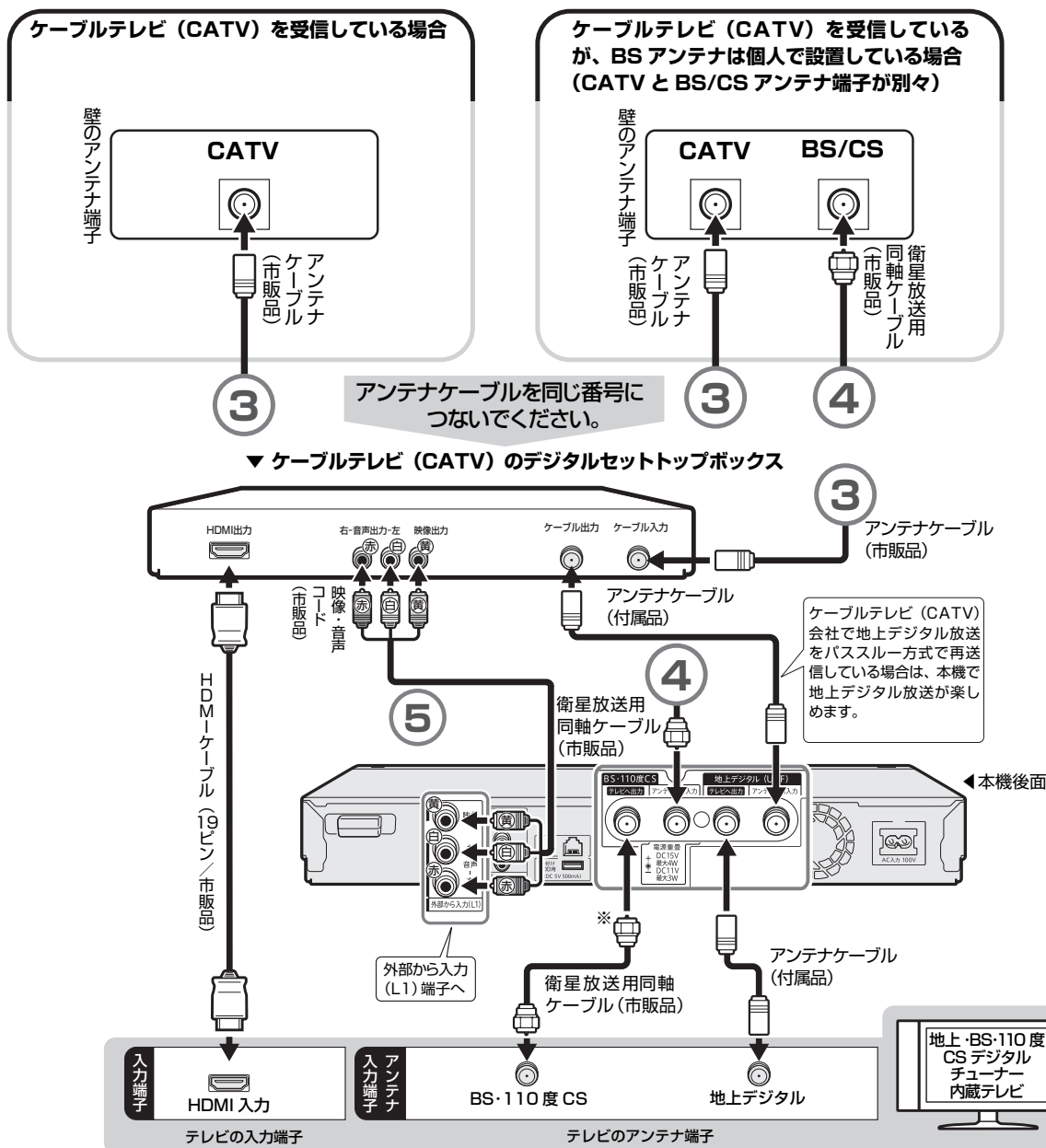
→ 21 ページをご覧ください。

D ケーブルテレビ (CATV) ボックスをご使用の場合

- ・接続図は一例です。ケーブルテレビ (CATV) ボックスによりつながり方は異なります。
- ・安全のためテレビと本機の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- ・ケーブルテレビ (CATV) を受信するときは、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。また、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、ケーブルテレビ専用のホームターミナル (アダプター) が必要です。
- ・詳しくはケーブルテレビ会社にご相談ください。

ご注意

- ・アンテナケーブルや映像・音声コードの端子は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。



接続が済んだら、「テレビと接続する」に進みます。

→ 21 ページをご覧ください。

※本機の「BS・110度CS」の「テレビへ出力」端子とテレビのBS・110度CSデジタルアンテナ端子を接続したときは、「ホーム」→「設定」→「放送視聴設定」→「アンテナ設定」→「BS・CSデジタル」の「信号出力設定」を「する」に設定してください。「しない」に設定したときは、テレビへのアンテナ信号が出力されません。
詳しくは「ホーム」メニューの「取扱説明」(→ 60 ページ)をご覧ください。

双方向通信／インターネット／ホームネットワークの接続をする

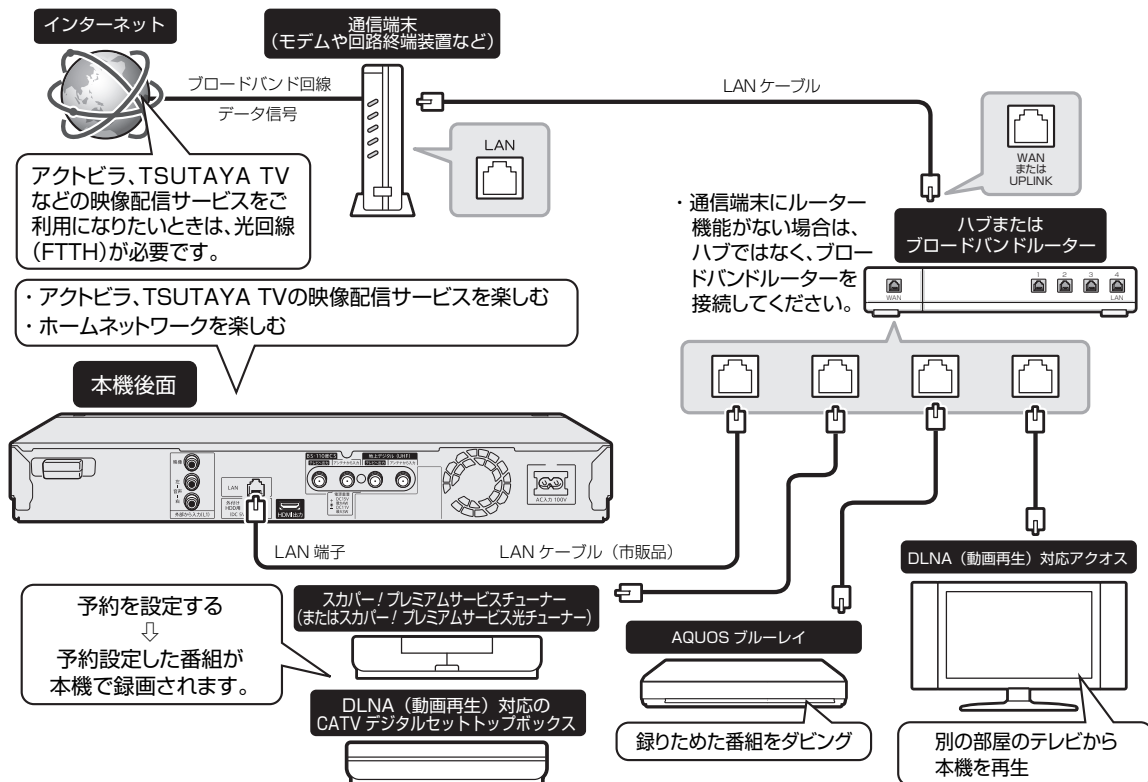
LAN 接続でできること

次のサービスを楽しむには、LAN(Local Area Network)接続と LAN 設定、ホームネットワーク設定が必要です。

- ・デジタル放送の双方向通信
- ・アクトビラ、TSUTAYA TV の視聴
- ・BD ビデオの BD-LIVE 機能
- ・ホームネットワーク
 - ・ DLNA (動画再生) 対応アクオスで本機を視聴
 - ・ LAN 接続のスカパー！プレミアムサービスチューナーからの録画 (「スカパー！プレミアムサービス Link」)
 - ・ LAN 接続の CATV のデジタルセットトップボックスからの録画
 - ・ LAN 接続の AQUOS ブルーレイからのダビング
- ・外出先からスマートフォンなどで本機に予約録画したり、録画した番組を視聴するなど連携操作が行えます。
※ スマートフォンなどとの連携操作には専用のアプリケーションソフトが必要です。

■ 有線 LAN 接続のしかた (無線 LAN の接続については、20 ページをご覧ください。)

- ・ LAN に接続する場合は、必ず本機の電源を「切」にして行ってください。(電源を入れた状態で LAN 接続したときは、回線接続ができない場合があります。)
- ・ 下記の接続図は、ADSL での接続の一例です。
- ・ LAN ケーブルは、カテゴリ 5 以上のものをご使用ください。



- ・ 初期設定で LAN 設定とホームネットワーク設定を行ってください。

で注意

- ・ 回線業者やプロバイダにより、必要な機器や接続方法が異なります。
- ・ 本機は公衆 LAN への接続には対応しておりません。通信端末認定品の市販ルーターなどを用いて LAN 接続をしてください。

お知らせ

- ・ プロバイダとの契約も必要です。サービス内容の詳しい情報は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。ホームネットワークのみを利用するときは、プロバイダ契約は不要です。

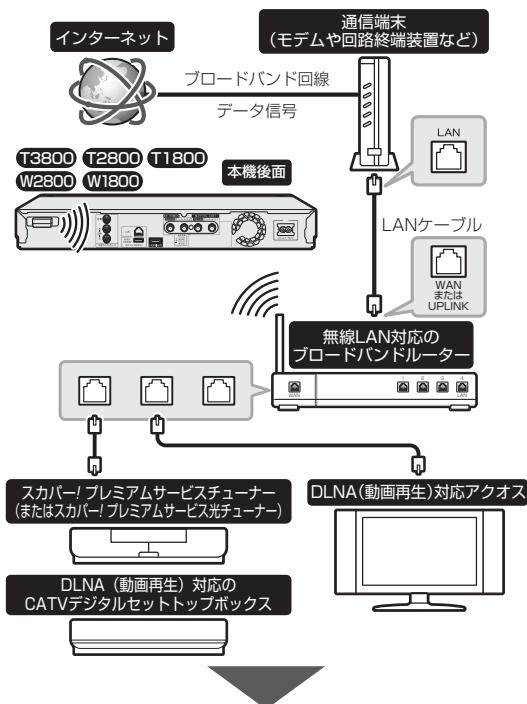
ADSL の契約について

- ・ ADSL 専用の契約 (通常の電話を使用せず IP 電話回線網の使用に限定した契約) の場合、双方向サービスへの接続ができない場合があります。
- ・ ADSL など、ブロードバンドサービスの接続には専門知識が必要です。詳しくは、ADSL 事業者にお問い合わせください。

T3800 T2800 T1800 W2800 W1800 無線 LAN 設定の前に

- 無線 LAN は、すべての住宅環境でワイヤレス接続、性能を保証するものではありません。
- 無線 LAN は、距離や障害物の影響で伝送速度がさがったり、同一周波数を使う機器の影響でつながないことがあります。
- 本機は公衆 LAN への接続には対応しておりません。通信端末認定品の市販ルーターなどを用いて LAN 接続をしてください。
- 本機を無線で LAN に接続するには、無線 LAN 対応のブロードバンドルーター（アクセスポイント）への接続設定が必要です。（無線 LAN で利用できるサービスは、**19** ページをご覧ください。）
- 無線 LAN 接続には本機と通信ができる無線 LAN 対応のブロードバンドルーター（市販品）が必要です。
 - 本機は、無線 LAN 高速化規格 IEEE802.11n、および無線 LAN 規格 IEEE802.11a/g/b に対応しています。（IEEE802.11n での接続を推奨します。）
 - 対応チャンネル 2.4GHz 帯：1～13ch
対応チャンネル 5GHz 帯：36～48ch (W52)、52～64ch (W53)、100～140ch (W56)
 - 無線 LAN の接続方式について、詳しくはお使いの機器（ブロードバンドルーターなど）のメーカーにお問い合わせください。

▼接続例（回線業者やプロバイダにより、必要な機器や接続方法が異なります。）



- 初期設定で LAN 設定とホームネットワーク設定を行ってください。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届いてしまいます。セキュリティに関する設定を行うことで、以下のようなことを防げます。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）。

特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）。

傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）。

コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用してください。

セキュリティ方式について

本機は、WEP、WPA-PSK (TKIP/AES)、WPA2-PSK (TKIP/AES) のセキュリティ方式に対応しています。お使いのブロードバンドルーターが対応しているセキュリティ方式をご確認のうえ、より強固なセキュリティ設定をされることを推奨します。

セキュリティ方式		説明
WEP		WEP キーと呼ばれる暗号化キーでデータを暗号化する方式です。
WPA-PSK	TKIP	それぞれに強力な暗号化の規格である TKIP と、さらに強力な暗号化の規格である AES があります。
	AES	
WPA2-PSK	TKIP	
	AES	

セキュリティキー（暗号化キー）について

各セキュリティ方式を設定する際に、暗号化を行うための鍵であるセキュリティキー（暗号化キー）の入力が必要となります。お使いのブロードバンドルーターの取扱説明書をご確認のうえ、セキュリティキー（暗号化キー）を入力してください。

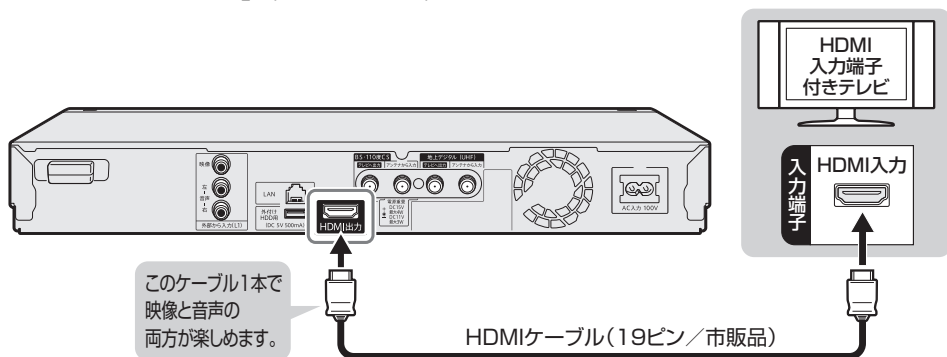
テレビと接続する

重要

- 安全のためテレビと本機の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- コード類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- テレビ側の接続は、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。
- テレビを接続して電源を入れるときは、テレビの電源を入れたあとに本機の電源を入れてください。
- 本機に接続したケーブルが誤って強く引かれた場合、端子部が破損するおそれがあります。取り扱いにご注意ください。

HDMI 入力端子付きテレビと接続する

- 「ファミリンク機能」を搭載したシャープ製のテレビ「アクオス」と HDMI ケーブルで接続すると、テレビのリモコンまたは本機に付属のリモコンで、テレビと本機の操作が行えます。ファミリンクについて詳しくは「ホーム」メニューの「取扱説明」(→ 60 ページ)をご覧ください。



お知らせ

- テレビと接続したときは、「映像出力設定」(解像度)は「オート」に設定されます。「HDMI 映像出力設定」を「オート」以外に設定するとき、接続先で対応していない解像度は選択できません。(HDMI ケーブルが接続されていない、または接続先機器の電源が入っていないときも選択できません。)
- HDMI から 480p または 480i の出力をしているときは、96kHz/192kHz の PCM 音声は、48kHz で出力されます。
- DVI デジタル入力端子付きの機器と DVI-HDMI 変換ケーブル(市販品)を使用して接続したときは、正常な映像にならない、または映らない場合があります。(本機の HDMI 出力端子は、HDMI 機器との接続を目的に設計されています。また、DVI-HDMI 変換ケーブルを使い DVI 機器と接続したときは、DVI 機器に音声が入力されません。)

「映像出力設定」と「音声出力設定」が必要な場合は、「ホーム」-「設定」-「映像・音声設定」-「映像・音声出力設定」で設定を行ってください。

- 設定について詳しくは「ホーム」メニューの「取扱説明」(→ 60 ページ)をご覧ください。

※「アクオス純モード」「クアトロ純モード」「クアトロ純モード」「4K 純モード」に対応した「アクオス」「アクオス クアトロ純」「アクオス クアトロ純 プロ」「4K 対応アクオス」と接続すると、BD ビデオ/DVD ビデオ再生時や、ホーム画面操作時、写真再生時に、自動的に画面サイズ調整や映像調整が行われ、最適な映像を楽しむことができます。

その他の機器を接続する

本機をさらに楽しむために、必要に応じてその他の機器と接続しましょう。

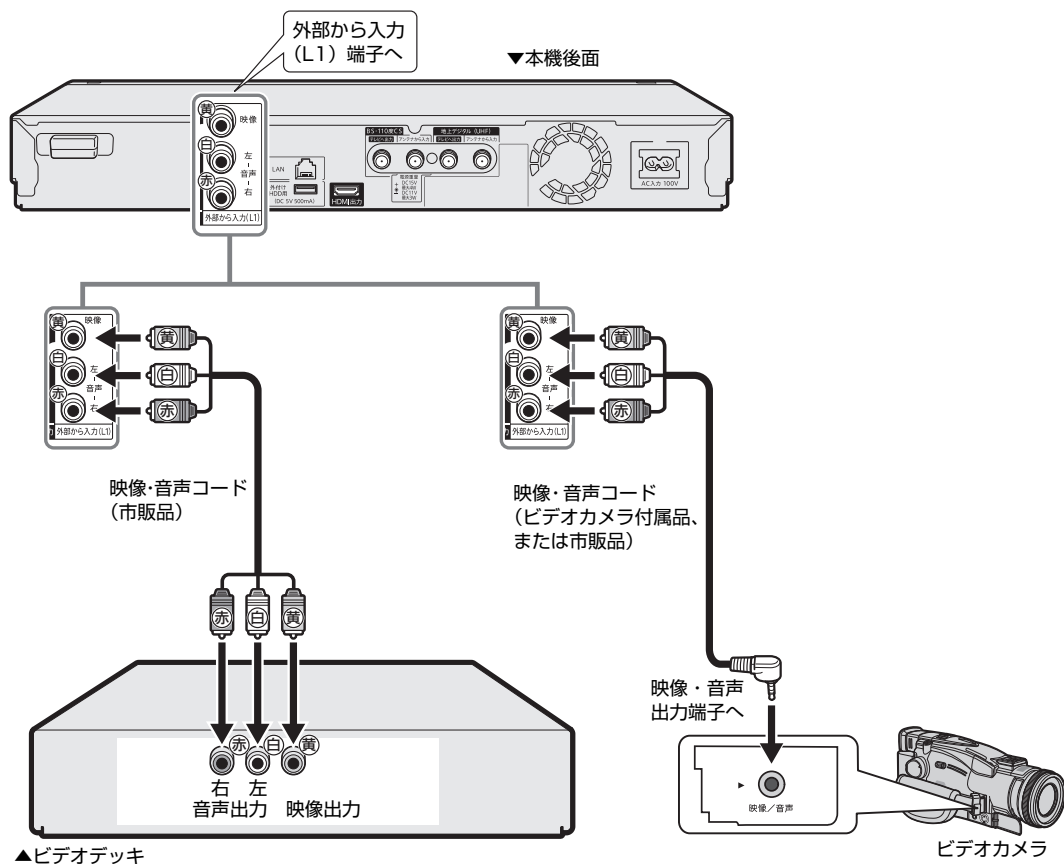
重要

- 安全のため本機・テレビ・接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- 接続する端子に合ったケーブル類を使って、接続してください。
- ケーブル類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- 接続する機器側の接続については、接続する機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 映像が映らないとき、テレビの映りが悪いとき、正常な録画ができないときは、**68 ～ 69** ページをご覧ください。

ビデオカメラやビデオデッキを接続する場合

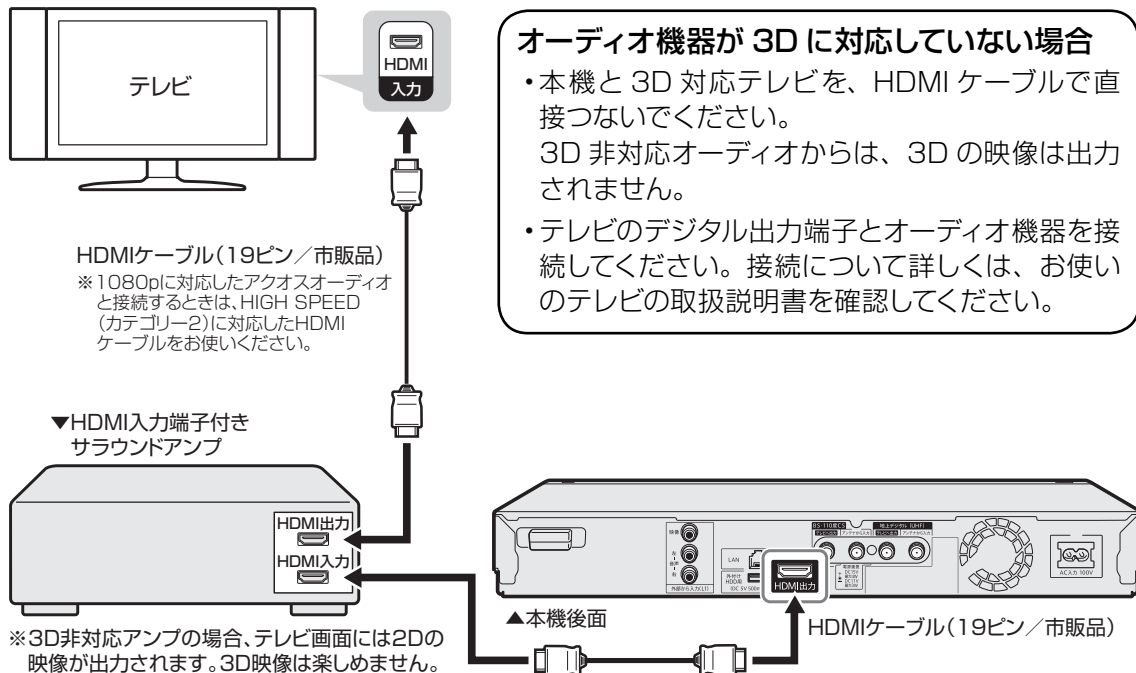


オーディオ機器を接続する場合

HDMI 接続で音声を楽しむときは

本機の音声を HDMI 入力端子付きオーディオ機器で楽しむための接続です。

- 次世代オーディオフォーマットのデコードに対応した AV アンプなどと HDMI 接続することにより、ブルーレイディスクに記録されている最大 7.1ch のロスレスオーディオ「DTS-HD Master Audio」や「ドルビー TrueHD」音声など大迫力の高音質サラウンド音声を楽しめます。
- オーディオ機器側の接続については、オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- ファミリンク対応のアクオスオーディオ（アクオスサラウンド）を接続する場合は **25** ページの接続をしてください。



重要

- 本機に接続した HDMI ケーブルが誤って強く引かれた場合、端子部が破損するおそれがあります。取り扱いにご注意ください。

ご注意

- 接続後は、「ホーム」－「設定」－「映像・音声設定」－「映像・音声出力設定」の「音声出力設定」を行ってください。
接続した機器に合わせ、「オート」または「PCM（サラウンド）」に設定します。
- 設定について詳しくは「ホーム」メニューの「取扱説明」（→ **60** ページ）をご覧ください。

ヒント

- オーディオ機器の接続について詳しくは、オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

ファミリンクを楽しむための接続

ファミリンク対応テレビ・アクオスオーディオと接続

ファミリンク機能は、シャープ製のファミリンク対応機器と HDMI ケーブルで接続したときに働く機能です。それ以外の機器では動きません。(正常に動作しない、または一部の機能しか動きません。)

「アクオス純モード」「クアトロン純モード」「クアトロンプロ純モード」「4K 純モード」について

- ファミリンク対応のシャープ製テレビ「アクオス」「アクオス クアトロン」「アクオス クアトロン プロ」「4K 対応アクオス」と HDMI ケーブルで接続し、ファミリンク機能を使用するための設定をしているとき、本機の HDMI 端子から「アクオス」「アクオス クアトロン」「アクオス クアトロン プロ」「4K 対応アクオス」に最適な画質で映像が出力される機能です。
- 出力されている映像モードは、「ホーム」－「設定」－「映像・音声設定」－「画質調整」で確認できます。

ファミリンク対応機種は？

- 以下の手順で「ファミリンク対応」および「アクオス純モード」「クアトロン純モード」「クアトロンプロ純モード」「4K 純モード」対応の機種をご確認いただけます。
 - DVD/BD サポートステーション <http://www.sharp.co.jp/support/bd/faq.html> にアクセスします。
 - 「「Q&A」ピックアップ情報（よくあるご質問）」の「▶AQUOS ファミリンクとは？ 対応している機種は？」をクリックします。
 - 確認したい製品（「液晶テレビ AQUOS」、「AQUOS ハイビジョンレコーダー／AQUOS ブルーレイ」、「AQUOS オーディオ／AQUOS サラウンド（BD1 ビットシアターシステム／1 ビットシアターラックシステム）」）をクリックします。

ファミリンクのための接続をしましょう

21、25 ページ

ファミリンクのための設定をしましょう

「ホーム」メニューの
「取扱説明」で確認

お持ちの機器に合わせて接続しましょう

お持ちの機器（本機と接続する機器）

ファミリンク対応テレビ		アクオスオーディオ*		ご覧 いただく ページ
3D 対応	3D 非対応	3D 対応	3D 非対応	
○		—		21 ページ
○	—	○	—	25 ページ
—	○	○	○	
○	—	—	○	25 ページ

※ AN-ACX1/AN-ACY1/AN-ACR1/AN-ACS1 は、1080p 信号には対応していません。

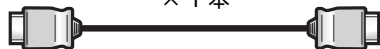
※ 1080p に対応したアクオスオーディオと接続するときは、HIGH SPEED（カテゴリー 2）に対応した HDMI ケーブルをお使いください。

3D 対応テレビと 3D 対応アコースオーディオを接続する 3D 非対応テレビと 3D 対応／非対応アコースオーディオを接続する

準備するもの

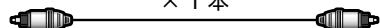
HDMI ケーブル（アコースオーディオ付属品または市販品）

× 1 本



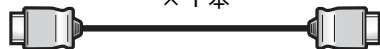
光デジタル音声ケーブル（市販品）

× 1 本



HDMI ケーブル（19 ピン／市販品）

× 1 本



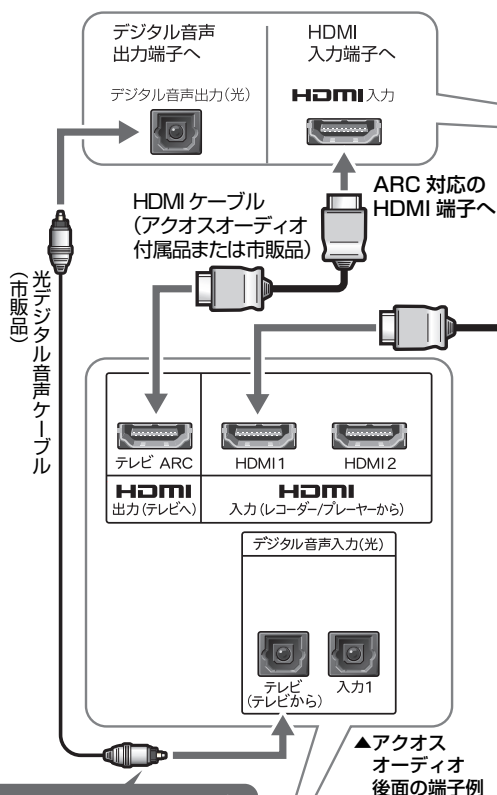
重要

- ・アコースオーディオ側の接続については、アコースオーディオに付属の取扱説明書をご覧ください。

安全のため、本機・テレビ・アコースオーディオなど、接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。

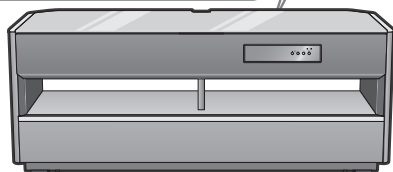
接続例：アコースオーディオ「AN-AR430/AN-AR530/AN-AR630」の場合

▼テレビ後面の端子例

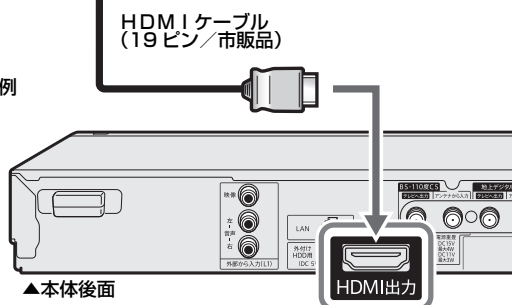


ARC 対応テレビとアコースオーディオを HDMI ケーブルで接続しているときは、接続する必要はありません。

▲アコースオーディオ後面の端子例



▲アコースオーディオ



▲本体後面



ヒント

- ・ARC（オーディオリターンチャンネル）とは、HDMI ケーブルを接続するだけで ARC 対応テレビからアコースオーディオへ音声信号を出力する機能です。

お知らせ

- ・ファミリンクの接続や設定を行った後、HDMI ケーブルの接続先を変えた場合、ファミリンク機能が正しく働かない場合があります。そのようなときは、本機の電源を入れ、テレビの電源を入れ直しファミリンク機能が正しく働くかご確認ください。

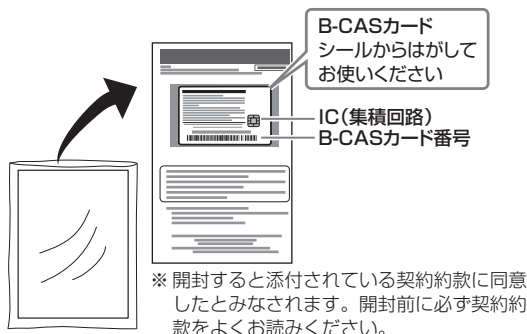
ファミリンクの設定については「ホーム」メニューの「取扱説明」（→ 60 ページ）をご覧ください。

B-CAS (ビーキャスト) カードを挿入する

デジタル放送を視聴するために、本機に B-CAS カードを必ず挿入してください。
B-CAS カードは、デジタル放送を受信する機器それぞれに挿入することが必要です。

デジタル放送と B-CAS (ビーキャスト) カードについて

- B-CAS カードを挿入しないと、地上デジタル放送や BS デジタル放送が映りません。
- B-CAS カードの取り扱い詳細は、カードを貼ってある台紙の説明をご覧ください。



地上デジタル放送を見るには

地上デジタル放送の受信には UHF 対応のアンテナを使用します。現在お使いのアンテナが UHF 対応であれば、そのままご使用になれます。(※一部取り替えや調整が必要な場合もあります。)

VHF アンテナでは受信できません。

- ご使用のアンテナが VHF アンテナのみの場合は、UHF アンテナの設置が必要になります。

お知らせ

- アンテナ工事は技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

BS・110 度 CS デジタル放送を見るには

BS デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送の有料放送を視聴するには放送局への申し込みが必要です。

お客さまが視聴したい番組を放送している放送局の契約申込書に、必要事項をご記入のうえ、投函してください。詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

【有料放送の視聴・録画について】

WOWOW などの有料放送を本機で視聴・録画するには、契約済み B-CAS カードを本機に挿入しておく必要があります。(有料放送は、未契約の B-CAS カードでは視聴・録画が行えません。)

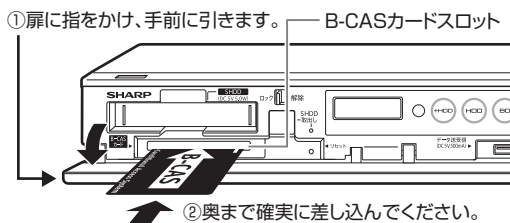
お知らせ

- 本機は、契約データの受信のために、電源「切」(待機状態)のときでも動作することがあります。
- 放送局との通信中は、本体表示部に「P A T A」と表示されます。

B-CAS (ビーキャスト) カードを本機に挿入する

地上デジタル・BS・110 度 CS デジタル放送をご覧いただくには、B-CAS カードを本機に挿入する必要があります。

1 本機前面の扉を開け、B-CAS (ビーキャスト) カードを図のように差し込みます



- 表面を上にし、矢印の方向に挿入します。
- B-CAS (ビーキャスト) カードを取り出すときはまっすぐに手で引き抜いてください。

2 本機前面の扉を閉めます

- 差し込みが不完全な状態で本機前面の扉を閉めると、カードの破損や本機の故障の原因となります。

ご注意

B-CAS カードの取扱い上のご注意

- B-CAS カードを挿入するとき、取り外すときは本機の電源を切ってください。
- 本機使用中は、B-CAS カードに触れないでください。
- 差し込み口に B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- 本機使用中は、B-CAS カードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- B-CAS カードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
- B-CAS カードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- B-CAS カードの金属部には手を触れないでください。
- B-CAS カードを分解、加工しないでください。

B-CAS カードは大切に保管してください

- 仮に他人があなたの B-CAS カードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。

B-CAS カードを破損した場合は

- 破損等により B-CAS カードの再発行を依頼される場合は費用がかかります。

詳しくは、B-CAS カスタマーセンターまでご連絡ください。
(連絡先: 0570-000-250)

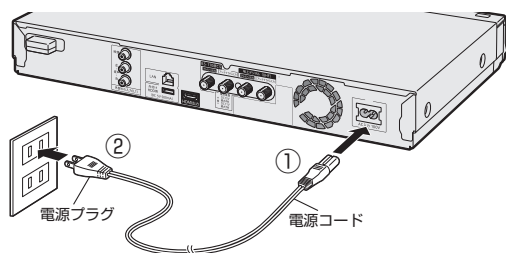
電源プラグを差し込む

重要

- ・電源コードは、束ねずに伸ばしてご使用ください。
- ・機器間の相互干渉による映像の乱れや雑音などを避けるために、電源コードや他のケーブル類をアンテナ線からできる限り離してご使用ください。

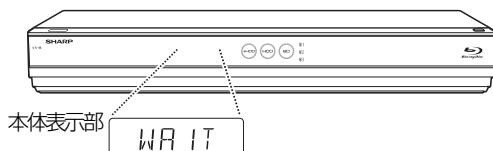
1 電源コードを本体に接続します

2 電源プラグをコンセントに差し込みます



ご注意

- ・本機の電源プラグは、アンプなどの電源スイッチに連動した電源コンセントにつながないでください。アンプの電源を切ったときに、本機の設定内容が消去されてしまうことがあります。
- ・本機の電源が切れているときは、本体の本体表示部、+HDD ランプ、HDD ランプ、BD/DVD ランプが消灯します。
- ・「時計表示/本体ランプ設定」で「時計表示設定」を「する」に設定しているときは、電源を「切」にしたとき本体表示部に時刻を表示します。
- ・電源プラグを差し込んだときは、自動的に HDD（ハードディスク）の信頼性を確認するため、操作が行えるようになるまで多少時間がかかります。本体表示部の「WAIT」表示が消えるまでお待ちください。「WAIT」表示中は、システム準備中のため、電源を「入」にできません。



WAIT表示(本体表示部)ーシステム準備中

お知らせ

- ・コンセントから電源プラグを抜いたあと再び接続して電源を入れた場合、あるいはリセット操作（→ 64、67 ページ）を行うと以下の表示が出る場合があります。表示が消えるまでお待ちください。

リセット操作などによりディスク確認中です。
HDD確認中 >>>>>> XX%
完了まで10分以上かかる場合があります。

初期設定する（らくらくセットアップ）

接続後、初めて電源を入れたときはセットアップのための初期設定画面が表示されます。

お知らせ

- 設定したあとで初期設定をやり直したいときは、「ホーム」－「設定」－「かんたん設定」－「初期設定」を行ってください。
- 「設定リセット」と「個人情報初期化」を行った場合、自動的に電源が「切」になった後で電源を「入」にすると、初期設定画面が表示されます。

テレビの入力を HDMI ケーブルで接続した入力に切り換えても初期設定画面が出ないときは

- HDMI ケーブルが抜けかかっていませんか。

ご注意

- リモコンでお使いのテレビを操作するには、「メーカー指定」の設定を行う必要があります。（→ 32 ページ）
- リモコン操作をすると他のシャープ製 DVD レコーダーや DVD プレーヤーも動作してしまうときは、「リモコン番号」を設定してください。（→ 33 ページ）

基本操作



つぎの手順で設定しましょう

1 ケーブルの接続はお済みですか？ （アンテナ線、テレビとの接続、LAN などの接続） （→ 16 ～ 25 ページ）

- DLNA 対応テレビ、LAN 接続のスカパー！プレミアムサービスチューナーや DLNA 対応のケーブルテレビ（CATV）デジタルセットトップボックスと接続しホームネットワークを楽しむときは ⇒ LAN 接続を済ませてください。（→ 19、20 ページ）

2 レコーダー（本機）を接続したテレビの入力を確認します

- ここで確認したテレビの入力の番号（「入力 1」など）を、手順 5 で選択します。

3 レコーダー（本機）に B-CAS カードを挿入します（→ 26 ページ）

4 テレビと本機の電源を入れます

- テレビの電源はテレビのリモコンを入れます。
- 本機の電源をリモコンを入れるときは、リモコンにあるテレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダー」側に切り換えてください。

5 テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます

- テレビのリモコンで入力切換ボタンを押し、テレビの入力を切り換えます。
- 入力が正しく切り換わると、「初期設定」画面が表示されます。

6 初期設定を始めましょう

決定を押す

本機（レコーダー）へのアンテナ線の接続はお済みですか？



お済みでない場合は、一旦電源を切り、「取扱説明書」に従って正しく接続してください。

接続がお済みの場合は「決定」ボタンを押して次の画面へ進んでください。

次へ

- 接続後、初めて電源を入れたときに「初期設定」画面が表示されない場合については、31 ページの「工場出荷時の設定に戻す」を行ってください。

お知らせ

- こんな表示が出たら「B-CAS カード」を入れ直してください。正しく挿入すると、手順 7 へ進みます。

B-CASカードを正しく挿入してください。

7 クイック起動を設定します

- 本機の電源が切れた状態からすぐに起動できるようにするための設定です。

する（常時） 常に高速で起動できる状態にします。

する（時間指定） 時間を指定して高速に起動できる状態にします。

しない

- 設定内容について詳しくは「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。

8 時計表示方法を設定します

電源を切ったとき、本体前面で時計を表示しますか？

する

しない

- 設定内容について詳しくは「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。

9 BS・110度CSアンテナを接続しているかどうかを選びます

- ・「する」または「しない」を選んで決定します。

BS・110度CSデジタルアンテナを接続しますか？

する

しない

する

BS・110度CSデジタル放送用アンテナ線を接続している場合
BS・CSアンテナ電源の供給は、自動的に「オート」に設定されます。

BS受信強度が低い（60未満）場合は下記の「お知らせ」の画面になります。

しない

BS・110度CSデジタル放送用アンテナ線を接続していない場合
BS・CSアンテナ電源は「切」に設定されます。

お知らせ

- ・下記の画面が表示されたときはアンテナ線の接続を確認してください。

受信強度が60以上になるように、BSアンテナの調整を行ってください。
それでも解決しない場合は、一旦電源を切りアンテナ線の接続を再確認してください。
調整完了後あるいは、後で調整を行いたい場合は、[決定]ボタンを押してください。



次へ

- ・ **決定** を押すとテレビに合わせた設定画面に進みます。

10 タイムシフト視聴の設定をします

タイムシフト視聴機能をご使用になりますか？

する

しない

※「する」に設定した場合、ハードディスクに録画できる時間が90分ぶん短くなります。

- ・ タイムシフトの視聴設定は、「ホーム」－「設定」－「本体設定」－「タイムシフト視聴設定」で再設定できます。
- ・ 設定について詳しくは、「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。

すでに放送受信設定が完了しているファミリンク対応テレビ「アクオス」と、HDMIケーブルで接続しているときは

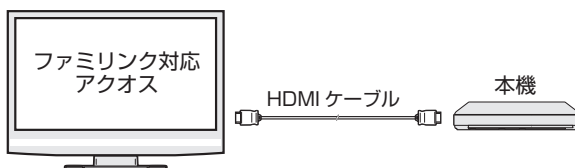
- ・ 「テレビ設定情報取得」画面に進み、チャンネル設定が自動的に始まります。（→ 30 ページ（A）の手順 14）

11 レコーダー（本機）を接続したテレビに合わせた設定を行います

- ・ ここからの設定手順は、接続したテレビによって異なります。

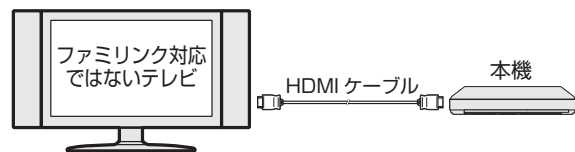
下記をご覧くださいの上、必要な設定を行ってください。

（A）ファミリンク対応の液晶テレビ「アクオス」とHDMIケーブルで接続したとき



30 ページ（A）の手順 14 へ進む

（B）ファミリンク対応ではないテレビとHDMIケーブルで接続したとき



30 ページ（B）の手順 12 へ進む

(B) ファミリンク対応ではないテレビと HDMI ケーブルで接続したとき

29 ページ手順 11 からのつづき

12 お住まいの場所の郵便番号を設定します

- 数字ボタンで郵便番号を入力します。
- 「0」は **100** で入力します。
- 入力を間違えたときは **決定** または **決定** を押し、間違えたところから再度入力します。

お住まいの地域の郵便番号に合わせて、地上デジタル放送のチャンネルを自動設定します。

お住まいの地域の郵便番号を入力してください。

1 6 2 - 8 4 0 8

地上デジタル放送地域：東京

入力決定

ヒント

- 存在しない郵便番号を入力すると、「後でチャンネル設定を行う」が表示されます。
郵便番号がわからないときに選んで決定します。
初期設定が終了したら、郵便番号をお調べになり、「ホーム」—「設定」—「放送視聴設定」でチャンネル設定を行ってください。設定について詳しくは「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。

手順 15 へ進みます。

13 「入力決定」を選び、郵便番号を決定します

(A) ファミリンク対応の液晶テレビ「アクオス」と HDMI ケーブルで接続したとき

29 ページ手順 11 からのつづき

14 チャンネル設定が自動的に始まります

- チャンネル設定は 5 分程度かかる場合があります。設定が完了するまでお待ちください。

終了
設定情報取得中に **決定** を押し中止したときは

初期設定を終了しますか？

する

しない

- **決定** を押し、「する」で **決定** を押すと終了します。

- **決定** を押し、「しない」で **決定** を押したときは下記が表示されます。

テレビの設定内容に合わせた設定ができませんでした。

- ・ファミリンクに対応したテレビ（シャープ製）と、本機が正しく HDMI ケーブルで接続されていますか？
- ・アンテナは正しく接続されていますか？

もう一度テレビから設定内容を取得しますか？

する

しない

- **決定** を押し、「する」で **決定** を押すと **左記**の手順 14、「チャンネル設定」に戻ります。

- **決定** を押し、「しない」で **決定** を押すと「郵便番号」設定画面となります。（→ **左記**）

放送局が見つかり確認画面が表示されたら「次へ」で **決定** を押します

手順 15 へ進みます。

15 ドラ丸の設定をします

- 「する」、「しない」を選んで決定します。

ドラ丸を使用しますか？

する

しない

※番組表の状態や放送番組によって録画が実行されるまで時間がかかる場合があります。
※リモコンのドラ丸ボタンでドラ丸リストを表示して確認してください。

- BD-S580 は「ドラ丸の設定」はありません。

16 ネットワーク設定をします

- BD-W580 / S580 は、LAN ケーブルをあらかじめ接続したうえで有線 LAN でネットワークに接続します。

LAN 接続しているときは「する」を選んで **決定** を押す

- BD-W580 / S580 は、手順 18「有線で接続する場合」に進みます。

「しない」を選んで決定したときは
⇒手順 22 へ

17 「有線」または「無線」を選んで決定します

18 「無線」で接続する場合

「無線」を選んだときは「簡単自動設定」または「詳細設定」を選んで決定します

- ・無線接続で「簡単自動設定」を実行すると、アクセスポイントとの接続を自動で行います。利用するアクセスポイントのWPS ボタンを5秒以上押してください。
- ・「簡単自動設定」を選択したとき、設定中に「中止」で決定すると、上記の最初の画面に戻ります。
- ・無線接続で「簡単自動設定」を選び決定すると自動で設定が始まります。設定が終了したら、手順 19 へ進みます。

「有線」で接続する場合

「有線」を選んだときは「設定する」を選んで決定します

- ・有線接続で「設定する」で決定すると自動で設定が始まります。設定が終了したら、手順 19 へ進みます。

19 設定内容を確認し、「テスト実行」を選んで決定します

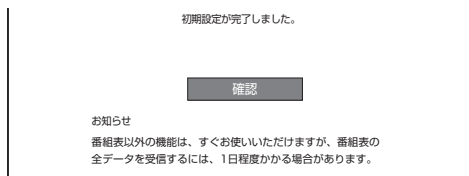
- ・「完了」を選ぶと設定は保存されますが、テストは行われません。
- ・LAN 設定の内容を確認（再設定）するときにはネットワーク設定（かんたん設定）を行い再設定します。設定について詳しくは「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。

20 ホームネットワークを設定します「する」または「しない」を選んで決定します

ホームネットワーク機能については、「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。

21 「確認」で を押します

22 初期設定を終了します



「確認」で を押します

⇒ テレビ放送画面になります。

- ・テレビ放送がすべて映るか確認します。（→ 44 ページ）

工場出荷時の設定に戻す

システムに保存している情報を初期状態（工場出荷時の状態）に戻す場合は、次のように行ってください。

1 ホーム画面を表示させます

 を押す

2 ① 「設定」を選んで決定します

② 「初期化・更新」－「設定リセット」を選んで決定します

- ・ホームメニューの操作について詳しくは 59 ページをご覧ください。

3 「リセットする」を選んで決定します

- ・自動的に電源が切れます。

4 本機の電源を入れます

- ・初期設定画面が表示されます。

5 初期設定をやり直します

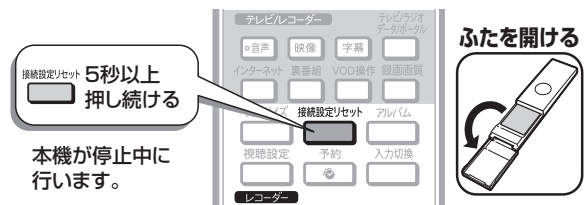
▶ 28 ページ 手順 6

お知らせ

- ・設定リセットを実行すると予約内容や番組表データは消去されます。（HDD 内の番組は消去されません。）
- ・暗証番号はリセットされません。
- ・本体のリモコン番号は「1」に戻ります。リモコンで操作ができなくなったときは、リモコンの数字ボタン「1」を押しながら  を6秒以上押し、「リモコン番号 1」に設定し直してください。詳しくは 33 ページをご確認ください。

接続設定をリセットする

「映像出力設定」をリセットします。



- ・「映像出力設定」が「オート」に戻ります。

本機のリモコンでテレビを操作する

本機のリモコンでお使いのテレビを操作することができますようになります。(テレビメーカー指定)

重要

シャープ製テレビをお使いのときは

- ・本機のリモコンは、工場出荷時「シャープ C1」に設定されています。そのまま操作できるかご確認ください。
- ・操作できないときは「シャープ C2」→「シャープ A」の順番で設定し、テレビが操作できるか確認します。

1 メーカー指定ボタンを押したまま、電源を6秒以上押します

例：シャープ C2 に変更する場合：2^かABC + 電源

- ・この設定はテレビ／レコーダー切換スイッチがどちら側でも設定できます。

対応メーカーと指定ボタン一覧表

メーカー	指定ボタン
シャープ C1 *	1 ^あ / + 電源
シャープ C2	2 ^か ABC + 電源
シャープ A	3 ^き DEF + 電源
パナソニック 1	4 ^た GHI + 電源
パナソニック 2	5 ^な JKL + 電源
日本ビクター	6 ^は MNO + 電源
ソニー	7 ^ま PQRS + 電源
三菱	8 ^や TUV + 電源
日立	9 ^ら WXYZ + 電源
東芝	10 ^の 1 + 電源
パイオニア	11 ^わ ん + 電源
三洋 1	12 ^全 / 半 + 電源
三洋 2	地上 + 電源
フナイ	BS + 電源
アイワ	CS + 電源
LG	3桁入力 消去 + 電源

※工場出荷時

- ・同じメーカーで指定番号が2つ以上あるものは、順番に試して、手順3でテレビの操作ができるものを選んで設定してください。

2 テレビ／レコーダー切換スイッチをテレビ側にします

テレビ側に
カチッと
スライドさせる



3 リモコンをテレビに向けてテレビが操作できるか確認します

- 電源 ... テレビの電源を 入／切する
- テレビ 入力切換 ... テレビの入力を 切り換える
- 選局 ... テレビのチャンネルを選局する
- 音量 ... テレビの音量を 調整する

お知らせ

- ・「シャープ C1」または「シャープ C2」（デジタルチューナーを内蔵したシャープ製のテレビ「アクオス」に対応）の場合は、リモコンのテレビ操作ボタンのすべてが操作できます。
- ・手順1で設定した他メーカーのテレビでは、「電源」、「音量」、「選局」、「入力切換（LGは不可）」のみが操作できます。
- ・「シャープ A」に設定したときは、上記のボタンに加え「消音」の操作が行えます。
- ・「パナソニック 1」、「ソニー」、「東芝」、「日立」、「三菱」、「LG」の6社に設定したときは、上記のボタンに加え「地上D」、「BS」、「CS」、「消音」、「数字ボタン」、「番組表」、「決定」、「カーソル」、「戻る」の操作が行えます。
- ・対応メーカーと指定ボタンや設定方法は、「ホーム」→「設定」→「かんたん設定」の「リモコンのテレビ操作設定」でも確認できます。

ご注意

- ・テレビの種類や機種によっては、リモコンで操作できないものや、特定のボタンが操作できないものがあります。
- ・本機のリモコンのテレビ操作は、メモリーできるマルチタイプのリモコンに転送できない場合があります。メモリーする場合は、テレビのリモコンで転送してください。
- ・リモコンに電池がない状態が続いたときや電池を交換したときは、メーカーの設定は「シャープ C1」に戻ります。メーカー指定をやり直してください。

リモコンで操作すると他の機器まで動作してしまうとき（リモコン番号変更）

リモコンで本機を操作する信号には、リモコン番号 1、2、3 の 3 種類があります。シャープ製 BD・DVD 機器（工場出荷時：リモコン番号 1）をお持ちで、リモコンを使うとシャープ製 BD・DVD 機器と本機が同時に動作してしまう場合は、別のリモコン番号に設定することで、本機のみ動作させるようにできます

- ・リモコン番号は、本体側とリモコン側で同じ番号に設定します。
- ・本体側のリモコン番号を設定した後で、リモコン側のリモコン番号を設定します。

お知らせ

- ・リモコンで本機を操作しようとしてできない、あるいは他機が動作してしまう場合は、リモコン番号を変更してください。
- ・リモコンに電池がない状態が続いたときや電池を交換したときは、リモコン側のリモコン番号が「1」に戻ります。

例) リモコン番号を「3」に変更する場合

はじめに本機側の設定をします

1 テレビ／レコーダー切換スイッチをレコーダー側にします

レコーダー側に
カチッと
スライドさせる



2 ホーム画面を表示させます

ホーム を押す

3 ①「**設定**」を選んで決定します ②「**本体設定**」－「**リモコン番号設定**」を選んで決定します

- ・ホームメニューの操作について詳しくは **59** ページをご覧ください。
- ・**戻る** を押すと前の画面に戻ります。

4 「リモコン番号 3」－「はい」を選んで決定します

つづけてリモコン側の設定をします

5 リモコンのリモコン番号を設定します

3 を押したまま **決定** を 6 秒以上押す

続いて、リモコン側の番号を「3」に設定します。
完了画面が表示されるまで、以下の手順にしたがって操作を行ってください。

1. リモコンを本体に向けてください。
2. リモコンの **3** を先に押したまま、同時に **決定** ボタンを押し続けてください。（約6秒）

※リモコン側の番号が「3」に切りかわりました。
リモコンの **終了** ボタンを押して、設定画面が消えたら完了です。

終了 を押してください。

- ・「リモコン番号 1」を選んだときは **1** を、「リモコン番号 2」を選んだときは **2** を押します。

6 設定を終了します

終了 を押す

ご注意

- ・設定中に予約録画開始時刻になったり、電源を切ったりすると、正常に設定が完了しません。

お知らせ

- ・「設定リセット」（→ **31** ページ）または「個人情報初期化」を行うと、本体側のリモコン番号が「本体リモコン番号：1」に戻ります。

本体表示部に表示が出て、 リモコンが操作できないときは

- ・リモコンで操作したとき本体表示部に「RC:1」、「RC:2」、「RC:3」が点滅する場合は、本体側とリモコン側でリモコン番号が違ってきます。
- ・本体表示部に「RC:ー」が表示されたときは、「テレビ／レコーダー切換スイッチ」が「テレビを使う」側になっています。「レコーダーを使う」側に切り換えてください。

■リモコンのリモコン番号を変更するには
本体表示部に表示されている数字と同じ数字ボタンを押しながら、決定ボタンを 6 秒以上押し続けます。

例：本体表示部に「RC:1」が表示されているとき

1 を押したまま **決定** を 6 秒以上押す

■リモコン番号表示が点滅しないのに操作できない場合は、以下のことを確認してください。

- ・乾電池が正しくセットされていますか？
- ・乾電池が古く寿命がきていませんか？
新しい乾電池と交換してください。
- ・本体のリモコン受光部前に障害物はありませんか？
- ・他の機種のリモコンを使っていませんか？

各部のなまえとおもな機能

※ 本書内のイラストは、説明用のもので、実際のものとは多少異なります。

本体前面

T3800 T2800 T1800 W2800 W1800 W580

HDDランプ (→ 42、47、48 ページ)

- ・ 内蔵 HDD モードに切替時▶白点灯
- ・ 内蔵 HDD 再生中▶青点灯
- ・ 内蔵 HDD ヘ録画中▶赤点灯
- ・ 内蔵 HDD ヘダビング中▶赤点灯

+HDD ランプ (→ 42、47、48 ページ)

- ・ SHDD^{*}/外付け HDD モードに切替時▶白点灯
- ・ SHDD^{*}/外付け HDD 再生中▶青点灯
- ・ SHDD^{*}/外付け HDD ヘ録画中▶赤点灯
- ・ SHDD^{*}/外付け HDD ヘダビング中▶赤点灯

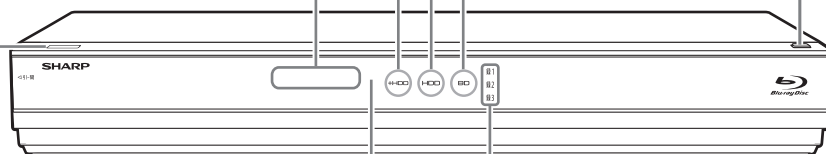
※対象機種：BD-T3800

電源ボタン(→ 43ページ)

- ・ 電源ボタンを 5 秒以上押しつづけるとエコモードが「入」になります。

本体表示部 (→ 37ページ)

トレイ開/閉ボタン (→ 49 ページ)



リモコン受光部 (→ 15 ページ)

BD/DVD ランプ (→ 42、48 ページ)

- ・ BD/DVD モードに切替時▶白点灯
- ・ BD/DVD ディスク再生中▶青点灯
- ・ BD ディスクヘ録画中▶赤点灯
- ・ BD/DVD ディスクヘダビング中▶赤点灯

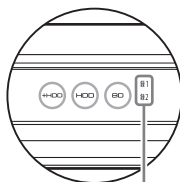
T3800 T2800 T1800

録画 1 ランプ(赤) (→ 47、48ページ)

録画 2 ランプ(赤) (→ 47、48ページ)

録画 3 ランプ(赤) (→ 47、48ページ)

- ・ それぞれ録画中に点灯します。



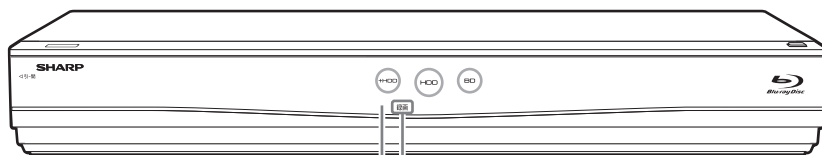
W2800 W1800 W580

録画 1 ランプ(赤) (→ 47、48ページ)

録画 2 ランプ(赤) (→ 47、48ページ)

- ・ それぞれ録画中に点灯します。

S580



リモコン受光部 (→ 15 ページ)

S580

録画ランプ(赤) (→ 47、48ページ)

- ・ 録画中に点灯します。

本体前面（扉内）

T3800

SHDD（スロットインハードディスク）取出しランプ

SHDD（スロットインハードディスク）
専用ロックツマミ

SHDD（スロットインハードディスク）
スロット

※本機に挿入できる SHDD（スロットインハードディスク）は、AQUOS ブルーレイ専用のハードディスク（別売品）です。

扉の開けた
扉端に指をかけて、
手前に引いて開けます。

B-CAS（ビーキャスト）カード（付属品）
（→ 26、42 ページ）

B-CAS（ビーキャスト）カードスロット
（→ 26、42 ページ）

SHDD（スロットインハードディスク）取出しボタン

データ送受信端子

- ・デジタルスチルカメラや AVCHD 方式のデジタルビデオカメラなどと USB ケーブルで接続します。
- ・シャープホームページ内のサポートステーションから更新用ソフトウェアをパソコンにダウンロードし、USB メモリーに書き込んでソフトウェアの更新を行うことができます。

ディスプレイ
（→ 49 ページ）

リセットボタン（→ 64、67 ページ）

- ・操作を受け付けなくなったときは、先の細いもので押します。システムがリセットされます。
- ・シャープペンシルや鉛筆等の先端が折れ易いものを使用すると、折れた異物が中に入り故障の原因となりますので、使用しないでください。

T2800 T1800 W2800 W1800 W580 S580

※イラストは BD-W2800 を例に説明しています。

データ送受信端子

- ・デジタルスチルカメラや AVCHD 方式のデジタルビデオカメラなどと USB ケーブルで接続します。
- ・シャープホームページ内のサポートステーションから更新用ソフトウェアをパソコンにダウンロードし、USB メモリーに書き込んでソフトウェアの更新を行うことができます。

ディスプレイ
（→ 49 ページ）

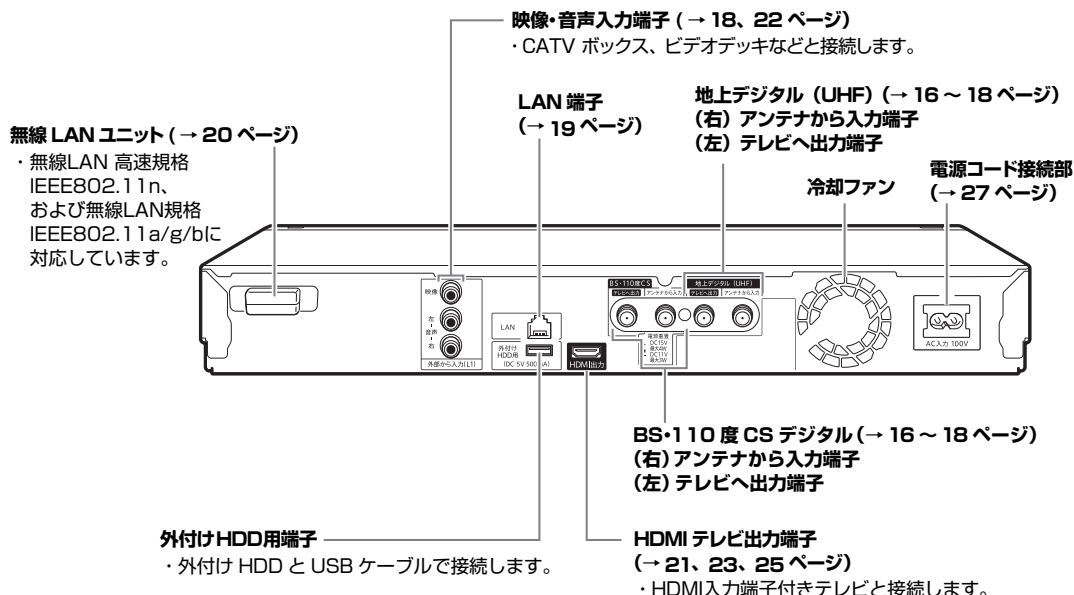
リセットボタン（→ 64、67 ページ）

- ・操作を受け付けなくなったときは、先の細いもので押します。システムがリセットされます。
- ・シャープペンシルや鉛筆等の先端が折れ易いものを使用すると、折れた異物が中に入り故障の原因となりますので、使用しないでください。

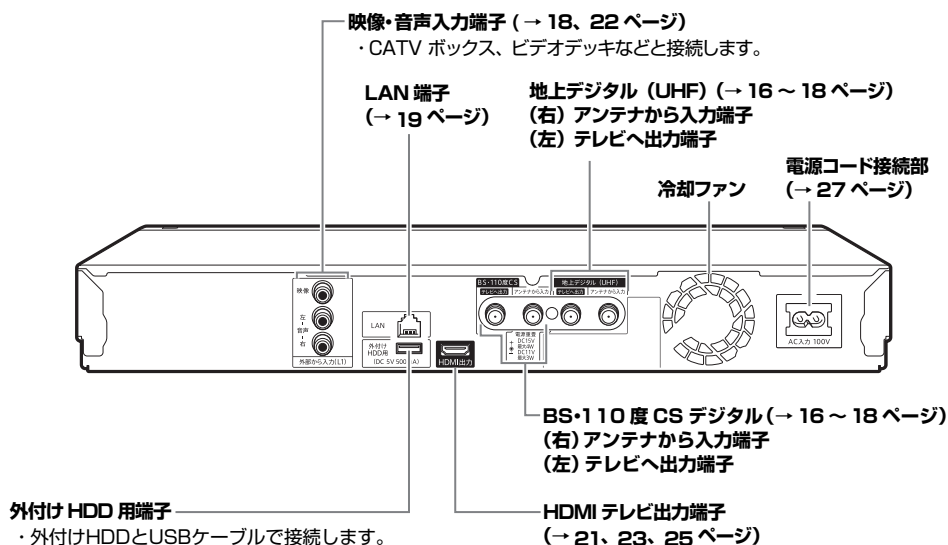
本体後面

・接続について詳しくは ▶ 16 ～ 25 ページ

T3800 T2800 T1800 W2800 W1800



W580 S580



本体表示部の動作表示例

選局時（停止時）

地上デジタル放送選局中

1:052

例：地上デジタル放送 52 チャンネル選局時

BS デジタル放送選局中

B: 103

110 度 CS デジタル放送選局中

C:320

外部入力選択中（L1）

L: 1

ディスクの検出について

ディスクの検出

D 15C

- 機器の電源を入れてディスクが検出されたときに一定時間表示されます。

ディスクが検出されない

"D 15C"

- ディスクへの予約録画が設定してある状態で、ディスクが検出されないまま電源を切ったときに点滅します。
- ディスクへの予約録画開始までの5分間に電源を入れると予約開始時刻まで点滅します。

再生時

カウンター表示

0 1:23:45

チャプター表示

C00 12

CD 再生時トラック表示

T 03

エコモード「入」時

ECO

時計表示について

時計表示

AM 8:27

- 時計が設定されていないときは「-:-:-:-」表示となります。

LAN 接続中

「LAN」表示

LAN

- インターネットやホームネットワーク接続中などに表示されます。

「LAN:RE」表示

LAN:RE

- ネットワーク機器から録画中やダウンロード中に表示されます。

メニュー画面の操作時

「MENU」表示

MENU

- 画面操作を行うホーム画面、番組表、録画リスト、視聴設定画面などを表示しているときに表示されます。

放送局との通信中

「DATA」表示

DATA

番組表のデータ取得中

電子番組表データ取得中、G ガイド情報取得中に表示

PGUIDE

- 初期設定で時計表示を「する」に設定したとき、「時計表示／本体ランプ設定」－「時計表示設定」を「する」に設定しているときは時計表示を約 1 分間表示したあと「PGUIDE」表示に切り換わります。

ソフトウェア更新（ダウンロード）中

「DL」表示

DL

- ソフトウェアの更新データや放送局の周波数変更などのデータを取得中に表示されます。

準備中（コンセント差込後）

WAIT

- システムの準備中です。

エラー表示について

ERR

- エラー表示については 71 ページをご覧ください。

リモコン T3800 T2800 T1800 W2800 W1800 W580

本機のリモコンは、本機とテレビメーカー 12 社のテレビを操作することができます。
テレビを操作するときは、「テレビメーカー指定」(→ 32 ページ) を行ってください。

テレビを操作をする

「テレビを使う」側にする
←

テレビ／レコーダー切換スイッチ

・テレビ入力自動切換機能

工場出荷時は「働かない」に設定されています。詳しくは「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。

レコーダーを操作をする

「レコーダーを使う」側にする
→

☆ テレビの電源(→32ページ)

- ※1 チャンネル・数字
- ※2 ・チャンネルの選局

- ※1 地上/BS/CS
- ※2 3桁入力
- ※1 ・デジタル放送の3桁のチャンネルの選局

- ※1 データ連動
- ※1 ・連動データ放送の呼び出し

☆ 選局

- ※1 画面表示

- ※1 番組表
- ※2

テレビ／レコーダー切換スイッチがどちらの場合でもテレビを操作できます。

- ※1 消音

- ※2
- ※3

☆ 音量

☆ テレビ入力切換(→32ページ)

- ※1 決定 カーソル 戻る
- ※2 ・メニューなどの設定画面での操作
- ※1 終了
- ※1 ・メニューなどの設定画面での操作
- ※1 青 赤 緑 黄(カラーボタン)
- ※1 ・機能はメニューやデータ放送の画面に表示

- ※1 ホーム
- ※1 ・テレビのホーム画面の表示

- ※1 番組情報
- ※1 ・番組情報を表示

ファミリンク対応テレビ専用ボタン

- ※1 録画

テレビ／レコーダー切換スイッチがどちらの場合でもレコーダーを操作できます。

- ドラ丸(→50ページ)
- ・「ドラ丸リスト」を表示

- QRコード／番組情報
- ・番組情報を表示

- まるわかり
- ・「番組内容まるわかり」画面を表示

- 2画面
- 録画(→47、48ページ)
- チャプターマーク
- 検索
- ・検索画面を表示

電源(→42、49ページ)

テレビ／レコーダー切換スイッチがどちらの場合でもレコーダーを操作できます。

トレイ開/閉(→49ページ)

- ・ディスクトレイを開/閉します。

チャンネル・数字(→30、32、44ページ)

- ・チャンネルの選局、数字の入力や文字入力

地上/BS/CS(→44、47～48ページ)

3桁入力(→44ページ)

- ・デジタル放送の3桁のチャンネルの選局

消去(→56ページ)

- ・録画したタイトルなどを消去

データ連動

- ・連動データ放送の呼び出し
- 選局(→44、47ページ)

画面表示

- ・ディスク情報や残量などの確認
- 番組表(→45、46、48ページ)

録画リスト

(→50ページ)

- ・録画済みの番組の一覧表示

トップメニュー(→53ページ)

- ・BDやDVDのトップメニュー画面の表示

決定 カーソル 終了 戻る(→46、59ページ)

- ・ホームメニューなどの設定画面での操作
- 青 赤 緑 黄(カラーボタン)

- ※1 (→45ページ)
- ・機能はメニューやデータ放送の画面に表示

- ※4 テレビ／レコーダー切換スイッチがどちらの場合でもレコーダーを操作できます。

かんたんメニュー／(ポップアップ)メニュー(→53、62ページ)

- ・見どころ一覧、BDのポップアップメニュー、DVDのメニューの表示
- HDD/BD(→47、50ページ)
- ・HDD(ハードディスク)またはBD/DVDの操作モードの切り換え

- ※4 ホーム(→59ページ)

- ・ホーム画面の表示

テレビ／レコーダー切換スイッチがどちらの場合でもレコーダーを操作できます。

再生操作に使うボタン(→54～55ページ)

- ※4 録画停止／停止(→51ページ)

☆ テレビメーカー 12 社のテレビを操作できるボタンです。

- ※ 1 シャープ製デジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」(テレビメーカー指定「シャープ C1 / シャープ C2」) で操作できるボタンです。
- ※ 2 テレビメーカー指定をパナソニック 1、東芝、ソニー、日立、三菱、LG に設定したときに操作できるボタンです。
- ※ 3 テレビメーカー指定をシャープ A に設定したときに操作できるボタンです。
- ※ 4 暗いところでも見やすい蓄光ラバーを採用しています。(蓄光ラバーの発光の強さは、時間の経過とともに低減します。)
- ※ 5 ポータル画面は光テレビで切り換えられる画面です。本機では、ポータル画面は切り換えられません。

テレビを操作をする

「テレビを使う」側にする

テレビ/レコーダー切換スイッチ

レコーダーを操作をする

「レコーダーを使う」側にする

テレビ/レコーダー切換スイッチがどちらの場合でもテレビを操作できます。

- ※ 1 **画面サイズ**
 - ・画面サイズの切り換え
 - ※ 1 **AVポジション**
 - ・AVポジションの切り換え
 - ※ 1 **テレビメニュー**
 - ・テレビのメニュー画面を表示
 - ※ 1 **3D**
 - ・3D対応の「アクオス」で視聴中、2Dと3D切り換え
 - ※ 1 **ツール**
 - ・テレビのツール画面を表示
 - ※ 1 **オフタイマー**
 - ・テレビのオフタイマー設定画面を表示
- ファミリンク対応テレビ専用ボタン
- ※ 1 **ファミリンク機能選択**
 - ・ファミリンク機能選択メニューの表示

- ※ 1 **音声**
- ※ 1 **映像**
- ※ 1 **字幕**
- ※ 1 **テレビ/ラジオ/データ/ポータル**
 - ・デジタル放送の切り換えと、光テレビのポータル画面の表示
- ※ 1 **インターネット**
 - ・インターネットの表示
- ※ 1 **裏番組**
 - ・裏番組一覧の表示
- ※ 1 **VOD操作**
 - ・VOD(ビデオ オン デマンド)操作パネルの表示
- ※ 1 **録画画質**
 - ・(録画画質を設定できるシャープ製テレビ「アクオス」の場合) 録画画質の設定

音声

- ・主音声や副音声など音声を切り換え

映像

- ・主映像や副映像を切り換え

字幕

- ・字幕の表示/非表示を切り換え

※ 5

テレビ/ラジオ/データ/ポータル(→44ページ)

インターネット

- ・アクティバ、TSUTAYA TVを表示

裏番組

- ・裏番組一覧の表示

VOD操作

- ・VOD(ビデオ オン デマンド)操作パネルの表示(インターネットの動画再生中)

録画画質(→47ページ)

- ・録画画質を変更・設定

テレビ/レコーダー切換スイッチがどちらの場合でもレコーダーを操作できます。

文字サイズ(→45、50ページ)

- ・電子番組表、録画リスト、予約リストなどの文字サイズ変更

接続設定リセット

- ・映像出力設定を「オート」に戻す(→31ページ)

アルバム

- ・アルバム選択画面を表示

視聴設定

- ・タイトル(トラック)、チャプターを頭出ししたり、タイムサーチ、リピート再生などを設定

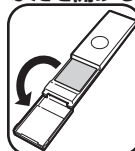
予約

- ・予約メニューの表示

入力切換(→44、47ページ)

- ・外部入力への切り換え

ふたを開ける



リモコン S580

本機のリモコンは、本機とテレビメーカー 12 社のテレビを操作することができます。
テレビを操作するときは、「テレビメーカー指定」(→ 32 ページ) を行ってください。

テレビを操作をする

テレビ/レコーダーを使う
「テレビを使う」側
にする

テレビ/レコーダー切換スイッチ

・テレビ入力自動切換機能

工場出荷時は「働かない」に設定されています。詳しくは「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。

レコーダーを操作をする

テレビ/レコーダーを使う
「レコーダーを使う」側
にする

☆ テレビの電源(→32ページ)

- ※1 チャンネル・数字
- ※2 ・チャンネルの選局

- ※1 地上/BS/CS
- ※2 3桁入力
- ※1 ・デジタル放送の3桁のチャンネルの選局

- ※1 データ連動
- ・連動データ放送の呼び出し

☆ 選局

- ※1 番組情報

- ※1 番組表

- ※2
- テレビ/レコーダー切換スイッチがどちらの場合でもテレビを操作できます。

- ※1 消音

- ※2

- ※3

☆ 音量

☆ テレビ入力切換(→32ページ)

- ※1 決定 カーソル 戻る
- ※2 ・メニューなどの設定画面での操作

- ※1 終了
- ・メニューなどの設定画面での操作

- ※1 青 赤 緑 黄(カラーボタン)
- ・機能はメニューやデータ放送の画面に表示

- ※1 ホーム
- ・テレビのホーム画面の表示

- ※1 画面表示
- ・画面表示の入/切

ファミリンク対応テレビ専用ボタン

- ※1 録画

テレビ/レコーダー切換スイッチがどちらの場合でもレコーダーを操作できます。

かんたんメニュー(→62ページ)

・かんたんメニュー画面の表示

画面表示

・ディスク情報や残量などの確認

早見再生

・1.5倍速で再生

2画面

録画(→47、48ページ)

チャプターマーク

検索

・検索画面を表示

電源(→42、49ページ)

テレビ/レコーダー切換スイッチがどちらの場合でもレコーダーを操作できます。

トレイ開/閉(→49ページ)

・ディスクトレイを開/閉します。

チャンネル・数字(→30、32、44ページ)

・チャンネルの選局、数字の入力や文字入力

地上/BS/CS

(→44、47~48ページ)

3桁入力(→44ページ)

・デジタル放送の3桁のチャンネルの選局

消去(→56ページ)

・録画したタイトルなどを消去

データ連動

・連動データ放送の呼び出し

選局(→44、47ページ)

番組情報

番組表(→45、46、48ページ)

録画リスト

(→50ページ)

・録画済みの番組の一覧表示

トップメニュー(→53ページ)

・BDやDVDのトップメニュー画面の表示

決定 カーソル 終了 戻る

(→46、59ページ)

・ホームメニューなどの設定画面での操作

青 赤 緑 黄(カラーボタン)

(→45ページ)

・機能はメニューやデータ放送の画面に表示

テレビ/レコーダー切換スイッチがどちらの場合でもレコーダーを操作できます。

(ポップアップ)メニュー

(→53、62ページ)

・見どころ一覧、BDのポップアップメニュー、DVDのメニューの表示

HDD/BD(→47、50ページ)

・HDD(ハードディスク)またはBD/DVDの操作モードの切り換え

※4 ホーム(→59ページ)

・ホーム画面の表示

テレビ/レコーダー切換スイッチがどちらの場合でもレコーダーを操作できます。

再生操作に使うボタン(→54~55ページ)

※4 録画停止/停止(→51ページ)

☆ テレビメーカー 12 社のテレビを操作できるボタンです。

- ※ 1 シャープ製デジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」(テレビメーカー指定「シャープ C1 / シャープ C2」) で操作できるボタンです。
- ※ 2 テレビメーカー指定をパナソニック 1、東芝、ソニー、日立、三菱、LG に設定したときに操作できるボタンです。
- ※ 3 テレビメーカー指定をシャープ A に設定したときに操作できるボタンです。
- ※ 4 暗いところでも見やすい蓄光ラバーを採用しています。(蓄光ラバーの発光の強さは、時間の経過とともに低減します。)
- ※ 5 ポータル画面は光テレビで切り換えられる画面です。本機では、ポータル画面は切り換えられません。

テレビを操作をする

「テレビを使う」側にする

テレビ/レコーダー切換スイッチ

レコーダーを操作をする

「レコーダーを使う」側にする

テレビ/レコーダー切換スイッチがどちらの場合でもテレビを操作できます。

- ※ 1 **画面サイズ**
 - ・画面サイズの切り換え
 - ※ 1 **AVポジション**
 - ・AVポジションの切り換え
 - ※ 1 **テレビメニュー**
 - ・テレビのメニュー画面を表示
 - ※ 1 **3D**
 - ・3D対応の「アクオス」で視聴中、2Dと3D切り換え
 - ※ 1 **ツール**
 - ・テレビのツール画面を表示
 - ※ 1 **オフタイマー**
 - ・テレビのオフタイマー設定画面を表示
- ファミリンク対応テレビ専用ボタン
- ※ 1 **ファミリンク機能選択**
 - ・ファミリンク機能選択メニューの表示

- ※ 1 **音声**
- ※ 1 **映像**
- ※ 1 **字幕**
- ※ 1 **テレビ/ラジオ/データ/ポータル**
 - ・デジタル放送の切り換えと、光テレビのポータル画面の表示
- ※ 1 **インターネット**
 - ・インターネットの表示
- ※ 1 **裏番組**
 - ・裏番組一覧の表示
- ※ 1 **VOD操作**
 - ・VOD(ビデオ オン デマンド)操作パネルの表示
- ※ 1 **録画画質**
 - ・(録画画質を設定できるシャープ製テレビ「アクオス」の場合) 録画画質の設定

音声

- ・主音声や副音声など音声を切り換え

映像

- ・主映像や副映像を切り換え

字幕

- ※ 5 ・字幕の表示/非表示を切り換え

テレビ/ラジオ/データ/ポータル (→44ページ)

インターネット

- ・アクトビラ、TSUTAYA TVを表示

裏番組

- ・裏番組一覧の表示

VOD操作

- ・VOD(ビデオ オン デマンド)操作パネルの表示(インターネットの動画再生中)

録画画質 (→47ページ)

- ・録画画質を変更・設定

テレビ/レコーダー切換スイッチがどちらの場合でもレコーダーを操作できます。

文字サイズ (→45、50ページ)

- ・電子番組表、録画リスト、予約リストなどの文字サイズ変更

接続設定リセット

- ・映像出力設定を「オート」に戻す (→31ページ)

アルバム

- ・アルバム選択画面を表示

視聴設定

- ・タイトル(トラック)、チャプターを頭出ししたり、タイムサーチ、リピート再生などを設定

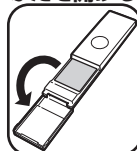
予約

- ・予約メニューの表示

入力切換 (→44、47ページ)

- ・外部入力への切り換え

ふたを開ける



テレビと本機の準備をする

テレビで本機を楽しむための準備をします。

準備 B-CAS（ビーキャス）カードを差し込みます（→ 26 ページ）

1 テレビのリモコンでテレビの電源を入れます

- テレビの主電源が切れているときは、主電源を入れてください。

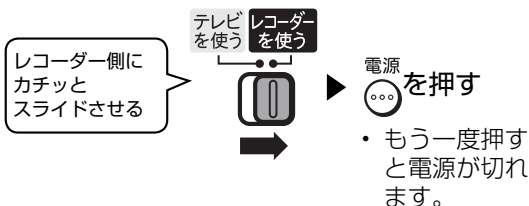
■本機のリモコンでテレビを操作するときは

- 本機のリモコンはテレビメーカー 12 社のテレビが操作できます。
- 工場出荷時はシャープ製デジタルチューナー内蔵の液晶テレビ「アクオス」が操作できます。それ以外のテレビを本機のリモコンで操作したいときは、あらかじめ「テレビメーカー指定」（→ 32 ページ）を行ってください。

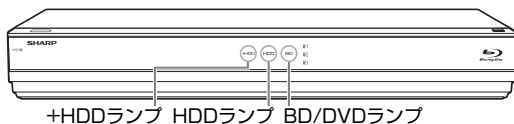
で注意

- リモコン操作をすると他のシャープ製 BD・DVD 機器も動作してしまうときは、「リモコン番号」を設定してください。（→ 33 ページ）

2 本機の電源を入れます



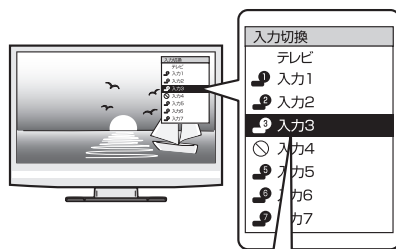
電源が入ると…



- 電源を入れると、本体の +HDD ランプ、HDD ランプ、BD/DVD ランプが点滅します。点滅中は操作のための準備を行っていますので、点滅が終了するまで 1 分～2 分お待ちください。（ディスクが挿入されているときには、さらに時間がかかる場合があります。）

3 テレビのリモコンで、テレビの入力を本機を接続した入力（「入力 3」など）に切り換えます

例：本機をテレビの外部入力 3 に接続したとき



- シャープ製のファミリンク対応テレビと HDMI ケーブルで接続したときは、本機の製品名が表示されます。製品名*が表示されている外部入力を選びます。

* BD-W1800W は BD-W1800 と表示されます。表示される内容はテレビによって異なります。

⇒ 本機の映像がテレビに映れば準備完了です。

- 接続後、初めて電源を入れたときは「初期設定」画面になります。
- 初期設定を行ってください。（→ 28 ページ）

本機の映像が映っているか確認したいときは

リモコンの **録画リスト** を押します（→ 50 ページ）

トップメニュー

⇒ 録画リストが表示されます。

録画リスト

番組 1	番組 2	番組 3	番組 4	番組 5	番組 6
番組 7	番組 8	番組 9	番組 10	番組 11	番組 12

終了を押すと録画リストが消えます。

●録画リストが表示されないときは

- 手順 3 を繰り返し操作し、録画リストが表示される入力を選びます。

●手順 3 を繰り返し操作しても、録画リストが表示されないときは

- 本機の電源が入っているか確認します。
- HDMI ケーブルが確実に接続されているか（抜かかかっているか）確認します。巻末の「接続ガイド」をご覧ください。

お知らせ

- 初めて電源を入れたときは、録画リストにタイトルは表示されません。

本体ボタンで本機の電源を入／切するとき



■ 本体の電源ボタンを押して電源を入れる

- 電源を入れると、本体表示部が点灯します。
- 電源を入れると、本体の +HDD ランプ、HDD ランプ、BD/DVD ランプが点滅します。点滅中は操作のための準備を行っていますので、点滅が終了し、点灯するまでお待ちください。

■ 本体の電源ボタンを押して電源を切る

- 電源を切ると、本体表示部、+HDD ランプ、HDD ランプ、BD/DVD ランプが消灯します。
- 電源を切った直後は、「W R I T」と表示され、再度電源ボタンを押しても電源が入らない場合があります。そのようなときは少し待ってから再度電源を入れてください。

お知らせ

- 電源を切ったときに電子番組表データが取得できていないときは、電子番組表データを取得するため本体表示部に「P G U I E」と表示され、本体内部の電源が入った状態となります。電子番組表を取得後は、電源が自動で切れます。
- シャープ製ファミリンク対応テレビと HDMI ケーブルで接続しているとき、「ホーム」→「設定」→「本体設定」の「ファミリンク設定」が「する」に設定されていると、テレビの電源を切ると自動的に本機の電源も切れます。
- 録画中、ダビング中に電源を切った場合でも録画、ダビングは継続されます。(録画またはダビング終了後に自動で電源が切れます。)

エコモードを動作させる

電源「切」のときに、待機電力を抑えるエコモードに設定する方法です。就寝時など本機を長時間使用しないときに、テレビの主電源を切るような感覚でお使いいただくことをおすすめします。

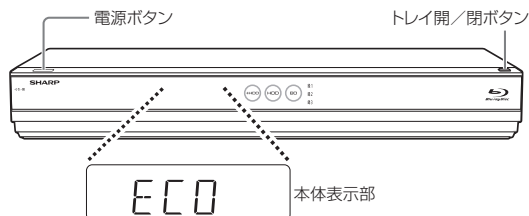
お知らせ

- テレビで放送を視聴中にエコモードを入／切すると、テレビ画面に一瞬ノイズが入りますが、エコモードを切り換えているため故障ではありません。
- エコモード中は待機時の消費電力を抑えることができますが、ファミリンクによる本機の操作ができなくなりますのでご注意ください。クイック起動(→ 28 ページ)も動きません。
- エコモード中は、電源ボタン、トレイ開／閉ボタン以外のボタンは働きません。
- エコモード中は、テレビの電子番組表で予約したファミリンク予約は動きません。エコモード「入」状態での予約録画は本機で行ってください。

- 本機を経由してテレビへアンテナ接続をしている場合、エコモード中はテレビの映りが悪くなることがあります。この場合、アンテナ分配器を使って本機とテレビの両方にアンテナを接続することをおすすめします。
- エコモード中でも、以下の機能は働きます。
 - デジタル放送のダウンロード
 - 電子番組表のデータ取得
- エコモードになった直後など、電源ボタンを押しても本機の電源が入らない場合があります。このような場合は、しばらく待ってから、電源ボタンを押して電源を入れてください。

エコモードを「入」にする

本体の電源ボタンを 5 秒以上押しつづけます



⇒エコモードについてのメッセージが約 20 秒間テレビ画面に表示された後、本機の電源が切れてエコモードになります。

ヒント

- 本機での予約録画やダビング中にエコモードを「入」にしたときは、その動作終了後にエコモードが「入」となります。
- ファミリンクによるワンタッチ録画中にエコモードを「入」にしたときは、録画を停止するとエコモードが「入」となります。
- エコモードにすると、本体の表示・ランプが消えます。

エコモードを「切」にする

本体またはリモコンの電源ボタンを押します

- トレイ開／閉ボタンを押したときは電源が入り、トレイが開きます。(エコモードは「切」となります。)

通知センターからの案内について

本機では、以下に関する情報を通知センターでお知らせします。

- HDD の残量不足警告
- 放送局から送られてくるメッセージや情報
- ソフトウェアのアップデート通知
- BD ドライブのお手入れ案内通知

⇒通知センターについて詳しくは、「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。

チャンネルを選ぶ

本機のチューナーでテレビ番組を選びます。

重要

- WOWOW や、スターチャンネルは有料放送、110度CS デジタル放送は有料放送サービスです。
BS デジタル放送でも WOWOW やスターチャンネル以外の有料放送があります。
110度CS デジタル放送で運用されているスカパー！は「有料放送サービス」です。事業者との受信契約が必要です。
- 放送局との契約については、**26** ページをご覧ください。
- CS 放送を選局したとき、テレビ画面が暗く放送が映らない場合があります。「現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。」のメッセージが表示される場合もあります。この場合は手順**3**で  を押し、放送のあるチャンネルを選局してください。

ご注意

- 放送番組によっては、上下または上下左右に黒い帯が付いて見える場合があります。(放送局の送信方式によるもので、本機の故障ではありません。)

T3800 T2800 T1800

- 3 番組録画中は、録画中の番組のみの選局操作となります。

W2800 W1800 W580

- 2 番組録画中は、録画中の番組のみの選局操作となります。

S580

- 録画中は、選局の操作ができません。

お知らせ

- 「ホーム」→「設定」→「録画・再生設定」→「BD/DVD 再生設定」→「視聴制限レベル」で視聴年齢制限を設定しているとき、設定した年齢制限に該当する番組を選局したときは、年齢制限を解除するためのパスワード入力画面が表示されます。パスワードは本機に設定されているパスワードです。

1 放送を選びます

   を選ぶ

2 データ放送を選ぶ場合

テレビラジオ
データポータル

 を押すたびに
(ふた内)

テレビ放送 → (ラジオ放送) → データ放送

ヒント

- デジタル放送を 3 桁入力で選ぶ場合はこの操作は必要ありません。

3 選局します



または    を押す

ケーブルテレビや外部チューナーなど外部機器の映像を見るときは(入力切換)

入力切換
 を押す
(ふた内)

- 押すたびに、次のように切り換わります。
外部入力(L1) ↔ 放送(現在のチャンネル)
- 本機で外部機器の映像を録画するとき、外部入力に切り換えます。

視聴しているデジタル放送のチャンネルを入力するには(3桁入力)

選局時に

3桁入力
消去  を押す →     、   
で「3 桁入力」

- 番号を間違えたときは、もう一度  を押してから、チャンネル番号を入力し直してください。

地上デジタル放送の「4 桁目(枝番選択)」について

- チャンネル番号が重複している放送局がある場合は、3 桁目を入力すると、4 桁目を入力する画面が表示されます。チャンネルボタンで 4 桁目の番号を入力して選局してください。(枝番選択)

メモ

- データ放送の画面操作方法は、各放送局によって異なります。
- 選局ボタンで選ぶ場合、「ホーム」→「設定」→「放送視聴設定」→「チャンネル設定」→「スキップ・リモコン番号」でスキップ設定したチャンネルは飛び越します。
- リモコンの数字ボタンに登録されているチャンネルの変更については、「ホーム」メニューの「取扱説明」(→ **60** ページ)をご覧ください。

メッセージが表示されて放送が受信できないときは

現在放送されていません。【E203】
番組表などで放送時間を確認してください。
雨や風などの天候の影響で
一時的に受信できない場合もあります。

 で受信状態一覧へ

- メッセージ表示中に  を押すと受信状態一覧画面が表示されます。
- 受信状態を診断し、結果を表示します。表示された内容にしたがって確認してください。
-  で終了します。

デジタル放送を電子番組表 (Gガイド) で選ぶ

- ・電子番組表 (Gガイド) でデジタル放送の番組を番組表から選ぶことができます。
- ・番組表が表示されない、空欄になるときは、**46 ページ**を確認してください。
- ・番組表について詳しくは「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。

■ 予約リストと番組表を並べて表示

番組表を押す

数日分の番組表を表示できます。
テレビ放送…8日分
データ放送…最低1日分

番組情報と録画予約の録画先や録画画質などを示すマーク

予約リスト

予約 (ふた内) を押して、表示/非表示を切り換えます

予約時間帯表示

チャンネル番号

選んでいる番組 (黄色表示)

日付、曜日

レコーダー (本機) の番組表であることを表します

今見ている放送の種類

ドラマやアニメなどジャンルを示すマーク

選んでいる番組 (黄色表示)

チャンネルが登録されているリモコンのボタン

広告を表示します。dを押すと詳細が表示されます

録画予約されている番組 (赤色表示)

時間帯

1つの放送局から2つ以上の番組 (サブチャンネル) が放送される場合に空白の番組枠が表示されます。

カラーボタンで選べる機能

■ チャンネル別番組表

赤を押す

数日分のチャンネル別番組表を表示できます。
テレビ放送…8日分
データ放送…最低1日分

チャンネル

日付、曜日

● 番組表を見やすく、使いやすくする

- ・リモコンの (ふた内) で番組表内の文字を拡大し、見やすくすることができます。
- ・リモコンの 、 で、番組表が時間帯ごとに切り換わります。

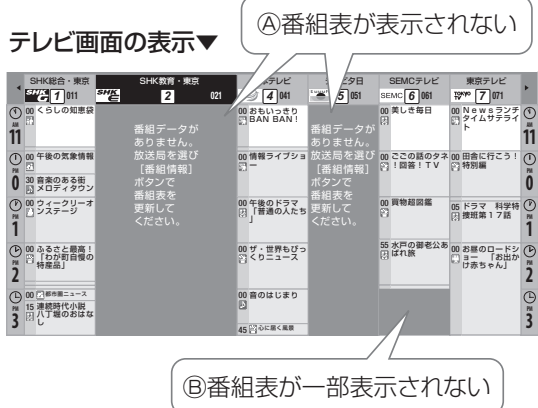
例：PM6:00～AM0:00の時間帯を表示しているときに を押すと、翌日 AM0:00～AM6:00 に切り換わります。

で注意

- ・各放送局が随時最新のデータを送信しています。
- ・地上デジタル放送は、電源を切っていたら決められた時間に番組表データを自動で取得します。番組情報取得時間の設定は「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。
- ・電源を入れてすぐに電子番組表 (Gガイド) を表示させたときや、本機が番組予約の情報を取得する動作をしているときは、電子番組表 (Gガイド) は表示されません。(空白となります。)
- ・電子番組表 (Gガイド) が表示されない場合については「故障かな?と思ったら」(→ 64 ページ) をお読みください。

電子番組表（Gガイド）が表示されないチャンネルがあるとき

番組表データが受信できていない、またはリセットされることから番組表が表示されない場合があります。その場合は次の操作を行ってください。



- ① メッセージが出て番組表欄が空欄となるときは
⇒メッセージのある番組表の欄を



- ・「番組データ取得中」のメッセージに切り換わり、番組表を更新します。更新には2分程度時間がかかります。

- ② 番組表の一部が空欄となっているときは
⇒空欄となっているチャンネルを選局し放送画面のまま2分程度待ちます。
・番組表データを受信し番組表を更新します。

ヒント

- ・番組表データが受信できていない状態で電源を切ったときは、番組表データを自動受信します。
- ・番組表データ受信中は本体内部の電源が入った状態となり、本体表示部に「PGU I」が表示されます。

番組を選ぶには

1 デジタル放送を選びます

地上 BS CS を選ぶ

2 電子番組表（Gガイド）を表示させます

番組表 予約 を押す

3 番組を選びます

- ・次の時間帯を表示させたいときは、次 を押す。
- ・前の時間帯を表示させたいときは、前/ちよっと戻ってテレビ を押す
- 放送中の番組を選んだときは
 - らくらく予約 ●録画 を押す⇒録画されます
 - 決定 を押す⇒選局されます
- 未放送の番組を選んだときは
 - ・予約録画の設定をします。
 - らくらく予約 ●録画 を押す⇒自動で予約内容が設定されます
 - 決定 を押す⇒手動で予約内容の設定をします
- ・番組表を消すには、終了 または 番組表 予約 を押す

放送中の番組を録画する（らくらく一発録画）

- ・今見ている番組をその場で内蔵／増設 HDD、BD（ブルーレイディスク）に録画します。
- ・録画について詳しくは、「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。

ご注意

- ・内蔵／増設 HDD の 1 回の録画の最長時間は 12 時間です。
- ・録画できる番組数（→ 80 ページ）
- ・内蔵 HDD：3000 タイトル
- ・増設 HDD（SHDD^{*1}／外付け HDD）：999 タイトル^{*2}
- ・BD：200 タイトル
- ※ 1 対象機種：BD-T3800
- ※ 2 放送番組の合計数です。
- ・使いかたによっては、録画できる番組数が少なくなる場合があります。
- ・録画ボタンでの録画中に同じチューナーでの予約録画が始まると、はじめの録画が停止します。（予約録画優先）
- ・録画禁止の番組が始まったりデジタル放送の電波状況が悪くなると録画が停止・一時停止する場合があります。
- ・外部入力（L1）での録画中は、別番組の選局（視聴）ができません。
- ・BD-T3800／T2800／T1800 をご使用の場合、外部入力（L1）からの録画は「録画 1」または「録画 2」に限定されます。「録画 1」、「録画 2」で 2 番組録画中は外部入力（L1）からの録画はできません。
- ・BD-T3800／T2800／T1800 をご使用の場合、2 番組録画中は BD-RE／-R への録画は行えません。

お知らせ

- ・外部入力から二重音声番組を録画するとき、あらかじめ録画したい音声を「ホーム」→「設定」→「録画・再生設定」→「音声記録設定」→「外部入力音声設定」で選択してください。
- ・ライブ中に「」（S580 は「」）を押すと、音声ガイドを聴きながら簡単に録画することができます。

基本操作



レコーダー側に

準備 BD（ブルーレイディスク）に直接予約録画したいときは、録画用の BD を挿入します（→ 49 ページ）

1 録画先を選びます

 を押す

- ・電源を入れた時点では HDD モードです。押すごとにモードが切り換わります。
- 詳しくは「モードの切り換え」（→ 「ホーム」メニューの「取扱説明」）をご覧ください。

2 録画したい番組を選びます

 で切り換え、 で選ぶ

- ・リモコンの数字ボタンでも選局できます。

● 外部機器（ケーブルテレビなど）を録画するとき

(1)  を押します。

（ふた内）

- ・外部入力（L1）↔ 放送の順番で切り換わります。

(2) 外部機器側で録画したい番組を選びます。

● 録画画質を変更したいとき

- ・リモコンふた内の  を押し、変更します。

3 録画を始めます

 を押す

● BD/DVD モード、外付け HDD モードのとき

⇒ 録画先の選択画面が表示されます。

- ・録画先を選んで  を押します。

- ・内蔵 HDD への録画の場合、HDD ランプが赤色に点灯します。
- ・BD（ブルーレイディスク）への録画の場合、BD/DVD ランプが赤色に点灯します。
- ・増設 HDD への録画の場合、+HDD ランプが赤色に点灯します。
- ・録画中のランプ（録画 1、録画 2、録画 3、または録画）が赤色に点灯します。
- ・テレビ画面左上に  マークが表示されます。

4 録画を停止する

- ・番組情報を取得できているときは、録画している番組の終了時刻になると録画も自動停止します。
- ・途中で録画を停止するときは  を押します。

デジタル放送を電子番組表(Gガイド)で予約する(らくらく予約)

電子番組表 (Gガイド) から選ぶだけで、7 日先までのデジタル放送の予約録画ができます。

・予約について詳しくは、「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。

で注意

・BD-T3800 / T2800 / T1800 をご使用の場合、BD への録画予約を設定したとき重複して予約できる番組は 2 番組です。

メモ

・HDD (ハードディスク) の残量が少なく録画しきれないときはタイトル消去 (→ 56 ページ) を行い、録画可能時間を増やしてください。

・予約録画をする前に予約したい放送局が映っていることを確認してください。

ヒント

・電子番組表 (Gガイド) 予約では予約した放送が延長されると録画も延長されます。詳しくは「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。

・予約後にお出かけになるときや、就寝中に予約録画が行われる場合は、本機とテレビの電源を切ってください。電源を切っても予約録画は働きます。(本機のコンセントは抜かないでください。)

基本操作



らくらく予約をする

準備 BD (ブルーレイディスク) に直接予約録画したいときは、録画用のBD を挿入します (→ 49 ページ)

1 予約したいデジタル放送を選びます

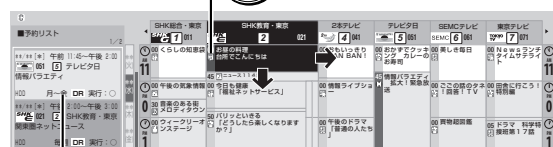
地上 BS CS で選ぶ

2 番組表を表示させます

番組表 予約 を押す

3 予約する番組を選びます

選んでいる番組 (黄色で表示されます) 放送局の続きがあります



予約している番組

7 日先までの続きがあります

- ・録画画質は本機で設定した画質になります。変更したいときは、 (ふた内) を押します。
- ・電子番組表 (Gガイド) の使い方について詳しくは 45 ~ 46 ページをご覧ください。

4 予約内容を設定します

らくらく予約 ●録画 を押す

5 別の番組を予約するときは、手順 3 ~ 4 を繰り返します

● 予約録画時間が重なる番組を選んだときは ⇒ 予約重複画面が表示されます。

・予約の重複について詳しくは、「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。

6 番組表を消します

終了 ○ を押す

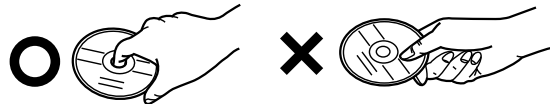
⇒ 開始時刻になると録画が始まり、録画先の +HDD ランプ、HDD ランプあるいは BD/DVD ランプが赤点灯します。また、録画中のランプ (録画 1、録画 2、録画 3、または録画) が点灯します。

ディスクの入れかた・出しかた

BD（ブルーレイディスク）や DVD ディスクの入れかたと取り出しかたです。

ディスクの持ちかた

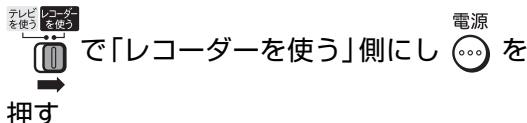
- 光っている面に手を触れないように持ってください。指紋などがつくと、ダビングや再生ができなくなる場合があります。



- ディスクに紙やラベル、シールなどを貼らないでください。

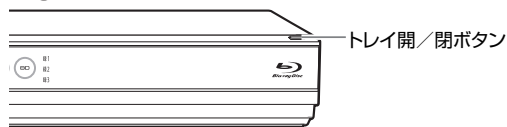
ディスクの入れかた

1 本機の電源を入れます



2 ディスクトレイを開けます

トレイ開/閉
⏮ または本体のトレイ開/閉ボタンを押す



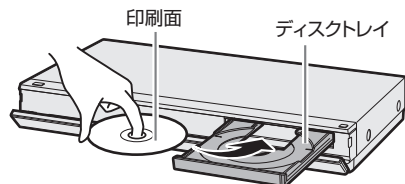
⇒ ディスクトレイが開きます。

- トレイが開くまでに時間がかかる場合があります。

ヒント

- 電源が切れているときにトレイ開/閉ボタンを押した場合、電源が入り、ディスクトレイが開きます。

3 ディスクトレイにディスクを置きます



- 印刷面を上にして置きます。
- 両面記録のディスクは、ダビングまたは再生したい面を下にして置きます。
- ディスクトレイにセットできるディスクは1枚です。2枚以上セットすると、故障の原因となります。

4 ディスクトレイを閉めます

トレイ開/閉
⏮ または本体のトレイ開/閉ボタンを押す

⇒ ディスクトレイが閉まります。

- ディスクの読み込みを行いますので、しばらくお待ちください。
- 新品の BD-RE/-R、DVD-RW/-R ディスクを挿入したときは、録画するための準備「初期化」が自動で始まります。

ヒント

- 挿入すると自動的にメニュー画面が表示されるディスクもあります。画面の指示にしたがって操作してください。
- BD ビデオや DVD ビデオ、音楽用 CD など再生専用ディスクを挿入したときは、自動的に再生が始まります。

お知らせ

- 本機にディスクを入れる前に、「本機で使えるディスクについて」（→「ホーム」メニューの「取扱説明」）をご覧ください。
- 詳しくは「ホーム」メニューの「取扱説明」の「ディスクを初期化する」をご覧ください。

ディスクの出しかた

お知らせ

- ダビング中は、ディスクトレイが開きません。停止させてから操作してください。

1 ディスクトレイを開けます

トレイ開/閉
⏮ または本体のトレイ開/閉ボタンを押す



⇒ ディスクを取り出す

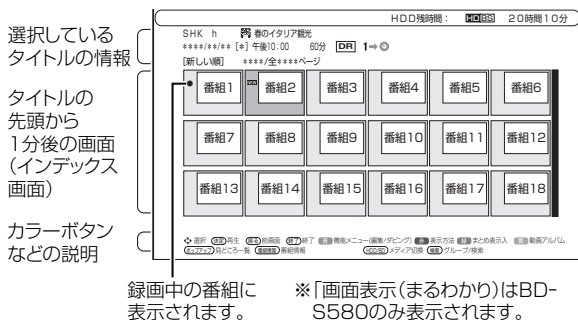
HDD に録画した番組やダビングした BD・DVD を再生する

- ・内蔵／増設 HDD や BD（ブルーレイディスク）、DVD ディスクに録画された番組（タイトル）を「録画リスト」から選んで再生します。
- ・他機で録画した DVD ディスクは、ファイナライズされたディスクが本機で再生できます。
- ・再生について詳しくは、「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。

録画リスト表示について

- **録画リスト** を押します
⇒ 録画リストが表示されます。

内蔵 HDD の画面リスト表示例



ご注意

- ・上記は内蔵 HDD の画面リストの例です。ディスクや状態によっては、表示される内容が異なります。

お知らせ

- ・「ホーム」－「設定」－「録画・再生設定」－「BD/DVD 再生設定」－「視聴制限レベル」で視聴年齢制限を設定しているとき、年齢制限されている番組は、録画リストが黒画面となります。タイトル名は「***」表示となります。

録画リストの文字の大きさ

- ・リモコンの **文字サイズ** (ふた内) を押して、文字の大きさを変えることができます。

録画リストのタイトルをまとめる「まと丸」リスト

- ・毎月・毎週予約録画した番組やタイトル名が同じ番組などをフォルダー内にまとめて表示できます。

- 録画リストを表示し、**緑** (まとめ表示入) を押します
- ・同一番組などが「まと丸」フォルダーにまとめて表示されます。
- ・解除したいときは再度 **緑** (まとめ表示切) を押します。

ご注意

- ・BD-RE Ver.1.0 (カートリッジ入り) は、本機で再生できません。また、本機に挿入することもできません。
- ・他の BD レコーダーで録画した BD-RE/-R には、一部再生できないディスクがあります。例えば、デジタルハイビジョンカメラ(HDV方式)で撮影した映像を録画したディスクなどは再生できない場合があります。

お知らせ

- ・再生専用のディスクを挿入したときは、自動で BD/DVD モードに切り換わり、再生が始まります。
- ・録画リストについてお困りの際は「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。
- ・ライブ中に **再生リスト** (S580 は **メニュー**) を押すと、音声ガイドを聴きながら簡単に再生することができます。→ 63 ページ

基本操作



準備 BD・DVD を再生するときは再生用のディスクを挿入します ▶ 49 ページ

1 HDD または BD/DVD を選びます

HDD/BD を押す

- ・電源を入れた時点では HDD モードです。押すごとにモードが切り換わります。

2 録画した複数の番組の中から選んで再生したいとき

録画リスト を押す ⇒ 録画リストが表示されます。手順 3 に進みます。

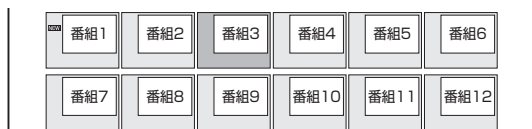
T3800 T2800 T1800 W2800 W1800 W580

■ ドラ丸リストから録画した番組を再生したいとき

- (1) **ドラ丸** を押します
 - (2) 再生したい番組フォルダーを選択し決定します
- ・ドラ丸タイトルリストが表示されます。手順 3 へ進みます。

3 見たいタイトル（録画した番組）を選んで決定します ⇒ 再生が始まります。

画面リストの画面例



- 画面リストの場合、小画面を選ぶと自動的に小画面のまま再生されて内容を確認できます。
- ページが複数あるときは： /  でページを切り換えることができます。

ヒント

- 再生中に  を押すと、再生を停止して、録画リストを表示できます。
- HDD（ハードディスク）の録画リストで （機能メニュー（編集／ダビング））を押すと、タイトルの編集や消去ができます。

■ 再生が終わると

ドラ丸録画番組⇒ドラ丸「予約確定」選択画面を表示
HDD（ハードディスク）⇒放送中のテレビ番組映像
動画アルバム・BD・DVD⇒次のタイトルを再生

ヒント

- ドラ丸の番組フォルダーやまと丸フォルダーを選んで再生したいときは、フォルダー内の番組を順次再生します。

T3800 T2800 T1800 W2800 W1800 W580

■ 早見再生・ゆっくり再生をする

- 再生中に  を押します。
押すたびに「通常再生」→「早見再生」→「ゆっくり再生」の順番で切り換わります。

S580

■ 早見再生をする

- 再生中に  を押します。
- 押すたびに「通常再生」↔「早見再生」となります。

■ ゆっくり再生をする

- 再生中に  を押します。
- 押すたびに「通常再生」↔「ゆっくり再生」となります。

4 再生を止めるときは

 を押す

- 再生をタイトルの途中で止めたときは、つづきから再生することができます。

他機で録画した BD や DVD を再生する

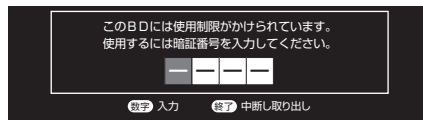
HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR  市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

1 BD/DVD モードを選び、ディスクを挿入します ▶49 ページ

ヒント

BD を挿入したとき

- 他機で使用制限をかけた BD を挿入すると、次のような画面になります。暗証番号を入力してください。



- 暗証番号を3回まちがえると、ディスクトレイが開きます。ディスクトレイを閉じてから、正しい暗証番号を入力してください。

2 自動的に再生が始まらないときは、再生ボタンを押します

 を押す ⇒ 最初から再生されます。

■ 再生を止めるときは

 を押す

音楽 CD や市販の BD / DVD ビデオを再生する

音楽 CD や映画などを収録した市販の BD / DVD ビデオディスクを再生します。

基本操作



音楽 CD を再生する

ご注意

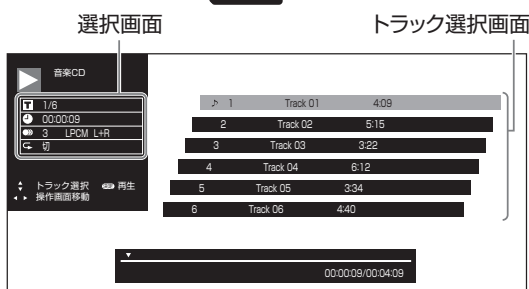
- ビデオ CD は再生できません。

1 CD を挿入します

▶ 49 ページ

- 読み込みが完了すると自動的に最初から（1 曲目から）再生されます。

自動で再生されないときや、一時停止したときは **再生** を押します



2 曲を選んで再生したいときは、再生中に曲を選んで決定します

3 再生を止めるときは **録画停止** を押します

- 音楽 CD の画面が消えます。

選択画面で曲を選んで再生するには

1 選択画面の「T」を選んで決定します

- 方向キーで選択画面に移動します。

2 曲番号を選んで決定します

ヒント

- 数字ボタンで指定して決定することもできます。

市販の BD ビデオや DVD ビデオを再生する

1 ディスクを挿入します

▶ 49 ページ

- 自動で BD/DVD モードに切り換わり、再生が始まります。
- この後 HDD（ハードディスク）のタイトルを見たい場合は、再生を停止し、HDD モードに切り換えてください。

ヒント

- 挿入すると自動的にメニュー画面が表示されるディスクもあります。画面の指示にしたがって操作してください。

2 自動的に再生が始まらないときは、BD/DVD モードに切り換えてから再生を始めます

HDD/BD を押す ⇒ **再生** を押す ⇒ **再生**

ヒント

- 視聴制限がかけられている場合

視聴制限が設定されています。
視聴制限レベルの一時変更を行いますか？

はい

いいえ

「はい」を選んだとき

暗証番号を入力して、視聴制限のかかったシーンを再生できます。暗証番号を 3 回まちがえると再生できません。（まちがえたときは、視聴制限のかかったシーンを飛ばして再生する、再生を停止する、ディスクトレイが開く、などディスクによって動作が異なります。）

「いいえ」を選んだとき

視聴制限のかかったシーンを再生しません。（視聴制限のかかったシーンを飛ばして再生する、再生を停止する、ディスクトレイが開く、などディスクによって動作が異なります。）

- BD ビデオの場合も視聴制限のため再生できない場合があります。そのようなときは、再生を止めてから BD（ブルーレイディスク）の視聴制限の設定を変更してください。

- BD ビデオ視聴制限年齢について
→ 「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。

3 再生を止めるときは

録画停止 を押す
停止

- 途中で **録画停止** を押したあとに再生したときは、つづきから再生されます。

トップメニューを表示させるには

(トップメニューがある場合)

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR **市販のBD/DVDビデオ** 音楽用CD

- ディスクを挿入して、**録画リスト** トップメニュー を押すと、トップメニューを表示します。
- 画面の指示にしたがって操作してください。

トップメニューの例

トップメニュー	
1 ジャズ	2 ラテン音楽
3 クラシック	4 ロック

ディスクメニューを表示させるには

(ディスクメニューがある場合)

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR **市販の DVDビデオ** 音楽用CD

- ディスクを挿入して **ディスクメニュー** を押すと、ディスクメニューを表示します。
- 画面の指示にしたがって字幕や音声を選ぶなどの操作をしてください。

ディスクメニューの例

メニュー	
1 サブタイトル	
2 音声	
3 字幕	

お知らせ

- ディスクに記録されているメニュー画面などを、再生中に表示させたい場合は、**録画リスト** トップメニュー または **ディスクメニュー** を押します。
- トップメニューやディスクメニューの表示のさせかたはディスクによって異なる場合があります。詳しくは、ディスクに付属の説明書をご覧ください。

ポップアップメニューを表示させるには

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR **市販のBD** **ビデオ** 音楽用CD

BD ビデオには、再生を止めることなくいろいろな操作ができる「ポップアップメニュー」があります。

- (1) ディスク再生中に **ポップアップメニュー** を押すと、ポップアップメニューを表示します。
- (2) 項目を選んで決定します。
 - ディスクによって表示される内容が異なります。ポップアップメニューの見かたや操作のしかたについては、ディスクに付属の説明書をご覧ください。
- (3) 操作が終わったら **ポップアップメニュー** を押してポップアップメニューを消します。
 - ポップアップメニューが自動的に消えるディスクもあります。

再生をしながら使えるボタン (早送り／早戻し再生・頭出し・スロー再生など)

再生中に使えるいろいろな機能です。

で注意

- 各機能は、ディスクによって操作が異なったり、禁止されている場合があります。ディスクの取扱説明書もご覧ください。

お知らせ

マルチビューサービス放送などを HDD (ハードディスク) または BD (ブルーレイディスク) に録画して再生する場合は

- 主映像以外の映像を再生した場合、連動データ放送が視聴できない、字幕などが表示できないなどの制限が出る場合があります。また、スロー再生などの特殊再生はできません。このような制限が出る場合は、主映像でお楽しみください。

静止画にするには (静止画再生)

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR 対応 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

静止画再生ができます。

- VR フォーマットの DVD-RW/-R 以外のディスクでコマ送り動作をしたときは映像がずれることがあります。
- BD ビデオや DVD ビデオでは、ディスクによって静止画再生／コマ送り再生の操作が禁止されているものもあります。

1 再生中に

一時停止 を押す ⇒ 静止画再生になります。

- 音楽用 CD を再生しているときは、一時停止の状態になります。
- 再生 を押すと、再生画面に戻ります。
- 静止画再生からコマ送り再生やスロー再生などの特殊再生が行えます。

スローモーションで見るには (スロー再生／逆スロー再生)

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR 対応 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

スローモーション再生できます。

- タイトルをまたぐスロー再生は行えません。
- BD ビデオの場合は、逆スロー再生は行えません。

1 静止画再生中に

早送り または 早戻し を 2 秒以上押し続ける

- 内蔵／増設 HDD、BD-RE／BD-R の場合は、スロー再生中に 早送り を押すたびに、4 段階でスロー再生の速さが切り換わります。逆スロー再生は、1 段階 (約 1/16 倍速) となります。
- DVD のタイトルは約 1/8 倍速のスロー／逆スロー再生となります。
- BD ビデオのタイトルは、約 1/16 倍速のスロー再生になります。
- 再生 を押すと、再生画面に戻ります。

コマ送り／コマ戻しするには (コマ送り再生)

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR 対応 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

コマ送り再生できます。

- BD ビデオの場合、コマ戻し再生は行えません。

1 静止画再生中に

早送り または 早戻し を押す

- 再生 を押すと、再生画面に戻ります。

早送り／早戻しするには (サーチ)

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR 対応 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

再生中の映像を早送り／早戻しして見るができます。

- タイトルをまたぐサーチはできません。
- HDD (ハードディスク) の場合は、タイトルの最後までサーチすると、再生が停止します。
- 早戻し中は早見・早聞き視聴ができません。
- 早送り (約 10 倍速以上)／早戻し中は、字幕は再生されません。
- 早送り／早戻し中は、ブルーレイ 3D™ は 2D 再生となります。

1 再生中に

早送り または 早戻し を押す

⇒ 押すたびにサーチの速さが変わります。
(再生しているメディアによって速さは異なります。)

- 再生 を押すと、再生画面に戻ります。

お知らせ

- ディスクの種類や記録状態によっては、記載のスピードにならない場合があります。

CHAPTER（章）の頭出しをするには（スキップ）

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

- ・ CHAPTER（章）やトラック（曲）などを飛ばして頭出しができます。

1 再生中または静止画再生中に

次 または 前/ちょっと戻ってテレビ を押す

- ・ 次 を押すと、次の CHAPTER（トラック）を頭出しします。
- ・ 前/ちょっと戻ってテレビ を押すと、いま見ている CHAPTER（トラック）の先頭に戻ります。2回続けて押すと、前の CHAPTER（トラック）の先頭に戻ります。
- ・ HDD（ハードディスク）の場合は、タイトルをまたぐ頭出しができません。最後の CHAPTER（トラック）まで進むと、画面に END が表示されます。

少し先に飛ぶには（30 秒送り）

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

- 約 30 秒先に送ることができます。
- 連続して押すと、さらに先へ送ることができます。
- ・ コマーシャルを飛ばして見たいときなどに便利です。
 - ・ 連続押しは、6 回（約 3 分先）までできます。

1 再生中に

30秒送り を 1 回押す ⇒ 約 30 秒先にジャンプします。

⋮

30秒送り を 6 回押す ⇒ 約 3 分先にジャンプします。

少し前に戻すには（10 秒戻し）

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

- 約 10 秒前に戻すことができます。
- ・ ちょっと見のがしたところを見直すときなどに便利です。
 - ・ 連続押しは、6 回（約 1 分前）までできます。

1 再生中に

10秒戻し を 1 回押す ⇒ 約 10 秒前に戻って再生します。

⋮

10秒戻し を 6 回押す ⇒ 約 1 分前に戻って再生します。

タイトル（録画した番組）を消去する

・消去について詳しくは、「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。

ご注意

- ・消去したタイトルは復元できません。
- ・消去について詳しくは「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。

次のディスクはタイトルの消去ができません

- ・ファイナライズを行ったビデオフォーマットのDVD-RW
- ・ファイナライズを行ったDVD-R
- ・ディスク保護を設定したBD（ブルーレイディスク）やDVD

お知らせ

- ・保護されたタイトルは消去できません。保護されたタイトルを消去したい場合は、保護解除を行ってください。
- ・保護解除は「ホーム」メニューの「取扱説明」で「録画した番組を消さないように設定する」をご覧ください。
- ・ライブ中に （S580は ）を押すと、音声ガイドを聴きながら簡単にHDD内のタイトルを消去することができます。
→ 63 ページ

基本操作



で選択、 で決定

録画リストから複数のタイトルを選んで消去する

不要なタイトル（録画した番組）あるいはチャプターを録画リストから消去することができます。

1 消したいタイトルのある録画先を選びます

を押す

- ⇒ 内蔵／増設HDD、またはBD/DVDを選ぶ
- ・BDやDVDの場合、ディスクを挿入（→ 49 ページ）してください。

2 録画リストで消したいタイトルを選びます

を押す ⇒ で選ぶ

■ まとめ表示したタイトルを一括で消去したいとき

- (1) まと丸フォルダーを選択します
- (2) を押して、機能メニューを表示します
- (3) 「消去」を選んで決定します

T3800 T2800 T1800 W2800 W1800 W580

■ ドラ丸タイトルリストから消去したいとき

- (1) を押します
- (2) 消去したい番組フォルダーを選択し決定します
・ドラ丸タイトルリストが表示されます。
- (3) 消去したいタイトルを選びます
・手順 3 へ進みます。

3 消去ボタンを押します

3桁入力
 を押す

- ・タイトル選択消去画面が表示されます。
- ・他にも消去するタイトルがある場合は、消去したいタイトルを選んで ボタンを押すと複数選択ができます。

4 もう一度消去ボタンを押します

3桁入力
 を押す

- ・ を押しても消去できます。

5 「する」を選んで決定します

6 終了します

終了
 を押す

再生中のタイトルを消去する

1 再生中に消去ボタンを押します

3桁入力
 を押す

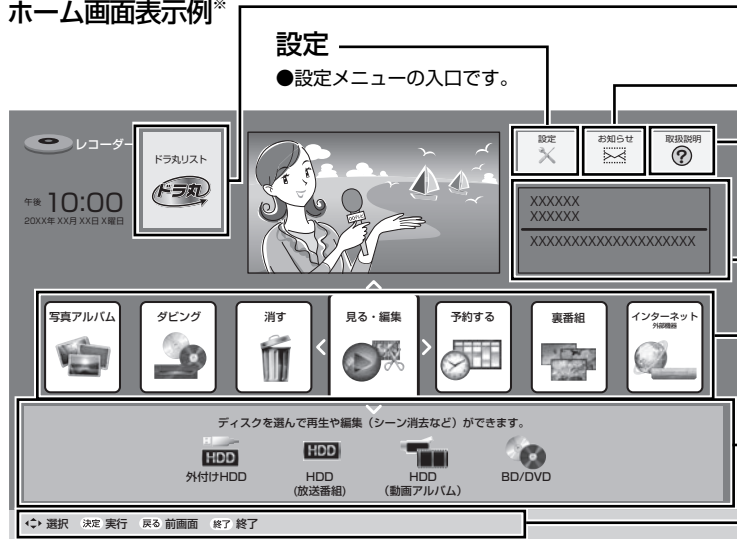
2 「する」を選んで決定します

- ・タイトルが消去されます。

ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）の使いかた

ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）とは、本機の操作や設定を行うことができるメニュー画面です。

ホーム画面表示例※



ドラ丸リスト※

- ドラ丸リスト画面を表示します。
- ※ BD-S580 をご使用の場合は表示されません。

お知らせ一覧

- 放送局からのメッセージや情報を見ることができます。

取扱説明

- 取扱説明ガイドを表示します。（→ 60 ページ）

放送局／番組名

ホームメニュー項目

- ホームメニューの項目は「取扱説明ガイド」でご覧ください。

機能選択メニュー

- ホームメニュー項目により変わります。

操作ガイド

- ガイド表示はリモコンで操作するときのボタンと操作のしかたをお知らせします。
- 画面によっては、このほかに「青」や「赤」などのカラーボタンで選べる機能が表示されます。

設定メニュー画面例※



設定メニュー

- 録画・再生や通信などの設定項目を機能別に分類しています。

設定項目

- 設定内容については、「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。

ホーム画面(裏番組)

- ホームメニュー項目の「裏番組」を選んで決定すると視聴していない裏番組が確認できます。



チャンネル／サブ画面※

- 各局で放送中の番組名が確認できます。地上デジタル、CS、BS 放送に切り替わります。
- 選局した番組がサブ画面に表示されます。
- ※ BD-S580 をご使用の場合は表示されません。

番組名／番組情報

- 視聴している番組の番組情報が表示されます。

ホーム画面表示時の操作方法

お知らせ

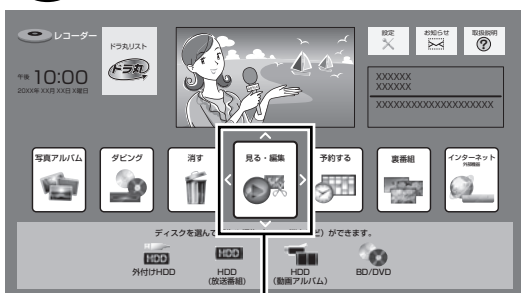
- ホームメニューの表示内容は変更される場合があります。
- ホーム画面が表示されない場合は、「故障かな?と思ったら」(→ 64 ページ)をお読みください。

1 ホーム画面を表示させます

ホーム を押す

2 ホームメニューから目的の項目を選んで決定します

で選び **決定** を押す



(例:「見る・編集」を選んだとき)

3 操作・設定したいメディアまたは項目を選んで決定します

で選び **決定** を押す



(例:「BD/DVD」を選んだとき)

4 選択・設定します

- 選択・設定方法は項目により異なります。操作ガイドに従って設定してください。
- 戻る** を押すと、前に戻ります。

5 設定を終了します

終了 **決定** を押す

設定メニューの操作方法

1 ホーム画面を表示させます

ホーム を押す

2 「設定」を選んで決定します

で選び **決定** を押す



3 設定メニュー（アイコン）を選び、目的の設定項目を選んで決定します

で選び **決定** を押す



(例:「本体設定」から「ファミリーリンク設定」を選んだとき)

4 設定します

- 設定方法は項目により異なります。操作ガイドに従って設定してください。

5 設定を終了します

終了 **決定** を押す

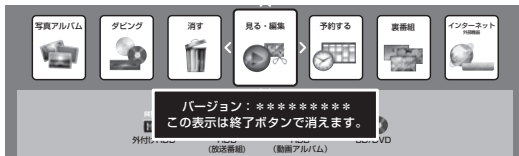
ソフトウェアのバージョンを確認する

1 ホーム画面を表示させます

ホーム を押す

2 **黄** を長押しします (約 3 秒)

- ソフトウェアのバージョンが表示されます。



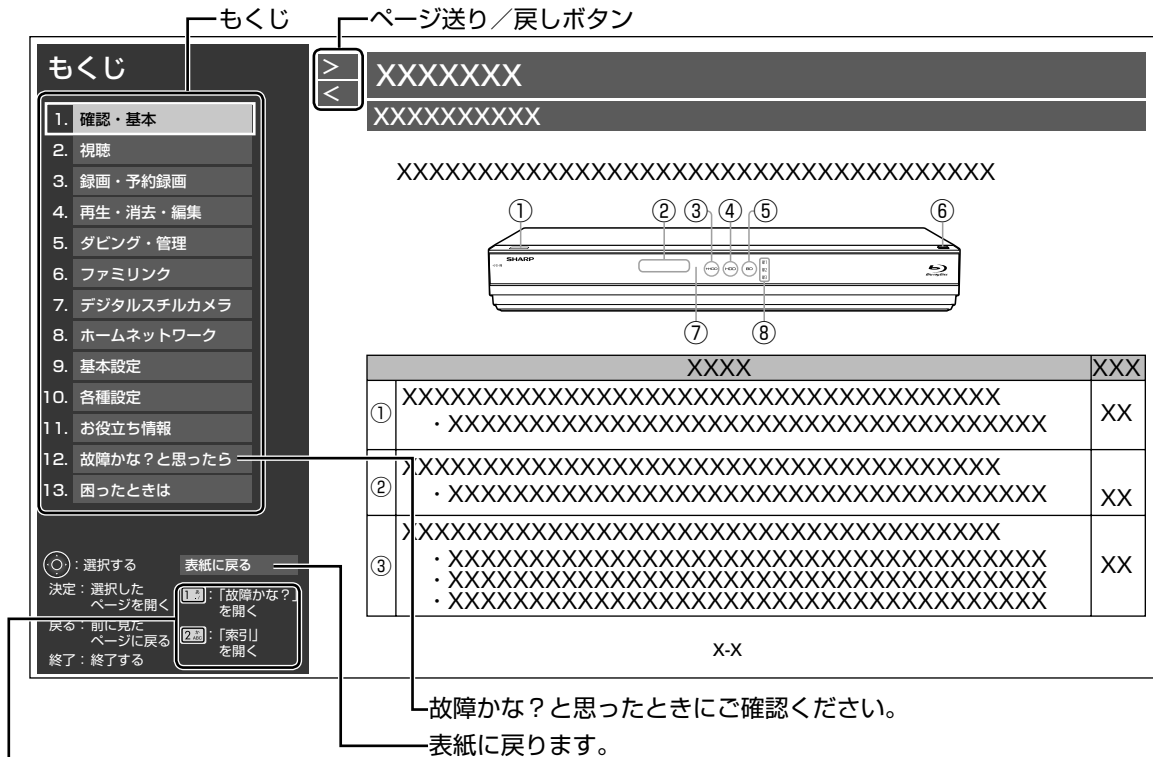
3 バージョン表示を終了します

終了 **決定** を押す

取扱説明ガイドの使いかた

取扱説明ガイドの画面について

- 取扱説明ガイドは、テレビ画面で操作方法を案内する取扱説明書です。
- 放送視聴中や録画中にテレビ画面で確認できます。



リモコンの **1** を押すと、「故障かな?と思ったら」のページを直接開くことができます。

- ・操作ができないなど操作に困ったときに確認いただきたい内容を説明しています。

リモコンの **2** か ABC を押すと、「索引」のページを直接開くことができます。

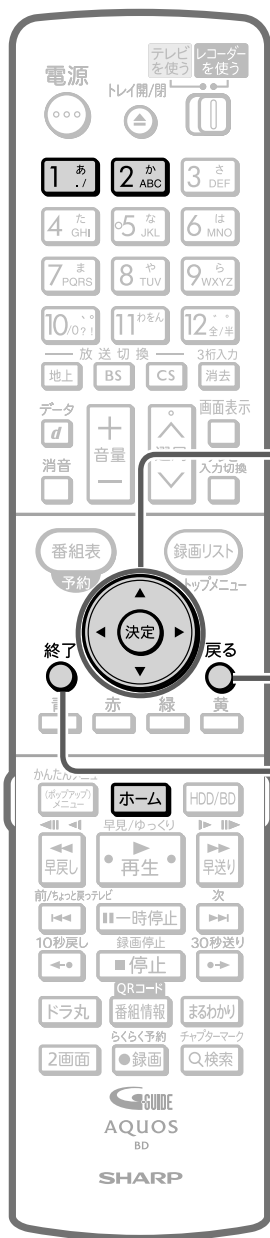
- ・本書内に記載されている【「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。】の項目は索引から探して確認することもできます。

本文中の参照ページへのリンクを選んで決定すると、関連する説明のページが開きます。

お知らせ

- 次の場合は取扱説明ガイドを表示することはできません。
 - ホーム画面が表示できないとき
 - 2 画面表示しているとき
 - ホームネットワーク機能を使用しているとき
 - その他操作内容によっては表示できない場合があります。
 - アクティブラや TSUTAYA TV を使用しているとき
- 取扱説明ガイドが表示できないときは「メッセージ」でお知らせしますので「メッセージ」の内容を確認してください。

取扱説明ガイドの操作に使うリモコンのボタン



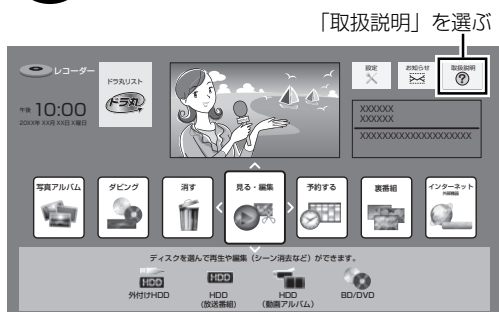
カーソルボタン「▲／▼／◀／▶」で項目を選び、「決定」ボタンで決定します。

前に見たページに戻ります。

取扱説明ガイドを終了します。

2 ホームメニューから「?取扱説明」を選んで決定します

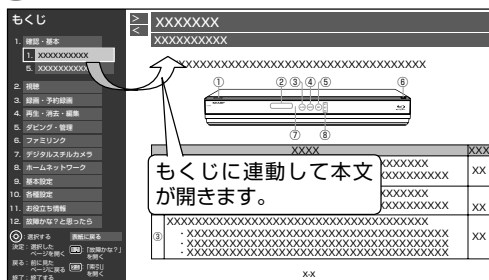
で選び 決定 を押す



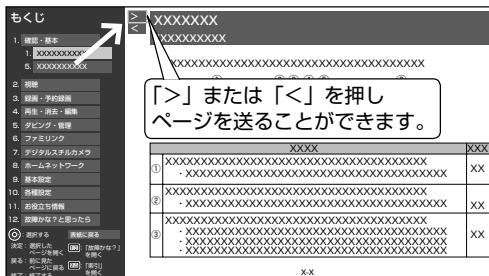
- ・ 取扱説明ガイドが表示されます。
- ・ 表示されるまで多少時間がかかる場合があります。

3 カーソルボタンでもくじの項目を選び、決定ボタンを押すと、連動して本文が開きます

で選び 決定 を押す



4 カーソルボタンで「>」または「<」を選び、決定ボタンを押すと、ページを送ることができます



1 ホーム画面を表示させます

ホーム を押す

5 取扱説明ガイドを終了するときは、終了を押す 決定 を押します

もくじ／ご注意

本機を使うための準備

ふだんの使いかた

故障かな?と思ったら

お役立ち情報 (仕様など)

かんたんメニューの使いかた

かんたんメニューとは

本機の再生や録画など基本的な操作を画面を見ながら操作することができます。

かんたんメニュー画面表示例

録画する ———
ライブ画面で録画することができます。

予約する ———
番組表を表示することができます。

予約を確認する ———
予約リストを表示します。

再生する ———
録画リストを表示します。

ダビングする ———
ダビングリスト画面を表示します。

消去する ———
タイトル選択消去画面を表示します。

終了する ———
かんたんメニューを終了します。

音声ガイド ———
Ⓚ(入状態を表しています。)
ⓧ(切状態を表しています。)
・初期設定はONⓀで、かんたんメニュー
を選ぶと音声ガイドも開始します。



お知らせ

・再生中は、取扱説明ガイド表示中など本機の状態によっては、かんたんメニューが表示されません。

録画停止
再生を停止するには **■停止** を押してください。

終了
取扱説明ガイドを終了するときは **○終了** を押してください。

かんたんメニュー画面表示時の操作方法

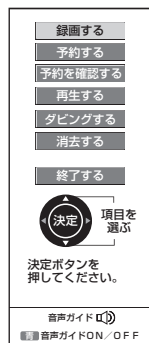
1 かんたんメニュー画面を表示させます

かんたんメニュー
(ポップアップメニュー) (S580 は **かんたんメニュー**) を押す

2 操作したいメニュー項目を選んで決定します



(メニュー表示)



3 さらに項目を選んで決定します



画面例：録画するを選んだ場合

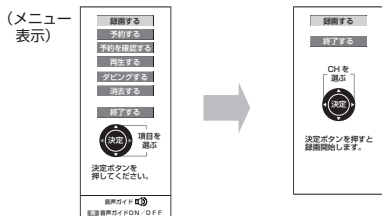


- ・「録画する」を選んで決定すると録画が始まりかんたんメニューが消えます。
- ・「終了する」を選ぶと終了します。
- ・別の項目を選択したいときは **戻る** を押します。前の画面に戻ります。

録画する

HDDのみ

1 番組を選んで決定します



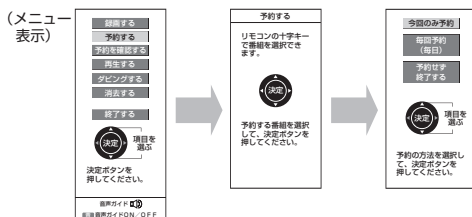
- ・番組終了まで自動的に録画します。
- ・録画を止めるときは、**録画停止**を押します。

予約する

HDDのみ

1 番組表から予約するチャンネルと時間帯を選びます

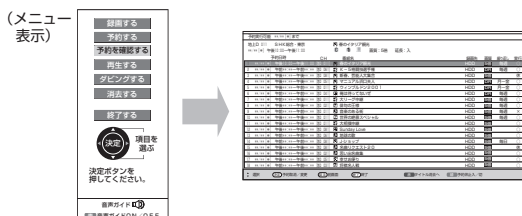
2 予約内容を選んで決定します



- ・かんたんメニューでは、延長予約は自動的に「入」となります。
- ・「終了する」を選んで決定すると放送画面になります。

予約を確認する

1 予約リストから確認する予約を選んで決定します



- ・変更したい予約を選んで **決定** を押すと、「予約取り消し / 変更」画面が表示されます。
- ・終了するときは、**終了** を押します。

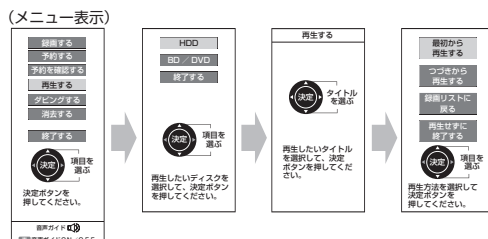
再生する

1 再生するメディアを選んで決定します

- ・SeeQVault-HDD のタイトルは再生できません。

2 録画リストから再生する番組を選んで決定します

3 再生方法を選んで決定します



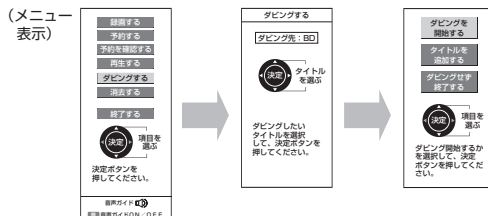
- ・再生を止めるときは、**録画停止**を押します。

ダビングする

BD/DVDのみ

1 ダビングリスト画面からダビングするタイトルを選んで決定します

2 ダビング方法を選んで決定します



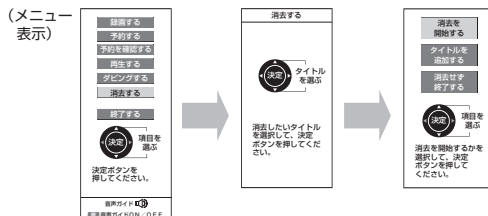
- ・DVD ディスクにダビングするとき、またはBD ディスクの残時間が足りないときは、「自動調整」の確認画面が表示されます。
- ・ダビングを途中で止めるときは、**録画停止**を押します。

消去する

HDDのみ

1 タイトル選択消去画面から消去するタイトルを選んで決定します

2 消去方法を選んで決定します



- ・消去が完了すると放送画面に戻ります。

もくじ／ご注意

本機を使うための準備

ふだんの使いかた

故障かな？と思ったら

お役立ち情報（仕様など）

故障かな？と思ったら

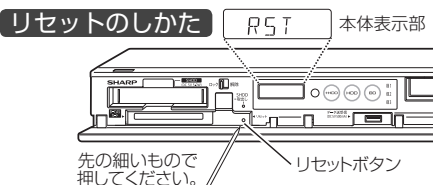
次のような現象は故障ではない場合がありますので、修理をお申し付けになる前にお確かめください。

操作ができない（電源が入らない）ときは、まず次のことをお確かめください

- 電源プラグはコンセントから抜けていませんか？→ **27** ページ
- リセットボタンを押して電源を入れなおしてください。
→ **右記、67** ページ

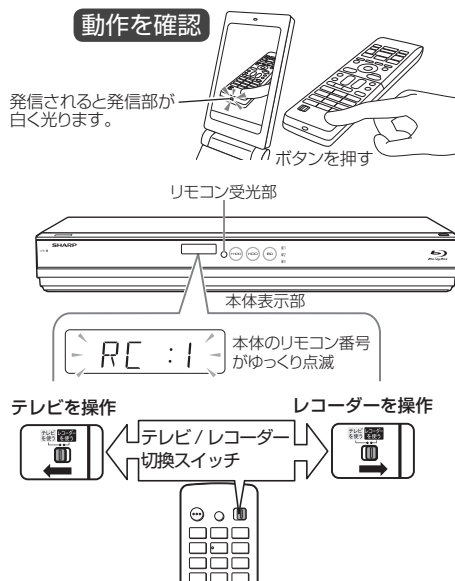
で注意

- シャープペンシルや鉛筆等の先端が折れ易いものを使用すると、折れた異物が中に入り故障の原因となりますので、使用しないでください。



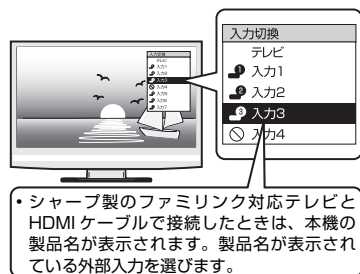
リモコンで操作ができないときは、まず次のことをお確かめください

- リモコンの乾電池は消耗していませんか？
リモコンの乾電池は正しくセットされていますか？→ **15** ページ
- 携帯電話のカメラ機能やデジタルカメラでリモコンの発信部を見ると発信状態が確認できます。
- お使いの機器によっては確認できない場合があります。
- リモコンの操作範囲内で操作していますか？
向きは正しいですか？→ **15** ページ
- リモコン番号は正しく設定されていますか？→ **33** ページ
本体とリモコンのリモコン番号設定が違っているときは、本体表示部に本体側のリモコン番号が点滅表示されます。
リモコン側のリモコン番号設定を本体側のリモコン番号に合わせます。
- テレビ／レコーダー切換スイッチの位置は正しいですか？
→ **38、40** ページ
操作したいほうに確実に切り換えてご使用ください。
- テレビの入力切換（外部入力）は正しく切り換えましたか？
→ **42** ページ
テレビの入力を本機を接続した外部入力に切り換えてください。



映像や音が出ないときは、まず次のことをお確かめください

- アンテナや HDMI ケーブルは正しく接続されていますか？
入力と出力を間違えて接続していませんか？→ **16 ~ 25** ページ
- テレビの入力切換（外部入力）は正しく切り換えましたか？→ **42** ページ
テレビの入力を本機を接続した外部入力に切り換えてください。
- テレビの入力スキップが設定されていませんか？
本機を接続した入力がスキップ設定されていないか確認してください。
- 電源を入れた状態で HDMI ケーブルを抜き差ししていませんか？
電源を切ってから、本機とテレビの HDMI ケーブルを接続し直し、電源を入れてください。



操作で困ったときは、まず次のことをお確かめください

- ・「ホーム」－「インターネット・外部機器」－「お困りのときは（リモートサポート）」をご覧ください。



- ・本機の「インターネットを経由したリモートサポート機能」で、お客様相談窓口の担当者が、お客様と同じ操作表示画面を見ながら操作案内を行うなどのサポートを受けられます。（相談窓口担当者側では、放送画面や再生画面は見られません。また、リモートサポートで対応できる内容には制限があります。）
※ご利用になるためには、インターネット接続とリモートサポートサービス利用規約への同意が必要です。
- ・画面の案内に従い、かんたんメニューやサポートホームページをご覧ください。（ホームページにはスマートフォンやパソコンからアクセスしてください）

製品情報や機能別情報、サポートページをスマートフォンなど携帯端末で確認

- ・「ホーム」－「インターネット・外部機器」－「スマートフォンで確認」をご覧ください。
- ・製品情報や機能別情報、サポートページなど、各情報毎にQRコードを画面に表示します。
スマートフォンなど携帯端末でQRコードを読み取り各情報画面にアクセスできます。



■画面に表示されるQRコードから誘導されるサイトについてのご注意

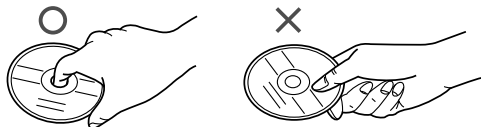
（QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。）

- 当サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。パケット定額サービスにご加入でないお客様は、高額になる可能性がございますのでご注意ください。
- スマートフォンにより、QRコード読み取りアプリケーションが必要となる場合があります。また、通信状況、機種、QRコード読み取りアプリケーションの種類、OSのバージョンによっては正常に動作しない場合があります。詳しくは、お使いの携帯電話会社にお問い合わせください。
アプリケーションのダウンロードに際して、万一お客様に損害が生じたとしても、当社は何ら責任を負うものではありません。
- 当社は、当サイト上のコンテンツやURLを予告なく変更、もしくは削除することがあります。

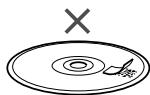
ディスク (BD・DVD・CD) の取り扱いに関するご注意とお知らせ

■ ディスクの取り扱いはていねいに

- 記録面 (再生面) には手を触れないでください。



- ディスクに紙やシールを貼らないでください。



■ ディスクのお手入れについて

- ディスクについた指紋や汚れを落とすときは、柔らかい布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取るようにしてください。汚れがあるとディスクの再生時に音飛びしたり、画像が乱れる場合があります。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布でからぶきしてください。
- シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

■ ディスクの再生で音飛びしたり、画像が乱れるときは

- ディスクの記録面に、傷や汚れが無いかなど確かめください。
- ディスク読み取り部にゴミやほこりがたまると、音飛びしたり画像が乱れて見える場合があります。ディスク読み取り部にたまったゴミやほこりが原因の場合、推奨のレンズクリーナーを使用することで症状が改善される場合があります。ただし改善効果は必ずあるというわけではありません。レンズクリーナーを使用しても症状が改善されない場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口 (→ 73 ページ) にご相談ください。

推奨レンズクリーナーについては、シャープホームページのDVD/BD サポートステーション (<http://www.sharp.co.jp/support/bd/>) 「ディスクの取り扱いなどについて」からご覧いただけます。

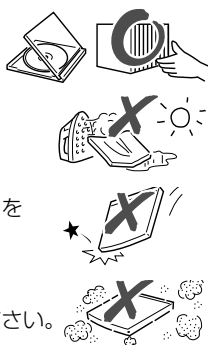
※ 推奨以外のレンズクリーナーは、故障の原因になる場合がありますので、絶対に使用しないでください。

お知らせ

「通知センター設定」で「BD ドライブのお手入れ」を「入」に設定しておくとお手入れ時期をお知らせ案内いたします。通知センターについては、「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。

■ ディスクの保管のしかた

- ディスクのケースに入れ、立てて保管してください。
- 直射日光の当たるところや熱器具などのそば、湿気の多いところは避けて保管してください。
- 落としたり、強い振動やショックを与えないでください。
- ほこりの多いところやカビの発生しやすいところは避けてください。

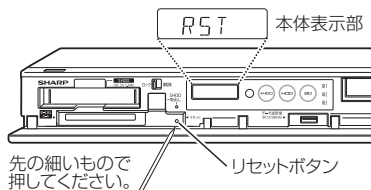


ディスクが取り出せないときは

- ディスクトレイが開かず、ディスクが取り出せないときは次のことを確認してください。
 - 本機が動作中の場合は、動作を停止できるか確認する。(録画中、予約録画中、ダビング中は動作が終了するまで待つ)
 - 本機の動作が停止している場合は、電源が切れるか確認する。上記を確認のうえトレイ開/閉ボタンを押しディスクが取り出せるか確認してください。

- それでもディスクトレイが開かず、ディスクが取り出せないときは、次の操作を行ってください。

1 本体前面の扉を開き、先の細いものでリセットボタンを押します



ご注意

- シャープペンシルや鉛筆等の先端が折れ易いものを使用すると、折れた異物が中に入り故障の原因となりますので、使用しないでください。
- 録画中、予約録画中、ダビング中に、リセットボタンを押したときは、電源が切れ動作が停止します。

2 電源が切れた状態でトレイ開/閉ボタンを押します

- 電源が入りディスクトレイが開きますので、ディスクを取り出します。
- ディスクを取り出したあと、HDD ランプが点滅中は、システムの準備を行っています。ディスクトレイの開閉は、HDD ランプが点灯してから行ってください。

それでも操作できないときは、67 ~ 70 ページをご覧ください。

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
操作ができない	極端に寒い場所でお使いのとき	・使用温度範囲内でお使いですか。 極端に寒い場所では本機を使用するときは、HDD（ハードディスク）保護のため（暖機のため）HDDの準備が必要です。電源を入れてから使用できるまで、時間がかかりますのでしばらくお待ちください。	78
	HDDの空き容量がなくなったとき	・内蔵HDDの空き容量がなくなると、本機の操作ができなくなる場合があります。 不要な番組を消去してください。（「1回だけ録画可能」の番組や、「ダビング10」の番組で9回コピー済みのものは、ダビングするとHDD（ハードディスク）から消去されます。）消去した番組は元に戻せません。大切な番組はBD（ブルーレイディスク）やDVDにダビングしてください。	56、 「取扱説明ガイド」
	操作の途中で画面が止まり、操作ボタンを受けつけない	・一度電源を「切」にし、再度電源を入れ直してください。 ・電源が切れない、または症状が改善しない場合は、本体扉内のリセットボタンを先の細いもので押してください。本体表示部に「RST」が表示されます。 ・リセットボタンを押すと電源が「切」になります。電源を入れ直してください。 ※ リセット操作をしたときは、番組表の情報がいったん消える場合があります。 ※ リセットしても、録画したタイトルや予約情報などはそのまま保存されています。ただし、録画途中や保存前の情報は、残らない場合があります。 ・本体のリセットボタンを押しても改善されない場合は、電源を「切」にします。その後、電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んでください。 ・電源を入れるとシステムの確認のため「リセット操作などによりディスク確認中です。完了まで10分以上かかる場合があります。」のメッセージが表示されることがあります。このようなときは、表示が消えるまでお待ちください。	— 64 27 27
リモコン	本機のリモコンで操作すると、他のDVD機器（当社製）やテレビも動作してしまう	・他のDVD機器（当社製）の場合は、本機のリモコン番号を切り換えてください。 ・リモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコンにより誤動作するものがあります。本機と離れてご使用ください。	33 —
	本機のリモコンでテレビの操作ができない	・リモコンに、テレビのメーカー指定の設定をしてください。	32
電源について	電源が入らない	・電源ボタンは、本体表示部の「WRI」が消えてから押してください。 ・電源プラグがコンセントに差し込まれている場合は、いったん電源プラグを抜き、約1分後にもう一度電源プラグを差し込んでから、電源を「入」にしてください。それでも直らない場合は、本機をリセット（上記）してください。	71 27
	電源が勝手に入る	・本機の機能を向上させるためのソフトウェアの更新（ダウンロードサービス）やチャンネル更新情報の取得を電波を通して実行しているときは、本機の電源が入り冷却ファンが回転します。本体表示部に「JL」の表示が出ます。	37
	電源が切れているのに本体表示部に「JL」、「DATA」、「PGUIE」の表示が出る	・放送局との通信中は本機の電源が入り、冷却ファンが回転します。本体表示部に「JL」の表示が出ます。	37
		・電子番組表データの取得中は本機の電源が入り冷却ファンが回転します。本体表示部に「PGUIE」の表示が出ます。	37
	電源が切れる	・「無操作オフ設定」が「する」に設定されていませんか。「する」に設定したときは、無操作状態（放送視聴状態）が3時間続くと自動的に電源が切れます。 ・「ファミリンク設定」を「する」にしている場合、ファミリンク対応のテレビの電源を切ると、本機の電源も切れます。	「取扱説明ガイド」 「取扱説明ガイド」
	クイック起動が設定されているのに電源がすぐに入らない	・クイック起動が設定されている状態でダウンロードサービスを行うとき、ダウンロードサービスを開始する5分前になると、一時的にクイック起動設定を解除します。そのため、すぐに電源が入らない場合があります。 ・クイック起動設定を「する（時間指定）」にしているときは、指定した時間帯以外はクイック起動が解除されます。	— 28 「取扱説明ガイド」

故障かな？と思ったら

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
画面が映らない／音が出ない	スピーカーから音が出ない、音が歪む	・一時停止またはスロー再生／早送り／早戻し中は、音声が出ません。 ・再生可能なディスクが確かめてください。 ・HDMI ケーブルが抜けかかっていませんか。テレビと本機の電源を切り、HDMI ケーブルの接続を確認してください。 ・DTS 収録の DVD 音声は、HDMI 出力端子から出力されます。本機の HDMI 出力端子を DTS 対応アンプまたはデコーダーとデジタル接続してください。	54～55 「取扱説明ガイド」 21 23
	2つの音が混ざって聞こえる	・音声切換が間違っていないですか。リモコンふた内の 音声切換 を押し、音声を切り換えます。	「取扱説明ガイド」
	音声切り換わらない	・ステレオ音声やモノラル音声は、音声切り換わりません。 ・本機がビットストリーム (AAC) 出力状態のときは、モノラル二重音声の音声切換ができません。テレビ側で音声を切り換えてください。 ・本機で切換操作をしたいときは、「音声出力設定」を「PCM (サラウンド)」に設定してください。出力される音声は「PCM (ステレオ)」音声となります。	— 「取扱説明ガイド」
映像が正常に映らない	画面の上下左右に黒い帯が出る (HDMI ケーブルで接続している場合)	・4:3 の放送を DR 以外の画質で録画したときは、テレビで見た映像と異なって見える場合があります。そのようなときは、テレビの画面サイズを変更してください。	—
	画面に四角のノイズが出る	・デジタル画像圧縮技術の特性上、動きの速い場面などでブロック状の画像が目立つことがあります。 ・電波状態が悪い場合や、電波が乱れている場合などでは、ブロック状の画像が目立つことがあります。	— —
	受信状態が悪く、映像が乱れる (正常に見えない)	・アンテナケーブルがきちんと接続されているか確認してください。 ・BS・110 度 CS 放送用アンテナの向きを調整してください。 ・アクトビラ、TSUTAYA TV は回線の使用状況や諸条件 (ノイズなど) によって通信速度が低下し、画像の乱れや停止などが発生することがあります。 ・無線 LAN でアクトビラ、TSUTAYA TV、スカパー！プレミアムサービスチューナーまたは LAN 接続の CATV デジタルセットトップボックスと通信しているときは、電波干渉や障害物などの影響で映像が乱れる場合があります。そのようなときは、有線 LAN 接続を行ってください。	16～18 「取扱説明ガイド」 「取扱説明ガイド」
	映像が停止する	・本機に衝撃や振動を与えませんでしたか。不安定な場所で使用していませんか。衝撃や振動を感知すると停止します。 ・HDD (ハードディスク) や BD (ブルーレイディスク) の特性上、ごくまれに画像が乱れることがありますが、故障ではありません。 ・電波状態が悪くなっていませんか。	— — 「取扱説明ガイド」
	3D 映像が 2D 再生になる	・「ホーム」－「設定」－「録画・再生設定」－「BD/DVD 再生設定」－「3D 切換設定」で「オート」に設定してください。 ・早送り、早戻し中は 2D 再生となります。 ・接続しているテレビは 3D 対応のテレビですか。	「取扱説明ガイド」 「取扱説明ガイド」 —
本体の音／動作	電源を「切」にしたのに動作音がある	・録画予約、ダウンロード、番組表情報取得、B-CAS カード内の契約情報の更新などを実行しているときは本体内部の電源が入っているため、動作音 (冷却ファンが回転) がします。本体表示部に「POWER」「PGU」「LED」などが表示されます。 ・クイック起動待機中は本体内部の電源が入っているため、動作音 (冷却ファンが回転) がします。 ・電源を切った後、数分間は本体の電源が入った状態となります。	11、37 「取扱説明ガイド」
	ディスクトレイを閉めても出てきてしまう	・再生できるディスクかどうか、確認してください。 ・表と裏を間違えていませんか。 ・録画されていない DVD-RAM を挿入していませんか。	「取扱説明ガイド」 49 —
	ディスクトレイが出ない	・ダビング画面または消去画面を表示させていませんか。画面を終了させてから操作してください。 ・本体のリセットボタンを押して本機をリセットしてください。本体表示部に「RESET」が表示されます。電源が切れ、待機ランプが点灯してから、トレイ開／閉ボタンを押し電源を入れてください。	56、 「取扱説明ガイド」 64、67

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
本体の音／動作（つづき）	何も操作していないのに音がする	・電源が入った状態で一定時間何も操作していないとき、HDD（ハードディスク）の動作音がする場合があります。	—
	電源を切った後、時計表示が出ない	・初期設定や「ホーム」→「設定」→「本体設定」で「時計表示／本体ランプ設定」→「時計表示設定」を「する」に設定してください。 ・電源を切った後、電子番組表データの取得中、Gガイドからの情報取得中は、時計表示を約1分間表示した後「PGUIE」表示に切り換わります。 放送局との通信中は「JRTT」と表示されます。時計は表示されません。	「取扱説明ガイド」 37
	電源を入ると「アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでBS/CS電源を「切」にしました。」のメッセージが出て操作できない	・メッセージが出て放送が受信できるときは、終了ボタンを押し、「BS・CS デジタル」→「アンテナ電源設定」を「切」に設定してください。 ・メッセージが出て放送が受信できないときは、電源を切り、アンテナ線の接続を確認してください。	「取扱説明ガイド」 16～18
録画	録画が中断されている	・同じ録画先に連続した番組が予約設定されたときは、次の予約の録画準備のため、前の番組の最後が数十秒録画されません。	「取扱説明ガイド」
	録画ができない、録画が途中で止まる	・内蔵／増設HDD、BDの残量は足りていますか。残量を確認してください。 ・内蔵／増設HDD、BD内に記録できるタイトル数やチャプター数は制限を超えていませんか。（制限について詳しくは80ページをご覧ください。） タイトル結合や録画の状態により、HDDやBDの管理情報が変化し、録画できるタイトル数が少なくなる場合があります。このようなときには、管理情報が上限を超えている、または、管理情報が一杯であることをお知らせするメッセージが表示されます。 ・録画や編集、ダビング操作を行ったときは、不要なタイトルを消去してください。 ・録画を始めた状態、録画中の状態をご確認ください。 ・再生中は、録画の操作ができません。 ・録画中に電源プラグを抜いてしまったり、停電になったりしませんでしたか。 ・録画が禁止された映像は録画できません。 ・デジタル放送は、電波状態が悪い場合は録画できません。	「取扱説明ガイド」 56 —
	自動録画したタイトルが消えている	・自動録画したタイトルは、内蔵HDDの容量が少なくなると、自動消去されます。 T3800 T2800 T1800 W2800 W1800 W580 ・ドラ丸録画されたタイトルは、録画日から4週間経過すると自動消去されます。	「取扱説明ガイド」 「取扱説明ガイド」
	地上デジタル放送やBS・110度CSデジタル放送の電子番組表が表示されない	・「番組表取得設定」を「する」に設定し、取得したい時刻を設定してください。その後電源「切」の状態、設定した時刻から15分～90分程度取得動作をします。 ・電子番組表で「番組データがありません。放送局を選び〔番組情報〕ボタンで番組表を更新してください。」と表示された放送局があるときは、その放送局の欄を選んで「番組情報」を押します。番組表が自動で更新されます。その放送局を2分程度受信しても電子番組表が更新されます。	「取扱説明ガイド」 「取扱説明ガイド」
予約録画	予約ができない	・番組予約の合計が130番組（ドラ丸、番組表予約、日時指定予約、休止中の予約を含む）になっているときは、録画予約ができません。このときは「ドラ丸リスト」「予約リスト」で不要な予約を取り消してください。	「取扱説明ガイド」
	予約録画の開始・終了時刻が微妙にずれる	・同じ録画先に連続した予約が設定されている場合、次の番組の先頭から録画を開始するため、前の番組は予約録画終了時刻よりも早く録画が終了します。 ・番組の頭切れ防止のため、設定した時刻より数秒早く録画が始まります。	「取扱説明ガイド」 —

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
予約録画（じゅき）	予約したのに録画されていない、途中で切れている ・録画開始時刻に下記の状態であった場合は、録画されません。 ・録画画質変換ダビング中（録画開始時刻から5分前までに、操作を終えてください。） ・予約待機中／録画中に停電がありませんでしたか。録画中に電波状態が悪くなったり停電などで録画が中断された場合は、その番組が正常に録画できません。 ・録画先の残量は十分でしたか。残量が少ない場合、不要なタイトル（録画した番組）を消去してください。 ・放送時間に変更されていませんか。 ・番組が延長されていませんか。 ・途中から録画禁止の番組が始まったときなどは、録画は中断されます。 ・予約した番組の前の番組が時間延長になりませんでしたか。予約を開始しようとしたときに、放送局から送られてくる番組の開始時刻の情報が正しく更新されていない場合があります。この場合は予約が失敗となります。日時指定予約の場合、前の番組が延長しそうなときは最大延長時間を加味し、予約することをおすすめします。	— 56 「取扱説明ガイド」
	「番組延長設定」をしたのに、途中で番組が終わっている ・デジタル放送の場合、放送局から番組延長の情報が送られてこないで番組延長機能が動きません。	—
	BS デジタル放送のデータ放送が記録されていない ・データ放送（ラジオ放送）は記録できません。	—
	予約録画した番組が複数のタイトルに分かれてしまう ・録画中に停電となり録画が停止した後、停電復帰により録画が再開されたタイトルは別タイトルとして録画される場合があります。 ・一つのタイトルにしたいときは、編集のタイトル結合を行います。 ・お引越しダビング（ネットワーク機器からダビング）したタイトルは結合できません。ダビング元の機器で結合してください。 ・放送局のイベントリレーサービスがある番組は、延長「入」で予約録画していると自動的に別のタイトルとして録画されます。	「取扱説明ガイド」 — —
	予約録画していないのに勝手にドラマなどが録画されてしまう T3800 T2800 T1800 W2800 W1800 W580 ・「ドラ丸」が設定されていませんか。録画リストを表示し、「ドラ丸」の表示がある番組は「ドラ丸」で自動録画された番組です。	「取扱説明ガイド」
再生	ディスクの再生で音飛びしたり、画像が乱れる ・ディスクの記録面に傷や汚れ（指紋）が無いかわかるようにご確認ください。ディスクに汚れ（指紋）が付着しているときは汚れを落としてください。 ・ディスクの読み取り部分にゴミやほこりがたまると、音飛びしたり画像が乱れて見える場合があります。	66 66
	市販のBD ビデオやDVD ビデオを再生すると音量が小さくなる ・BDビデオやDVDビデオは、収録されている音声の音量レベルにより、再生時の音量が小さくなる場合があります。 ・ドルビーデジタルで音声を収録したディスクの場合は、「音声出力レベル」を「シフト」に設定することで音量を大きくすることができます。（DTS、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHDで音声を収録したディスクでは動きません。） T3800 ・「ホーム」－「設定」－「映像・音声設定」－「映像・音声出力設定」－「ドルビーボリューム設定」で音量の差異を調整してください。	「取扱説明ガイド」 「取扱説明ガイド」
	録画リスト（録画番組一覧）が表示されない ・本機をリセットしてください。 ・上記を確認しても表示されない場合は、HDD（ハードディスク）の異常が考えられます。お買い上げの販売店、またはお客様相談窓口にご連絡ください。	64, 67 73
	録画リストのタイトル名に「*」が表示される ・視聴年齢制限を設定しているとき、年齢制限されている番組は、「****」と表示されます。	「取扱説明ガイド」
	録画リストに「2 倍」や「XP」などの画質表示が出ない ・DVDディスクの場合、ディスクをトレイから取り出すと画質表示は出なくなります。 ・LAN 接続でスカパー！プレミアムサービスを録画した番組は、画質表示が出ません。	— —

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
再生 (ついで)	録画した最後の数秒間が再生されない	— —
	静止画再生／コマ送り再生がうまくいかない	— — —
	早送り／早戻し (サーチ) がうまくいかない	— —
	スロー再生がうまくいかない	—
	再生できないタイトルがある	— — 「取扱説明ガイド」
	「ホーム」を押してもホーム画面が表示されない 本体表示部には「MENU (メニュー)」と表示されるのに、テレビ画面にはホームメニューが表示されない	— — —
その他	使用中に本体が熱くなる	— 「取扱説明ガイド」
	かんたんメニューが表示されない	62
	取扱説明ガイドが表示できない	60

参照先として記載されている「取扱説明ガイド」は、「ホーム」メニューの「取扱説明」でご確認ください。

エラーメッセージ (例)

ディスクが正しくなかったり操作を誤ったときは、本体表示部やテレビ画面に次のような表示が出ます。

本体表示部

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
表示: WAIT	・ 本体システム準備中です。「WAIT」表示中は電源が入りませんので、消えるまでお待ちください。	37
表示: ERR	・ 動作不具合が発生しました。一度、電源を「切」にし再度電源を入れ操作してください。	—
表示: RC :1 RC :2 RC :3	・ 本体のリモコン番号とリモコンの番号が違っています。本体表示部に点滅表示されるリモコン番号に、リモコンの番号を設定し直してください。	33
表示: RC :—	・ リモコンのテレビ／レコーダー切換スイッチが「テレビを使う」になっています。レコーダーを操作する場合は、「レコーダーを使う」に切り換えて操作してください。 ・ アクオスのリモコンを操作している場合にも、信号を受信して表示される場合があります。	42 —

保証とアフターサービス

保証書（別添）

- 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- **保証期間**
お買いあげの日から 1 年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料等や、出張修理を行なった場合の出張料は、保証期間中でもお客様の負担となります。

使い方や修理のご相談など

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはシャープお客様相談センターにお問い合わせください。（→ **73** ページ）

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、ブルーレイディスクレコーダーの補修用性能部品を、製品の製造打切後 8 年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは < 持込修理 >

- 「故障かな？と思ったら」（→ **64** ページ）や「故障診断」（→ **74** ページ）を調べてください。
- SHARP オンラインサポートページの「Q&A よくあるご質問」や「故障診断ナビ」でも確認できます。

SHARP オンラインサポート：<http://www.sharp.co.jp/support/>

- それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

便利メモ

お客様へ…
お買い上げ日・販売店名を記入されると便利です。

お買い上げ日	販売店名
年 月 日	電話（ ） —

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

愛情点検



長年で使用のレコーダーの点検を！
こんな症状はありませんか？
・電源コードやプラグが異常に熱い。
・映像が乱れたり、きれいに映らない。
・その他の異常や故障がある。

以上のような症状のときは、スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口へアクセスしてください。
ファクシミリ送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。



いつでも便利なWebサービス【シャープ オンラインサポート】

ご質問、お困りごとは、気軽にアクセス、しっかりアシスト!

オンラインサポート トップページ



<http://www.sharp.co.jp/support/>

シャープ お問い合わせ 検索

スマートフォンからでもご利用いただけます。

■取説に掲載のQRコードから誘導されるサイトについてご注意事項があります。本書の裏表紙をご確認ください

■製品の「よくあるご質問」への回答を24時間音声ガイダンスでご案内(電話オペレーターにはつながりません)
自動音声案内 フリーダイヤル (携帯電話からでもご利用いただけます)

0120-001-252

引き取り修理のご依頼、進捗確認も24時間サポート

インターネットから修理のお申し込み



<http://www.sharp.co.jp/support/repair.html>

シャープ 修理相談 検索

スマートフォンからでもご利用いただけます。



AV機器訪問サポートのご案内 ……「使いかたが判らない」、「機器の接続が苦手」などのお客様に、 有料の訪問サポートをご用意しています。

サービス名	対象機種	価格 ^{※4}	内 容
使いかたレッスン ^{※1}	ブルーレイ機器全般	10,000円+税/訪問	ブルーレイレコーダーの基本操作をお教え致します。(1時間レッスン) ^{※3}
インターネット接続サービス ^{※1}	ブルーレイ機器全般	10,000円+税/訪問	インターネット機能付き製品のインターネット接続・設定を行ないます。
周辺機器接続サービス ^{※2}	ブルーレイ機器全般	8,000円+税/訪問	AQUOSと接続、AQUOSオーディオ機器との接続を行ないます。

※1 シャープ製品に限り。 ※2 他社製品との接続も承ります。 ※3 30分レッスンも承ります。(最大1時間まで)

※4 価格は2014年4月のもので変更する場合があります。

お申込み・お問い合わせは
シャープエンジニアリング訪問サポートセンター

フリーダイヤル

0120-565-506

受付時間 (日曜日・祝日・当社指定休日を除く)

●月曜～土曜：9:00～17:45

- 本サポートのご提供は、シャープの国内サービス会社 シャープエンジニアリング株式会社(沖縄地区:沖縄シャープ電機株式会社)、またはシャープの国内サービス会社が選定したサービス提供会社が実施いたします。
- 本サポートの実施にあたり、別途必要となる周辺機器(無線LANルーターなど)および部品に関する費用、インターネット接続料金はお客様負担となります。インターネットの接続には、別途回線業者やプロバイダーとの契約が必要です。
- 本サポートは、予告なく中止または内容を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

●お電話は番号をよくお確かめのうえ、お間違いないようにおかけください。 ●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2015.8)

修理のご相談など (おかけ間違いのないようご注意ください。)

- ・修理のご相談、ご依頼などはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ・下記の窓口でもご相談を承っております。

持込修理および部品購入のご相談は、下記地区別窓口(サービスセンター/テクニカルセンター)でも承っております。

受付時間 (祝日など弊社休日を除く) ●月曜～土曜：9:00～17:40 ただし、沖縄地区は月曜～金曜：9:00～17:40

北海道 ●札幌 011-641-4685 〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条7-3-17	関東 ●横浜 045-753-4647 〒235-0036 横浜市磯子区中原1-2-23	中部 ●名古屋 052-332-2623 〒464-0011 名古屋市中川区山王3-5-5	近畿 ●大阪 06-6794-5611 〒547-8510 大阪市平野区加美南3-8-25	中国 ●広島 082-874-8149 〒731-0113 広島市安佐南区西原2-13-4	四国 ●高松 087-823-4901 〒760-0065 高松市朝日町6-2-8	九州 ●福岡 092-572-4652 〒812-0881 福岡市博多区井田2-12-1	沖縄 ●那覇 098-861-0866 〒900-0002 那覇市隣2-10-1
東北 ●仙台 022-288-9142 〒984-0002 仙台市若林区御前町3-1-27	中部 ●静岡 054-344-5781 〒424-0067 静岡市清水区島坂1170-1	中部 ●金沢 076-249-2434 〒921-8801 野々市市御経路4-103	中部 ●京都 075-672-2378 〒601-8102 京都市南区上鳥羽西町48	中部 ●阪神 06-6422-0455 〒661-0981 尼崎市播磨寺3-2-10	中部 ●那覇 098-861-0866 〒900-0002 那覇市隣2-10-1	中部 ●那覇 098-861-0866 〒900-0002 那覇市隣2-10-1	中部 ●那覇 098-861-0866 〒900-0002 那覇市隣2-10-1
関東 ●宇都宮 028-637-1179 〒320-0833 宇都宮市不動前4-2-41	関東 ●東京 03-5855-0432 〒114-0012 北区田端新町2-2-12	中部 ●名古屋 052-332-2623 〒464-0011 名古屋市中川区山王3-5-5	中部 ●京都 075-672-2378 〒601-8102 京都市南区上鳥羽西町48	中部 ●阪神 06-6422-0455 〒661-0981 尼崎市播磨寺3-2-10	中部 ●那覇 098-861-0866 〒900-0002 那覇市隣2-10-1	中部 ●那覇 098-861-0866 〒900-0002 那覇市隣2-10-1	中部 ●那覇 098-861-0866 〒900-0002 那覇市隣2-10-1

「宅配業者引き取りサービス」のご案内

※サービスエリア：日本国内地域。ただし、沖縄県を除く。

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル

0120-001-251

携帯電話からは、ナビダイヤル

0570-550-113

ご転居やご贈答品などで、お買いあげの販売店に修理が依頼できない場合や、上記窓口にお持ち込みできない場合に、お電話で依頼いただきます。当社指定の宅配業者がお客様の都合の良い日時にご自宅に訪問しての預かりし、弊社で修理完了後ご自宅までお届けするサービスです。

■ご利用料金：当「宅配業者引き取りサービス」のご利用は保証期間内・外共に有料です。 往復運送費+梱包資材費+代引き手数料がかかります。

※修理料金は、保証期間内は保証書記載の「保証規定」に準じます。また、保証期間外は有料です。

■お引き取りの時間は次の時間帯よりお選びいただけます。

午前中 | 12:00～14:00 | 14:00～16:00 | 16:00～18:00 | 18:00～21:00

※交通事情などの理由により、ご指定の時間にお伺いできない場合がございます。

■ご贈答品などでお買い上げの販売店がわからないときは

※当社では、確実なお客様対応のため、フリーダイヤル・ナビダイヤルサービスをご利用のお客様に「発信者番号通知」をお願いしています。発信者番号を非通知に設定されている場合は、番号の最初に「186」をつけておかけください。

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル

0120-001-251

携帯電話からは、ナビダイヤル

0570-550-113

■フリーダイヤル・ナビダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話	FAX
043-331-1626	06-6792-5993
〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72	

受付時間 (年末年始を除く) ●月曜～土曜：9:00～18:00 ●日曜・祝日：9:00～17:00

修理をご依頼する前に（故障診断）

- ・本機は持込修理対象製品です。持ち込む前につぎの項目をお確かめください。また、「故障かな？と思ったら」→ **64** ページも合わせてご確認ください。
- ・SHARP オンラインサポートページ <<http://www.sharp.co.jp/support/>> の「故障診断ナビ」でも確認できます。

□電源が入らない

本体表示部に「WA I T」表示が出ていませんか。

⇒表示が消えてから操作してください----- **27、42 ページ**

「WA I T」表示が消えない、表示が消えても電源が入らないときは。

⇒リセット操作を行なってください----- **64、67 ページ**

□リモコンで操作できない

リモコンの乾電池は消耗していませんか。

⇒リモコンの電池は正しくセットされていますか----- **15 ページ**

テレビの入力はレコーダーを接続した入力「入力 1 など」に切り換えていますか。

⇒詳しくは「テレビと本機の準備」をご覧ください----- **42 ページ**

⇒テレビ/レコーダー切換スイッチは「レコーダーを使う」側にスライドさせていますか----- **38、40 ページ**

本体表示部に「RC : 1/ RC : 2/ RC : 3」が点滅表示されていませんか。

「RC : 1/ RC : 2/ RC : 3」点滅表示されるときは、リモコン番号が違います。

⇒点滅している番号にリモコン側のリモコン番号を合わせてください----- **33 ページ**

□ディスクトレイを閉めても出てきても再生ができない

ディスクに傷や汚れが無いが確認してください。

⇒ディスクのお手入れは「ディスクの入れかた・出しかた」をご覧ください----- **49 ページ**

本機で使用可能なディスクが確認してください。

⇒「本機で使えるディスクについて」をご確認ください----- **「取扱説明ガイド」**

BD / DVDモードに切り換えていますか。

⇒BD / DVDへの切り換え操作----- **51、52 ページ**

他のディスクは再生できますか。他のディスクが再生できたときは、再生できないディスクの不良が考えられます。

□ディスクトレイが出てこない / ディスクが取り出せない

ディスクへの録画中 / ダビング中はディスクが取り出せません。動作を停止させてから操作してください。

ディスクトレイが開かず、ディスクが取り出せないときは。

⇒「ディスクが取り出せないときは」をご覧ください----- **66 ページ**

□電源を切ったのに本体表示部に「PGU I D E」、「DATA」などの表示が出て電源が切れない

電源を切った後や、電源「切」状態のとき、番組情報を取得したり、B-CASカード内の契約情報を更新するなど、放送局と通信を行なう場合があります。通信中は内部電源が入った状態となります。

⇒表示が消えるまでお待ちください。表示が消えなくても電源を入れて操作は行えます----- **11、37 ページ**

□HDD ランプの点滅が止まらない

起動中 / ハードディスク準備中です。そのまま点灯するまで（10 分程度）お待ちください。

⇒10 分程度待っても点滅が止まらないときはリセット操作を行ってください----- **64、67 ページ**

□映像や音が出ない

テレビの入力は本機を接続した入力に切り換えていますか。

HDMI ケーブル / アンテナケーブルが抜けかかっていたり、誤った接続をしていますか。

⇒アンテナ線 / HDMI ケーブルの接続を確認してください。----- **16 ~ 25 ページ**

⇒電源を切り HDMI ケーブルを抜き、再度入れ直してください----- **21 ページ**

⇒上記を行っても改善されないときはリセット操作を行ってください----- **64、67 ページ**

□メッセージが出る

⇒エラーメッセージについてをご覧ください----- **71 ページ**

□番組表が表示されない / 歯抜け状態で予約ができない

予約したいチャンネルを 10 秒程度受信してください。番組情報を取得します。

⇒「電子番組表（G ガイド）が表示されないチャンネルがあるとき」をご覧ください----- **46 ページ**

修理をご依頼されるときは

- 修理のご依頼時に当ページをコピーし、必要事項をご記入いただいたうえ、保証書とともにご持参（同封）頂きますと、スムーズな受付が行なえますのでご協力をお願い申し上げます。
- ご購入いただいた販売店等で保証期間を延長されている場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■商品情報（☐ボックスにチェック「レ」を入れてください。）

1. 機種名：☐BD-T 3800 ☐BD-T 2800 ☐BD-T 1800 ☐BD-W 2800 ☐BD-W 1800/W1800W
☐BD-W 580 ☐BD-S 580

2. 保証期間（お買い上げ日から 1 年間です）：☐保証期間内 ☐保証期間を過ぎている（有償）

見積もりについて：☐必要 ☐不要

☐10,000 円以上の場合、連絡必要 ☐20,000 円以上の場合、連絡必要

3. 修理品と一緒に預かりするもの

本体付属品：☐リモコン ☐B-CAS カード ☐電源コード その他（☐ ）

不具合サンプル：☐BD/DVD ソフト ☐BD-RE ☐BD-R ☐DVD-RW ☐DVD-R

その他：☐アンテナケーブル ☐映像ケーブル（HDMI ケーブル等）☐LAN ケーブル

☐USB ケーブル ☐SHDD ☐外付け HDD(USB-HDD)

4. 故障の内容：

☐電源が入らない ☐リモコンが働かない ☐ディスクが取り出せない ☐本機の映像や音が出ない

☐ディスクの再生ができない ☐録画ができない ☐ハードディスクに録画した番組が再生できない

☐エラーメッセージが出て操作できない

表示されるエラーメッセージ（☐ ）

☐その他 症状をお書きください

5. 故障の発生頻度（あてはまる内容は全てチェックください）

☐常時 ☐時々（ 週 / 毎日 回程度）☐電源入 / 切時 ☐ダビング時 ☐編集時 ☐録画時

☐特定ディスク再生時 ☐特定操作時（具体的な操作：☐ ）

■お客様情報

お客様名 (フリガナ)	様
屋間連絡先	電話番号： (☐ 自宅 ☐ 携帯電話 ☐ 勤務先 ☐ その他)
ご住所	〒

■「同意書」(裏面) もご確認いただき、ご記入頂きます様お願い致します。

同意書

お客様の修理依頼品のデータのお取り扱いについて

1. シャープエンジニアリング株式会社（以下当社といいます）ではお客様の修理依頼品について、必要に応じて担当者が記憶装置内のお客様データ、プログラムまたはソフトウェア（以下データ等といいます）にアクセスします。但し、当社ではデータ等のバックアップはいたしません。
2. 修理依頼品についてデータ等を初期化させていただく場合があります。初期化により記憶装置内のデータ等は全て消去されます。消去したデータは元に戻せませんので、修理を依頼される前に必ずお客様でデータ等を別の媒体にバックアップして頂きます様をお願いします。
3. 修理中にデータ等が消失する場合があります。データ等の消失が当社の故意または過失より生じた場合を除き、それにより生じた損害につきましては責任を負いかねますので予めご了承ください。尚、当社の過失による場合であっても当社が賠償する損害は、データ等の消失によりお客様に生じた通常の損害に限り、特別の損害は含まないものといたします。
4. 修理後、万一何らかの理由によりデータ等が記憶（記録）されなかったことによる損失につきましては、当該損失が当社の故意または過失により生じた場合を除き、当社は責任を負いかねますので予めご了承ください。尚、当社の過失による場合であっても当社が賠償する損害は、データ等が記憶（記録）されなかったことにより、お客様に生じた通常の損害に限り、特別の損害は含まないものといたします。
5. 当社では環境への配慮のため、再生部品を使用することがあります。
6. 交換した部品はお客様から特段のお申し出が無い限り、当社の所有物とさせていただきますが、回収した部品に含まれるデータ等は直ちに初期化します。
7. 当社よりご連絡後 3 ヶ月以上経過してお引取りいただけない場合には、お預り商品の所有権を放棄されたものとして当社で処分させていただきます。また、お客様が何らかの事情により当社からの連絡を受けられなかった場合であっても、お預り日より 6 ヶ月以上経過した場合は、前記同様当社で処分させていただきます。なお、処分にあたり家電リサイクル法に該当する商品の場合は、別途リサイクル料を請求させていただきますので、あらかじめご了承ください。

■ 以上の「お客様の修理依頼品のデータのお取り扱いについて」に対するご理解とご同意をお願い致します。
ご同意いただけない場合、修理をお受けできない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

☐ にチェックをお願いします。

☐ 同意する

☐ 同意しない

■ お客様のご署名をお願いします。

ご署名

■個人情報のお取り扱いについて

お客様よりご提供いただく、お客様の氏名、住所、電話番号など、お客様個人を特定することのできる情報（以下、「個人情報」といいます）を次の目的に利用させていただきます。

- ・ 家電製品、業務用機器等の修理、配送、取付、設置工事、保守メンテナンスサービスのご提供
- ・ 修理サービス提供後の電話その他の方法による調子のご確認

※個人情報のご提供はお客様の任意です。個人情報をご提供いただけない場合「見積り連絡」や「完了報告」等の業務上必要な諸連絡ができず、ご依頼いただいたサービスの提供ができない場合がありますので、予めご了承くださいますようお願いいたします。

※当社は、業務委託により収集し、または預託を受けた個人情報については、受託した業務の範囲でのみ利用いたします。

本機の取り外しとテレビへのアンテナ接続

修理のため本機を取り外した後は、テレビで放送を視聴するため、つぎのようにアンテナを接続してください。

アンテナ線や映像ケーブルの取り外しかたや、修理完了後の取り付けかたがわからないときは、「お客様ご相談窓口のご案内」(→ 73 ページ) にお問い合わせください。

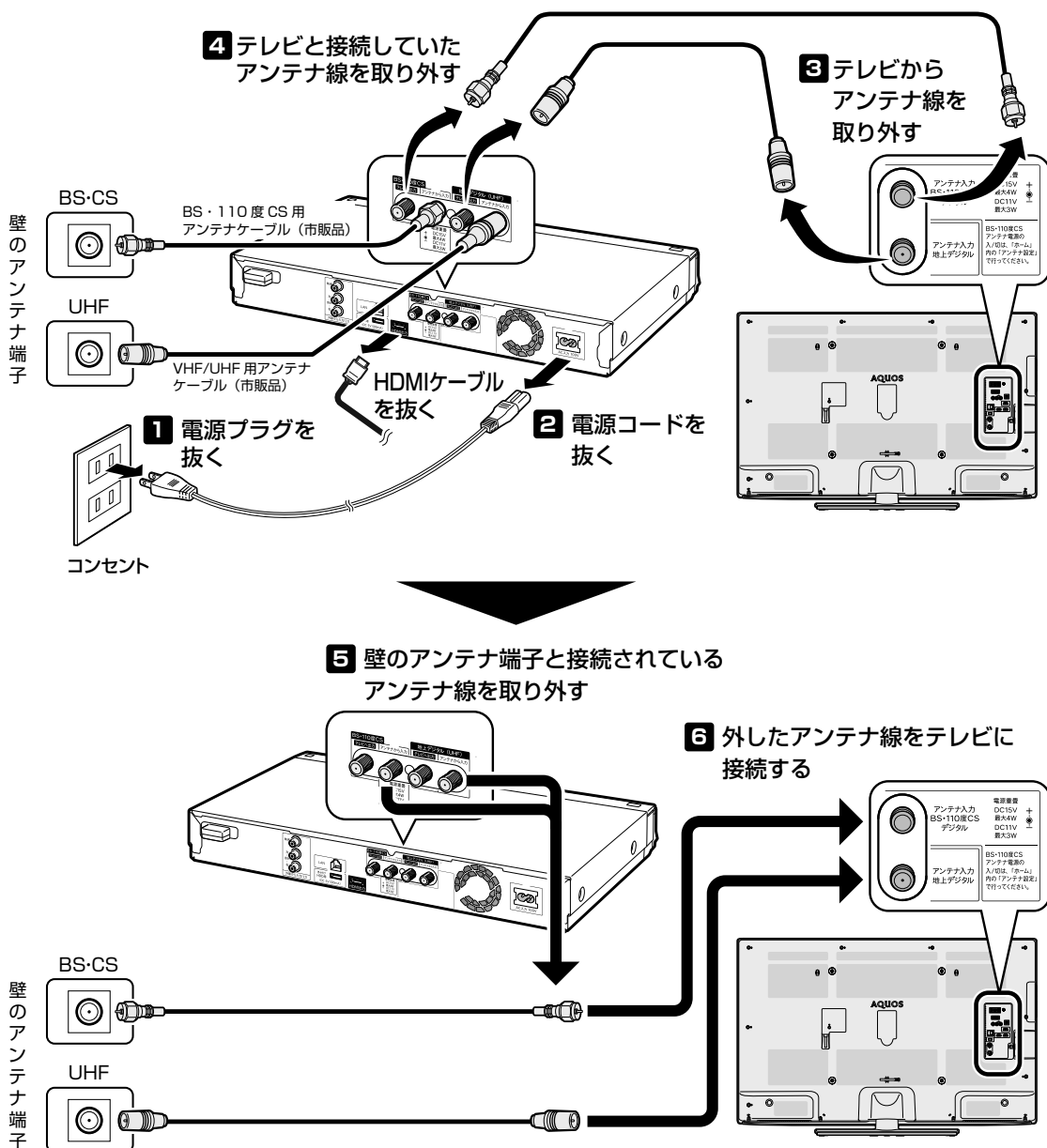
もくじ／ご注意

本機を使うための準備

ふだんの使いかた

故障かな？と思ったら

お役立ち情報（仕様など）



■テレビ放送が映るか確認してください。

BS デジタル / 110 度 CS デジタル放送が映らないときはテレビの BS アンテナ電源を確認してください。テレビの BS アンテナ電源設定はテレビの取扱説明書をご覧ください。

仕様

品名			ブルーレイディスクレコーダー						
形名			BD-S580	BD-W580	BD-W1800 BD-W1800W	BD-T1800	BD-W2800	BD-T2800	BD-T3800
一般	ハードディスク容量		500GB (ギガバイト)		1TB (テラバイト)		2TB (テラバイト)		3TB(テラバイト)
	電源電圧		AC 100V、50/60 Hz						
	外形寸法		幅 430、奥行 236、高さ 58 (mm) (突起部を除く)						
	本体質量		約 2.7 kg		約 3.1kg		約 3.3 kg		約 3.5 kg
	使用温度範囲		+ 5℃～+ 35℃						
	使用湿度範囲		10%～ 80% (結露なきこと)						
	動作姿勢		水平						
記録	録画可能ディスク※ ¹		BD-RE SL(1層)Ver. 2.1、BD-RE DL(2層)Ver. 2.1、BD-RE XL(3層)Ver. 3.0、 BD-R SL(1層)Ver.1.1/1.2/1.2LTH TYPE/Ver.1.3/1.3LTH TYPE BD-R DL(2層)Ver.1.1/1.2/1.3、BD-R XL(3層/4層)Ver. 2.0、 DVD-RW、DVD-R、DVD-R DL(2層)						
	記録圧縮方式 (HDD・BD)	映像 音声	MPEG2、MPEG4 AVC/H.264 MPEG2 AAC、ドルビーデジタル (2ch)						
	記録圧縮方式 (DVD-RW/-R)	映像 音声	MPEG2 ドルビーデジタル (2ch)						
	録画時間※ ² (HDD)	BS/CSハイビジョン画質	約 44 時間		約 89 時間		約 180 時間		約 270 時間
		地上Dハイビジョン画質	約 62 時間		約 126 時間		約 254 時間		約 382 時間
		標準画質	約 88 時間		約 179 時間		約 360 時間		約 541 時間
		連続録画可能時間	最大 12 時間						
	録画時間※ ² (BD-RE : 25GB 時) (2 層 50GB、3 層 100GB 時の記録時 間は⇒「ホーム」メ ニューの「取扱説明」 をご覧ください。)	BS/CSハイビジョン画質	約 2 時間 10 分						
		地上Dハイビジョン画質	約 3 時間 00 分						
		標準画質	約 4 時間 20 分						
録画時間※ ² (DVD-RW/-R: 4.7GB 時)	XP	約 1 時間							
	SP	約 2 時間							
	LP	約 4 時間							
再生	再生可能ディスク※ ¹		BD-RE SL(1層)Ver. 2.1、BD-RE DL(2層)Ver. 2.1、BD-RE XL(3層)Ver. 3.0、 BD-R SL(1層)Ver.1.1/1.2/1.2LTH TYPE/Ver.1.3/1.3LTH TYPE、 BD-R DL(2層)Ver.1.1/1.2/1.3、BD-R XL(3層/4層)Ver. 2.0、 BDビデオ、DVDビデオ、DVD-RW、DVD-R、DVD-R DL(2層)、 DVD+RW(ビデオフォーマットファイナライズ済)、 DVD+R(ビデオフォーマットファイナライズ済)、DVD-RAM(ケースから取り出せるもの)、 音楽CD、CD-R (音楽CDフォーマット)、CD-RW (音楽CDフォーマット)、 CD-R (JPEGファイル記録)、CD-RW (JPEGファイル記録)						
フ ォ ト シ ス テ ム	保存可能な画像ファイル形式 (JPEG)		JPEG ベースライン DCT 準拠 /JPEG (Exif2.2) DCF 準拠※ ³						
	保存可能なファイルサイズ		容量：最大 20MB (データ送受信端子取り込み時) サイズ：最大縦 4320 ×最大横 7680 (最小縦 32 ×最小横 32)						
	保存可能写真数		10000 枚						
チ ュー ナー	受信チャンネル	BS デジタル	001 ～ 999ch						
		110度CS デジタル	000 ～ 999ch						
		地上デジタル	011 ～ 528ch						
		CATV	C13 ～ C63ch						
タイ マー	予約番組数	本体予約	1 年 130 番組 (HDD/BD) (ドラ丸、予約録画の合計)						
接 続 端 子	映像入力		1 系統 ピンジャック：1 V p-p (75 Ω)						
	音声入力		1 系統 ピンジャック (L/R)：2 V rms (入力インピーダンス 22k Ω以上)						
	データ送受信 (USB 準拠)		1 系統 DC5V 500mA						
	外付け HDD 用端子 (USB 準拠)		1 系統 DC5V 500mA						

形名			BD-S580	BD-W580	BD-W1800 BD-W1800W	BD-T1800	BD-W2800	BD-T2800	BD-T3800
接続端子	HDMI 出力		1 系統						
	BS・110 度 CS アンテナ入出力		入力と出力のそれぞれ 1 系統 75 Ω F 型コネクター						
	地上デジタルアンテナ入出力		入力と出力のそれぞれ 1 系統 75 Ω F 型コネクター						
	LAN		1 系統 (10BASE-T/100BASE-TX)		1 系統 (10BASE-T/100BASE-TX) (無線 LAN ユニット内蔵)				
無線 LAN	無線 LAN インターフェース	準拠規格	—	ARIB STD-T71 (IEEE802.11a) ARIB STD-T66 (IEEE802.11b/g) 小電力データ通信システム規格					
			—	無線 LAN 標準プロトコル IEEE802.11a/IEEE802.11b/IEEE802.11g/IEEE802.11n					
	伝送方式	—	多入力多出力直交周波数分割多重変調 (MIMO-OFDM) 方式 直交周波数分割多重変調 (OFDM) 方式 直接拡散型スペクトラム拡散 (DS-SS) 方式 単信 (半二重)						
		—	IEEE802.11b: 2412 ~ 2472MHz (1 ~ 13ch)、 IEEE802.11g(n): 2412 ~ 2472MHz (1 ~ 13ch)、 IEEE802.11a(n): 5180 ~ 5320MHz,5500 ~ 5700MHz (36/40/44/48/52/56/60/64/100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch)						
	送信周波数範囲 (中心周波数)		—						
	データ転送速度		—	IEEE802.11n a/g: 20MHz Channel<800n sGI> 130/117/104/78/52/39/26/13Mbps (mcs8-15) 65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5Mbps (mcs0-7) IEEE802.11n a/g: 40MHz Channel<800n sGI> 270.0/243.0/216.0/162.0/108.0/81.0/54.0/27.0Mbps (mcs8-15) 135/121.5/108.0/81.0/54.0/40.5/27.0/13.5Mbps (mcs0-7) IEEE802.11n a/g: 40MHz Channel<400n sGI> 300.0/240.0/180.0/120.0/90.0/60.0/30.0Mbps (mcs8-15) 150.0/135.0/120.0/90.0/60.0/45.0/30.0/15.0Mbps (mcs0-7) OFDM 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps DS-SS.CCK 11/5.5/2/1Mbps					
				WPA-PSK (TKIP/AES)、WPA2-PSK (TKIP/AES)、WEP (128/64bit)					
セキュリティ※ ⁴		—							
付属品	リモコン、単3形乾電池 2 個、アンテナケーブル (両側 F 接栓ケーブル)、電源コード、B-CAS カード (B-CAS カード使用許諾契約約款付き)、取扱説明書*、保証書								

※ 1 BD-RE Ver.1.0 は本機では使用できません。(カートリッジタイプのディスクは使用できません。)

※ 2 録画可能時間は目安です。テレビ画面に表示される「残時間」は、きめ細かいシーンの多い映像や動きの多い映像など (ビットレートの高い映像) が録画できる時間の目安です。

実際の録画可能時間は、放送内容によってはテレビ画面に表示される「残時間」よりも長く録画することができます。

録画画質と録画時間について詳しくは、「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。

※ 3 DCF は、(社) 電子技術産業協会 (JEITA) の規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

※ 4 セキュリティが WPA-PSK (TKIP)、WPS2-PSK (TKIP)、WEP (128/64bit) の場合、IEEE802.11n での無線接続は対応していません。

※ 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

もくじ／ご注意

本機を使うための準備

ふだんの使いかた

故障かな? と思ったら

お役立ち情報 (仕様など)

形名	BD-S580	BD-W580	BD-W1800 BD-W1800W	BD-T1800	BD-W2800	BD-T2800	BD-T3800
消費電力※ ¹	約 19W	約 20W	約 25W	約 26W	約 25W	約 26W	約 29W
待機時消費電力※ ¹	クイック起動「する（常時）」および「する（時間指定）」時	約 9.5W	約 11W				約 14W
	クイック起動「する（時間指定）」の指定した時間帯以外	同下					
	クイック起動「しない」時計表示点灯	約 0.6W					
	クイック起動「しない」時計表示消灯	約 0.55W					
	クイック起動「しない」および BS・110 度 CS デジタルアンテナ信号出力設定「しない」およびアッテネーター設定「入」時	約 0.1W					
	エコモード	約 0.02W					
年間消費電力量※ ²	約 20.0kWh/ 年	約 25.6kWh/ 年	約 26.0kWh/ 年	約 25.6kWh/ 年	約 26.0kWh/ 年	約 32.0kWh/ 年	

※ 1 消費電力、待機時消費電力は BS・110 度 CS デジタルアンテナ電源供給「切」時の値です。

※ 2 表示値は、JEITA 基準による算出式をもとに算出した参考値です。

● 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

● 海外では使用できません。このブルーレイディスクレコーダーは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

<This Blu-ray Disc Recorder is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.>

● あなたがテレビ（ラジオ）放送や録画（レコード録音）物などから録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上の権利者に無断で使用できません。

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

■本機で記録できるタイトル／チャプター数

ご注意

タイトル結合や録画の状態により、HDD や BD の管理情報が変化し、録画できるタイトル数が少なくなる場合があります。このようなときには、管理情報が上限を超えている、または、管理情報が一杯であることをお知らせするメッセージが表示されます。

録画や編集、ダビングを行いたいときは不要なタイトルを消去してください。

内蔵 HDD の場合

タイトル数： 3000 タイトル*

チャプター数： 1 タイトルにつき 99 チャプター。合計 40000 チャプター*

※放送番組と動画アルバムの合計です。

SHDD の場合（BD-T3800 のみ）

タイトル数： 999 タイトル

チャプター数： 1 タイトルにつき 99 チャプター。合計 20000 チャプター

外付け HDD の場合

< 通常（録画用）>

タイトル数： 999 タイトル

チャプター数： 1 タイトルにつき 99 チャプター。合計 20000 チャプター

< SeeQVault-HDD >

タイトル数： 3000 タイトル

チャプター数： 1 タイトルにつき 98 チャプター。合計 294000 チャプター

BD の場合

タイトル数： 200 タイトル

チャプター数： 1 タイトルにつき 98 チャプター。合計 1000 チャプター（1 層、2 層）

1 タイトルにつき 98 チャプター。合計 19600 チャプター（3 層）

DVD の場合

タイトル数： 99 タイトル

チャプター数： 1 タイトルにつき 99 チャプター。合計 999 チャプター

本機を廃棄・譲渡するときは

- ・ 本機には、放送局とデータの送受信をするために入力した、お客様の個人情報が記憶されています。本機を廃棄したり、他人に譲渡したりする際には、個人情報の初期化を行い、情報を消去してください。→詳しくは「ホーム」メニューの「取扱説明」をご覧ください。
- ・ 製品を廃棄する場合は、各自治体の指示（条例）に従って処理してください。

登録商標

商標・登録商標など

- 本製品は、ロヴィコーポレーションが保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。リバースエンジニアリングまたは逆アセンブルは禁止されています。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国Rovi Corporationおよび/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- Gガイドは、米国Rovi Corporationおよび/またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
- 米国Rovi Corporationおよびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビー、Dolby Audio及びDolby D記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, DTS-HD, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS-HD Master Audio | Essential is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.
- は商標です。
- "Blu-ray 3D™" および  は、Blu-ray Disc Associationの商標です。
- BDXL** は、Blu-ray Disc Associationの商標です。
- は、Blu-ray Disc Associationの商標です。
- BONUSVIEW** は、Blu-ray Disc Associationの商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- DVD** は DVD フォーマットロゴライセンシング (株) の商標です。
- AVCHD Progressive および AVCHD ロゴは、パナソニック株式会社、ソニー株式会社の商標です。
- スカパー! および「スカパー! プレミアムサービス Link」ロゴは、スカパー J S A T 株式会社の商標です。
- マーク、 および「a c T V i a」、「アクトビラ」は、(株) アクトビラの商標です。
- HDMI と HDMI High - Definition Multimedia Interface 用語および HDMI ロゴは、米国およびその他国々において、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- DLNA®、DLNA ロゴおよび DLNA CERTIFIED® は Digital Living Network Alliance の商標です。
- Cinavia の通告
この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。
Cinavia 技術に関する詳細情報は、<http://www.cinavia.com> の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA までがきを郵送してください。
この製品は Verance Corporation (パテンス・コピーレーション) のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第 7,369,677 号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。Cinavia は Verance Corporation の商標です。
Copyright 2004-2013 Verance Corporation.
すべての権利は Verance が保有しています。リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェア構成

本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア

本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。

また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License (以下、GPL)、GNU Lesser General Public License (以下、LGPL) またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

ソースコードの入手方法

フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。GPL および LGPL も、同様の条件を定めています。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびに GPL、LGPL およびその他のライセンス契約の確認方法については、以下の WEB サイトをご覧ください。
<http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/source/download/index.html>
(シャープ GPL 情報公開サイト)

なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問合わせはご遠慮ください。

また当社が所有権を持つソフトウェアコンポーネントについては、ソースコードの提供対象ではありません。

謝辞

本機には以下のフリーソフトウェアコンポーネントが組み込まれています。

- linux kernel
- uClibc
- OpenSSL
- modutils
- DirectFB
- zlib
- busybox
- bash
- freetype
- libjpeg
- libmpeg2
- libxml2
- libpng
- libsfs
- mtdd/jffs2
- ncurses
- Webkit
- cairo
- icu
- ftk
- curl
- glib
- NanoXML (zlib/libpng licence)
- libav
- pango
- libsoup
- libiconv
- Fontconfig
- liboil
- swfdec
- jpeg
- pixman
- glibc
- pthread
- gststreamer
- gtk+
- libgcrecode
- org.apache.oro.text.regex (Apache licence v2.0)
- Droid Sans Japanese font (Apache licence v2.0)
- Droid Sans Fallback font (Apache licence v2.0)
- Droid Sans font (Apache licence v1.0)
- LibPThread, Libstdc++, Librt (GPL)

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務

本機に組み込まれているソフトウェアコンポーネントには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そうしたソフトウェアコンポーネントのライセンス表示を、以下に掲示します。

OpenSSL License

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org>)
この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。

Original SSLeay License

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

BSD License

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
この製品にはカリフォルニア大学バークレイ校と、その寄与者によって開発されたソフトウェアが含まれています。

cJSON

Copyright © 2009 Dave Gamble

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

この製品では、シャープ株式会社が表示画面で見やすく、読みやすくするように設計した LC フォント (複製禁止) が搭載されています。LC フォント、LCFONT、エルシーフォント及び LC ロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。なお、一部 LC フォントでないものも使用しています。

接続ガイド

- アンテナの接続やテレビとの接続を案内しています。
- このページを開いた状態で本体の上に置き、案内に従って接続してください。
- 接続が済んだら初期設定を行います。⇒28 ページ

こんなときはここをお確かめ下さい！

- 地上デジタル放送が映らない
- 地上デジタル放送のチャンネルが取得（設定）できない
- テレビの地上デジタル放送が映らなくなった
- 地上デジタル放送の録画に失敗した

A B の接続を確認

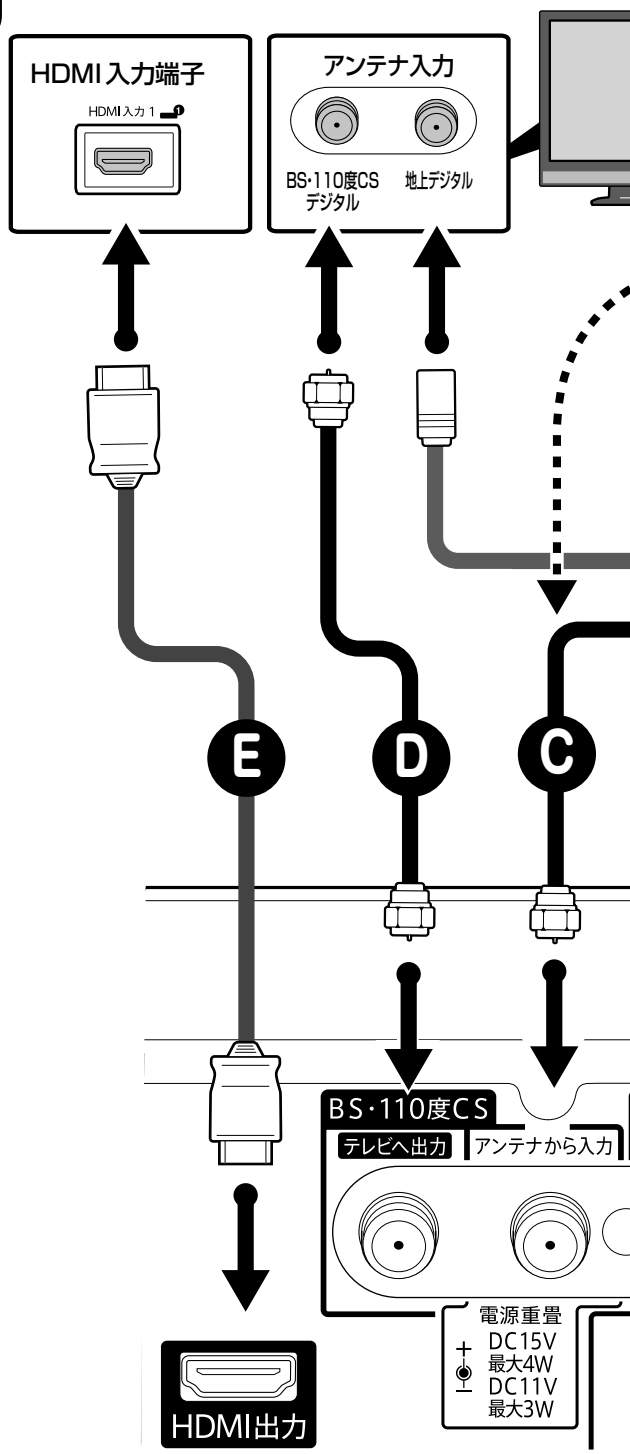
- BS 放送・CS 放送が映らない
- BS 放送・CS 放送のチャンネルが取得（設定）できない
- テレビのBS 放送・CS 放送が映らなくなった
- BS 放送・CS 放送の録画に失敗した

C D の接続を確認

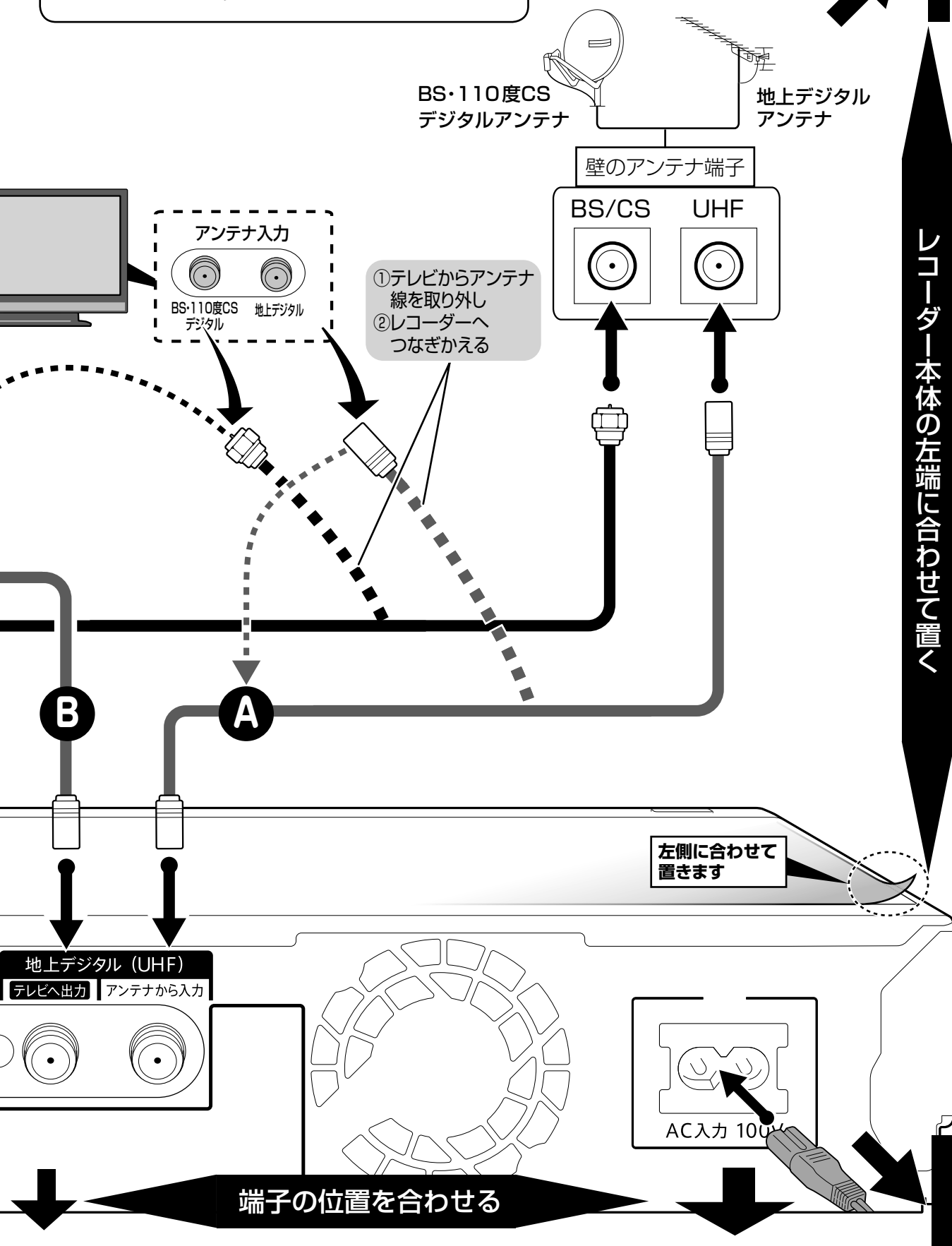
- TV の入力を切り換えても画面が真っ暗になる

E の接続を確認

- ★「アンテナから入力」と「テレビへ出力」にアンテナ線は接続されていますか？
⇒**A～D**の接続を確認
- ★「テレビへ出力」と「テレビのアンテナ入力端子」にアンテナ線は接続されていますか？
⇒**B D**の接続を確認
- ★「アンテナから入力」と「テレビへ出力」を逆に接続していませんか？
⇒**A～D**の接続を確認
- ★アンテナ線は抜けていませんか？
⇒**A～D**の接続を確認
- ★TV 側とレコーダー側の HDMI ケーブルが抜けていませんか？
⇒**E**の接続を確認



アンテナ線の接続やテレビとの接続について詳しくは
16～18ページをご覧ください。



- はじめに接続ガイドでアンテナやテレビと接続します。
- 接続がすんだらチャンネルを設定します。(⇒28ページ)



製品登録の お願い

オンラインでの各種サポートサービスをご利用いただくために、〈SHARP i CLUB〉で
ご愛用製品の登録をお願いいたします。(登録無料)

<http://iclub.sharp.co.jp/m/>

スマートフォンや
携帯電話はこちらから



お問い合わせ先

お問い合わせの前にもう一度「故障かな?と思ったら」(64 ページ)
をご確認ください。



いつでも便利なWebサービス【シャープ オンラインサポート】

ご質問、お困りごとは、気軽にアクセス、しっかりアシスト!

<http://www.sharp.co.jp/support/>

シャープ お問い合わせ

検索

スマートフォンや
携帯電話はこちらから



インターネットから修理のお申し込み

引き取り修理のご依頼、進捗確認も24時間サポート

<http://www.sharp.co.jp/support/repair.html>

シャープ 修理相談

検索

スマートフォンや
携帯電話はこちらから



いつでも便利な自動音声案内ダイヤルサービス

製品の「よくあるご質問」への回答を、24時間音声ガイダンスでご案内しております。

自動音声案内 フリーダイヤル (携帯電話からもご利用いただけます)

0120 - 001 - 252 (電話オペレーターにはつながりません)

●お客様ご相談窓口

固定電話・PHSからは
フリーダイヤル

0120-001-251

携帯電話からは
ナビダイヤル

0570-550-113

※フリーダイヤル・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、043-331-1626

〈受付時間〉(年末年始を除く)

○月曜日～土曜日：午前9時～午後6時
○日曜日・休日：午前9時～午後5時

※非通知設定の電話は、最初に「186」をつけておかけください。詳しくは、取扱説明書の **73** ページをご覧ください

■取説に掲載のQRコードから誘導されるサイトについてのご注意 (QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。)

- 当サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はおお客様のご負担となります。パケット定額サービスにご加入でないお客様は、高額になる可能性がございますのでご注意ください。
- スマートフォンにより、QRコード読み取りアプリケーションが必要となる場合があります。また、通信状況、機種、QRコード読み取りアプリケーションの種類、OSのバージョンによっては正常に動作しない場合があります。詳しくは、お使いの携帯電話会社にお問い合わせください。アプリケーションのダウンロードに際して、万一お客様に損害が生じたとしても、当社は何ら責任を負うものではありません。
- 当社は、当サイト上のコンテンツやURLを予告なく変更、もしくは削除することがあります。

シャープ株式会社

本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
デジタル情報家電事業本部 〒329-2193 栃木県矢板市早川町174番地

